

事業年報

Activity Report 2012 (No.30)

.....
平成24年度版
.....

通巻 第30号

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
Hyogo Health Service Association

綱 領

1. 国民の健康保持増進のため、予防医学事業の進展に務めることを目的とし、広く社会に貢献します。
2. 常に新しい医学の研究に取り組み、技術の向上を怠らず、正確に迅速な健診検査業務を行うとともに、保健知識の普及に努めます。
3. 確固とした自主独立の精神を堅持し、質実を心掛け、謙讓の気持ちを忘れず、協会発展のため誠実かつ積極的にその職責を全うします。

公益財団法人 兵庫県予防医学協会

はじめに

本会の事業運営につきましては、日ごろより格別なるご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今の社会経済情勢は、政府の経済政策の影響を受け、株価は上昇し、為替も一定水準で安定しつつあります。景況の好転に伴い、賃金上昇を行う大企業も出てきてはいますが、中小零細企業においては、いまだ景気回復を実感するには至っていません。県下においても、全国と同様の状況にあり、平成26年4月からの消費増税により、再び景気が冷え込むことも懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

一方、健診・検査を取り巻く環境としましては、特定健康診査・特定保健指導や各種がん検診に関しては、県下の受診率が全国平均を下回る状況にあり、受診率の向上が喫緊の課題となっています。また、産業保健及び学校保健においても、雇用情勢の厳しさや少子化の影響により、受診者数は減少傾向にありますが、政府の後押しを受け、従業員の健康づくりのために「健康経営」に乗り出す企業も出てきており、メンタルヘルス対策とともに今後の動きに注目する必要があります。

このような状況下、当協会においては、長期に渡って計画を進めてきた新館が平成25年11月29日に竣工し、平成26年1月18日に落成を迎えました。疾病予防のための健康診断及び検査事業などの実施拠点として有効活用するとともに、各事業の内容をより充実させ、各種健診・検査の受診率向上を図ることにより、今後一層県民の疾病予防と健康増進に寄与してまいります。

また、公益財団法人として、予防医学知識の普及啓発や健康教育活動を、従来の講演会、機関誌の発行はもちろん、ラジオや新聞などのマスメディアを通しておこなってまいります。

皆様の尚一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

平成26年5月

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
会 長 南 部 征 喜

公益財団法人 兵庫県予防医学協会 事業年報

平成24年度版 第30号

目 次

綱 領	2. 学校保健	33
はじめに	(1) 心臓検診	33
	(2) 脊柱変形学校検診	35
	(3) 腎臓・糖尿病検診	38
	(4) 結核検診（胸部X線）	40
	(5) ぎょう虫卵検査	41
I 疾病予防に関する知識の普及・啓発活動	3. 産業保健	42
1. 広報・情報提供事業	(1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断	42
(1) 機関誌「あすの健康」の発行	(2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）	43
(2) 「産業保健情報誌」の発行	4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）	44
(3) ホームページでの情報提供事業等	(1) 胃がん検診	44
2. 講演会開催・講師派遣・普及・啓発活動	(2) 肺がん検診（職域）	46
(1) 講演会の開催	(3) 大腸がん検診	48
(2) 講師派遣	5. 人間ドック・脳ドック	50
(3) 普及・啓発活動	6. 保健指導	53
	(1) 特定保健指導事業	53
	(2) 健康相談事業	55
	7. 細胞診	57
	(1) 子宮がん細胞診	57
	(2) 喀痰細胞診	59
	8. 腸内細菌検査	60
	9. 環境測定	62
	10. 食品検査	63
	11. 水質検査	64
	12. 水道施設検査	66
II 疾病予防のための健康診断及び検査事業		
1. 地域保健		11
(1) 神戸市国保特定健康診査・神戸市健康診査		11
(2) その他自治体 特定健康診査		16
(3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）		17
(4) 乳がん検診（神戸市・芦屋市・伊丹市）		19
(5) 子宮頸がん検診（指定医療機関分）		20
(6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）		22
(7) 大腸がん検診（神戸市）		26
(8) 前立腺がん検診		27
(9) 結核健診（神戸市）		28
(10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）		29
(11) エイズ（HIV/AIDS）及びクラミジア・梅毒検査		31
(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）		32

Ⅲ 予防医学に関する調査研究事業

調査・研究	71
1. 論文発表（総説論文、原著論文等）	71
2. 学会報告等	71

Ⅳ 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業	75
(1) 健康学習	75
(2) 健康づくり教室	77
(3) 運動施設の個人利用	82
2. 健康づくり支援事業	83
(1) 講師派遣等	83
(2) 健康づくりの場の提供（貸室等）	86

Ⅴ 沿革・概要

1. 沿革	89
2. 施設概要	94
3. 組織図	95
4. 名簿	96
(1) 役員名簿	96
(2) 評議員名簿	97
(3) 顧問・名誉会長名簿	98
5. 有資格者一覧	99

I 疾病予防に関する知識の 普及・啓発活動

1. 広報・情報提供事業

(1) 機関誌「あすの健康」の発行

昭和48年7月から発行しており、年4回発行している。誌面の構成は、「からだの話」「エッセイ」「赤ちゃんの四季」「ひょうご・小さな旅」「歴史を歩く」など。

配布先は、県内の学校（小、中、高、大）、県内医師会、関連事業所、行政、関係機関など。

平成22年度

No. 発行日	からだの話	エッセイ	赤ちゃんの四季	ひょうご・ 小さな旅	歴史を歩く
No.78 平成22年 6月15日	性差の医学	83歳のたこ焼き屋さん	情報社会と子どもたち	六甲高山植物園、 ホール・オブ・ホールズ六甲	天王谷と祇園さん
No.79 平成22年 9月15日	糖尿病	九死に一生	犬のしつけに学ぶ	旧外国人居留地	大輪田の泊から兵庫津へ
No.80 平成22年 12月15日	胃がんの早期発見と治療	「認知症」を学ぶ	赤ちゃんと皮膚	明石市立天文科学館	神戸駅と兵庫県里程元標
No.81 平成23年 3月15日	PET検査	山行き	高齢出産には高いリスクが伴う	五斗長垣内遺跡	桜守公園と笹部新太郎

平成23年度

No. 発行日	からだの話	エッセイ	赤ちゃんの四季	ひょうご・ 小さな旅	歴史を歩く
No.82 平成23年 6月15日	前立腺がん	「待合室」そのⅠ	阪神大震災で学んだこどものこころのケア	昆陽池公園と伊丹郷町	神戸駅ちかくのミステリースポット
No.83 平成23年 9月15日	甲状腺がん	「待合室」そのⅡ	三つ子の魂百までも	明石の平家伝説を歩く	六甲山麓の温泉郷
No.84 平成23年 12月15日	脳卒中とリハビリテーション	病院力プロジェクト	笑いではじまる人の一生「胞衣笑い」	神戸市立須磨海浜水族園 －須磨海浜公園周辺	平の清盛の墓域はどこか
No.85 平成24年 3月15日	高齢者と肺の病気	「親切」の効用	桃の節句 ひな祭り	福原京	大輪田の泊周辺

平成24年度

No. 発行日	からだの話	エッセイ	赤ちゃんの四季	ひょうご・ 小さな旅	歴史を歩く
No.86 平成24年 6月15日	口腔がん	「うつ」の周辺	妊婦さん、やせ過ぎにご注意を。増え続ける低出生体重児。	奇跡の星の植物館「ローズガーデン」	北区にもある清盛伝説
No.87 平成24年 9月15日	子宮頸がん－検診と予防ワクチン	セカンドオピニオン	乳幼児虐待から学童のいじめへ	三木の金物資料館	清盛の墓と舞子の浜
No.88 平成24年 12月15日	耳の健康－耳の聴こえ、難聴、耳鳴り	誤診	これで安心－経口生ワクチンから不活化ポリオワクチンへ	「門戸厄神」界限	舞子公園にある舞子砲台跡
No.89 平成25年 3月15日	慢性腎臓病	医師との会話	すばらしい学習能力をもつ子どもの脳	尼崎・寺町界限	舞子公園にある和洋中の名建築

(2) 「産業保健情報誌」の発行

職場における健康管理の取り組みや、健康づくりに対する工夫など、産業保健分野のさまざまな情報を発信することを目的として産業保健情報誌を作成し、兵庫県下の事業所や各種団体（約1,000ヵ所）へ平成13年9月から定期的に発刊している。

内容は事業所や健康保険組合などの取材を行い、活動内容を記事とした『職場訪問』に始まり、季節ごとのエッセイ、トピックスなどを記載している。また、『働く人の健康管理研修会』の活動報告を掲載し、研修会に参加できなかった方々への情報発信を行っている。

発行日	職場訪問先	働く人の健康管理研修会活動報告	トピックス	健康情報
Vol.28 7月	西日本旅客鉄道 健康増進センター	メンタルヘルスにおける職場復帰に 活かせる援助とは －コミュニケーションスキルを学ぶ－	知っていますか ～働く世代の病気～ 性感染症	健康な髪をつくる 生活習慣とは？
Vol.29 11月	神戸学院大学 医務室	職場のメンタルヘルス対策 －働き方の改善－	医療経済学とは？	手湿疹について

(3) ホームページでの情報提供事業等

健康づくり、予防医学の普及・啓発を目的に、機関紙「あすの健康」、「産業保健情報誌」の主な内容について掲載した。また、新たに情報公開のページを追加作成し、事業計画書等を掲載した。

さらに、健康ライフプラザのホームページの全面リニューアルをおこない、掲載内容の充実を図るとともに、健康づくり教室への参加申し込みを簡便にするため、ホームページからの申し込みを開始した。

2. 講演会開催・講師派遣・普及・啓発活動

(1) 講演会の開催

i. 予防医学フォーラム

昭和61年の予防医学事業推進神戸大会から様々なテーマで開催し、今回で27回目を迎えた。平成24年度は、神戸新聞松方ホールにおいて平成24年11月10日に開催した。慶應義塾大学医学部老年内科講師 広瀬信義氏から

「百寿からわかったこと－長生き力」と題し、ご講演いただいた。

講演後は、聞き手に元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談が行われ、健康長寿のモデルである百寿者の調査から明らかになったことについて話し合われた。

【予防医学フォーラムの歩み】

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
平成20年 11月8日	音声ときこえの不思議 －脳の科学－	神戸大学名誉教授 岡田 安弘	458名
平成21年 11月7日	脳のはたらきと不思議 －発達と加齢－	神戸大学名誉教授 岡田 安弘	680名
平成22年 11月6日	老いの時間を生きる －ゾウの時間ネズミの時間から考えたこと－	東京工業大学大学院生命理工学研究科教授 本川 達雄	437名
平成23年 11月5日	健康は「健口」からはじまる －口腔衛生のいま－	神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授 足立 了平	335名
平成24年 11月10日	百寿からわかったこと －長生き力とは－	慶應義塾大学医学部老年内科講師 広瀬 信義	528名

ii. いきいきライフセミナー

毎年9月にがん征圧月間にちなみがんの話や、さまざまな健康をテーマに「いきいきライフセミナー」を開催している。今年度は、平成24年9月8日に神戸新聞松方ホールにおいて開催した。

「若さを保つ－ミトコンドリアのナゾ」と題し、日本

医科大学大学院医学研究科加齢科学系専攻細胞生物学分野教授 太田成男氏にご講演いただいた。

講演後、元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談では、若さを保つ、より具体的な方法のお話があり、続いて座ったままできる健康表現体操があった。

【いきいきライフセミナーの歩み】

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
平成20年 9月6日	体内時計と健康 －病気になるために知っておきたい未病と仮面病－	東京女子医科大学東医療センター内科教授 大塚 邦明	700名
平成21年 9月12日	宗教と健康 －日本人の心の主食とは？－	曹洞宗安泰寺住職 ネルケ無方	513名
平成22年 9月11日	免疫と長生き	順天堂大学医学部免疫学名誉教授 奥村 康	629名
平成23年 9月10日	「幸」 齢期を生きる －要介護にならないために－	当協会副会長・保健指導センター長 南部 征喜	468名
平成24年 9月8日	若さを保つ －ミトコンドリアのナゾ－	日本医科大学大学院医学研究科加齢科学系 専攻細胞生物学分野教授 太田 成男	468名

iii. がんをよく知るための講座

日本人の死亡率のトップを占める“がん”についての知識を深めるために、それぞれ専門分野の医師や保健師

による講座を開催している。

今年度は健康ライフプラザ5階多目的室において2回開催した。

【がんをよく知るための講座の歩み】

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
平成20年 7月22日	大腸がんについて	兵庫医科大学消化器内科 内科学下部消化管科教授 松本 誉之	63名
平成21年 2月27日	口腔がんについて	財団法人神戸市地域医療振興財団西神戸医療センター 歯科口腔外科部長 大西 正信	58名
平成21年 7月9日	鼻・副鼻腔がんについて	神戸市立医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科医長 篠原 尚吾	47名
平成22年 3月5日	食道がんについて	神戸市立医療センター中央市民病院 外科医長 小林 裕之	65名
平成22年 7月7日	胃がんについて	兵庫医科大学内科学上部消化管科教授 三輪 洋人	88名
平成23年 3月4日	増えつつある前立腺がん、その診断と治療	神戸大学大学院医学研究科外科系講座 腎泌尿器科学分野准教授 三宅 秀明	73名
平成23年 7月21日	甲状腺がんについて －放射線の利用と被曝－	当協会常務理事 池窪 勝治	42名
平成24年 3月7日	口腔がんについて	神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科教授 足立 了平	53名
平成24年 7月24日	子宮頸がんについて －検診と予防ワクチン－	財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 部長 植田 政嗣	61名
平成25年 2月26日	からだにやさしい放射線治療	神戸市立医療センター中央市民病院 放射線治療科部長 小久保雅樹	70名

iv. 「働く人の健康管理研修会」の開催

「働く人の健康管理研修会」は、県下の各種団体や事業所・健康保険組合に勤務する衛生管理者、健康診断担当者や医療従事者に、産業保健分野に関する新しい情報

や時事の話題をタイムリーに提供するとともに、参加者相互の情報交換や交流の場として活用ができる機会となることを目的に、定期的に年2回開催している。

開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
第40回 7月18日	①職場のメンタルヘルス対策 －働き方の改善－ ②すこやか体操	①大阪教育大学教養学科 教授 高橋 誠 ②(財)兵庫県予防医学協会 保健師 大形 典子	42名
第41回 12月7日	①ポジティブメンタルヘルス －職場改善は風通しのよい コミュニケーションと主体性から－ ②腰痛体操	①有限会社 オフィス・ハーモ 代表取締役 喜田菜穂子 ②健康ライフプラザ 健康運動指導士 清水利江子	29名

(2) 講師派遣（産業医としての指導を含む）

実施日	対 象	テ ー マ	講 師
4月24日	JA全農青果サービス	糖尿病について	健診センター医長 武田 弘子
5月15日	JA全農青果サービス	貧血について	健診センター医長 武田 弘子
6月26日	JA全農青果サービス	健診を受ける前に	健診センター医長 武田 弘子
7月4日	交通局 中央営業所	職場におけるメンタルヘルスケア	健診センター医長 中谷 利夫
7月13日	高羽婦人会	健康な生活を作る為に	会 長 松村 陽右
7月18日	霞ヶ丘婦人会	健康な生活を作る為に	会 長 松村 陽右
7月24日	JA全農青果サービス	健診の結果が届いたら	健診センター医長 中谷 利夫
7月31日	篠原婦人会	健康な生活を作る為に	会 長 松村 陽右
8月30日	本山中央婦人会	健康な生活を作る為に	会 長 松村 陽右
9月14日	本山東婦人会	健康な生活を作る為に	会 長 松村 陽右
9月25日	JA全農青果サービス	コレステロールと食事	健診センター医長 武田 弘子
10月25日	神戸交通振興株式会社	職場におけるメンタルヘルスケア	健診センター医長 中谷 利夫
12月4日	JA全農青果サービス	高血圧について	健診センター医長 武田 弘子
1月29日	JA全農青果サービス	ノロウイルス・インフルエンザの感染について	健診センター医長 武田 弘子
2月26日	JA全農青果サービス	変形性膝関節症について	健診センター医長 武田 弘子
2月28日	神戸すまいづくり公社	禁煙について	健診センター医長 中谷 利夫
3月19日	神戸交通振興株式会社	長時間労働について	健診センター医長 中谷 利夫
3月26日	JA全農青果サービス	脳卒中について	健診センター医長 武田 弘子

(3) 普及・啓発活動

結核、乳がんの早期発見や知識の普及啓発を目的に、自治体や各種団体が主催するキャンペーン事業に協力し、胸部X線検診車による結核検診、乳房検診車による乳がん検診をおこなった。

結核検診受診者は、こうべ福祉・健康フェアで132名、結核ハイリスク者に対する早期発見およびまん延防止のための啓発活動で1,053名であった。

乳がん検診受診者は、母の日乳がん検診街頭キャンペーンで21名、こうべ福祉・健康フェアで55名、ピンクリボンフェスティバル神戸大会で76名であった。

ピンクリボンフェスティバル神戸大会では神戸推進委員会の一員として、企画運営に参加し、街頭キャンペーンやシンポジウムへの協力、スマイルウォーク参加者への乳がん検診実施など多方面で啓発活動をおこなった。

Ⅱ 疾病予防のための健康診断 及び検査事業

1. 地域保健

(1) 神戸市国保特定健康診査・神戸市健康診査

特定健康診査を神戸市国民健康保険等から受託し各区拠点会場において実施した。同時に神戸市独自の若年者・後期高齢者等の神戸市健康診査も受託し実施した。検査項目、実施回数、受診者数は下記のとおりである。

基本項目：身長・体重・BMI・腹囲測定・尿検査・血圧測定・血液検査（肝機能、脂質、血糖）・診察（問診）

詳細検査：貧血検査・心電図検査・眼底検査

希望検査：骨粗鬆症検診、前立腺がん検診（PSA検査）

追加検査：結核健診

（Ⅱ-1-(9)「結核対策検査」に記載）

特定健康診査・神戸市健康診査受診状況

年度	実施回数	実施人数	性別	受診者数						
				特定健康診査		神戸市健康診査			骨粗鬆症検診 （※）	前立腺がん検診 （表3参照）
				神戸市国保 （表1参照）	市国保以外	若年者	生活保護受給者等 （表2参照）	後期高齢者		
平成22年度	397	49,199	男	16,708	57	1,128	63	1,196	3,836	10,165
			女	23,730	1,061	4,013	128	1,115	13,938	
			計	40,438	1,118	5,141	191	2,311	17,774	10,165
平成23年度	389	46,797	男	16,122	65	1,014	81	1,274	2,641	9,514
			女	22,359	1,070	3,441	132	1,239	11,080	
			計	38,481	1,135	4,455	213	2,513	13,721	9,514
平成24年度	394	49,365	男	16,659	66	1,139	88	1,703	2,721	9,756
			女	23,321	1,155	3,500	157	1,577	11,125	
			計	39,980	1,221	4,639	245	3,280	13,846	9,756

（※）Ⅱ-1-(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）から再掲

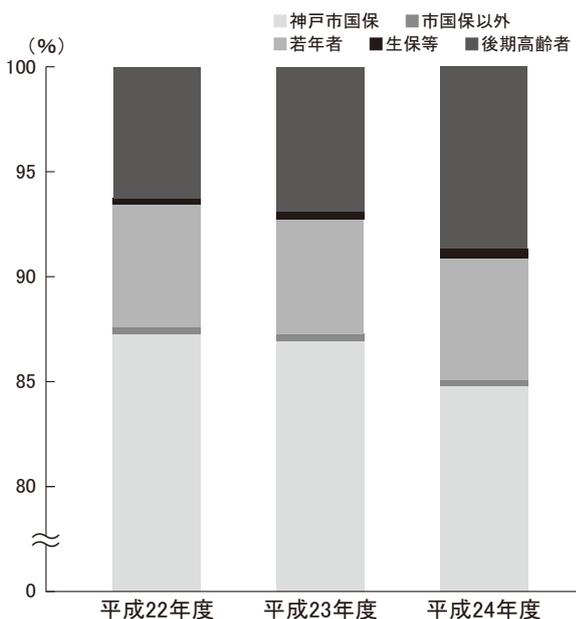


図1 特定健診・神戸市健康診査受診割合（男）

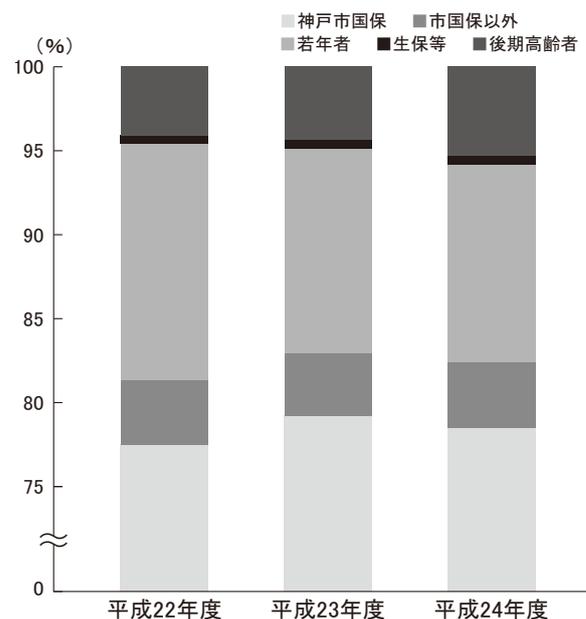


図2 特定健診・神戸市健康診査受診割合（女）

表1 特定健診（神戸市国保）受診結果

年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
				異常なし	要注意	要医療	医療中	
平成22年度	40,438	男	16,708	496	3,729	6,798	5,685	74.7
		女	23,730	1,724	5,511	9,481	7,014	69.5
平成23年度	38,481	男	16,122	421	3,479	6,570	5,652	75.8
		女	22,359	1,508	5,139	9,132	6,580	70.3
平成24年度	39,980	男	16,659	443	3,634	6,625	5,957	75.5
		女	23,321	1,561	5,417	9,401	6,942	70.1

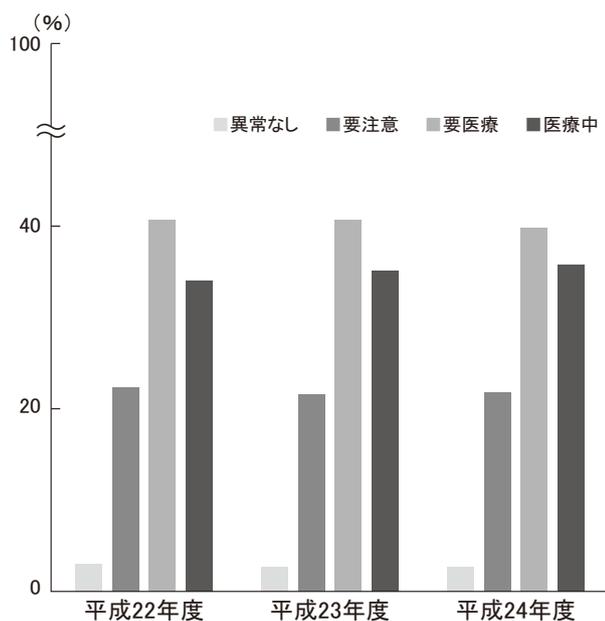


図3 特定健診（神戸市国保）受診結果（男）

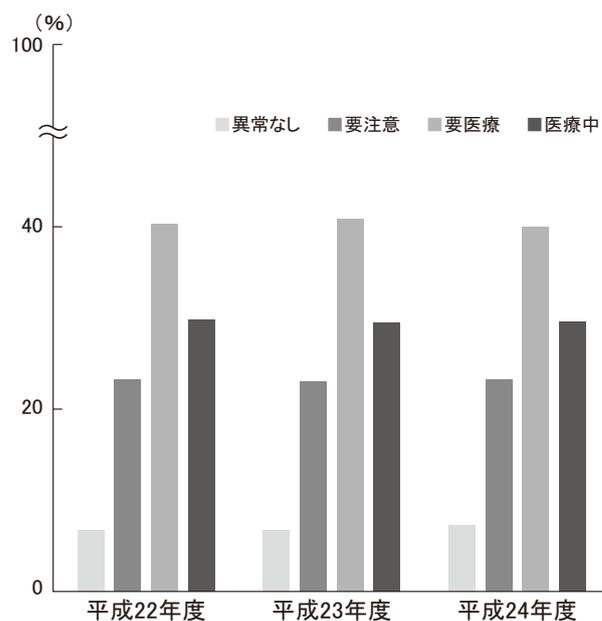


図4 特定健診（神戸市国保）受診結果（女）

表2 神戸市健康診査受診結果

種別	年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
					異常なし	要注意	要医療	医療中	
若年者	平成22年度	5,141	男	1,128	174	504	439	11	39.9
			女	4,013	2,234	1,184	581	14	14.8
	平成23年度	4,455	男	1,014	162	439	394	19	40.7
			女	3,441	1,763	1,093	569	16	17.0
	平成24年度	4,455	男	1,139	179	526	421	13	38.1
			女	3,500	1,765	1,124	598	13	17.5
生活保護受給者等	平成22年度	191	男	63	5	8	21	29	79.4
			女	128	27	34	50	17	52.3
	平成23年度	213	男	81	3	13	41	24	80.2
			女	132	28	39	45	20	49.2
	平成24年度	245	男	88	4	25	32	27	67.0
			女	157	28	47	48	34	52.2
後期高齢者	平成22年度	2,311	男	1,196	22	274	404	496	75.3
			女	1,115	29	190	391	505	80.4
	平成23年度	2,513	男	1,274	24	286	413	551	75.7
			女	1,239	23	202	467	547	81.8
	平成24年度	3,280	男	1,703	41	404	554	704	73.9
			女	1,577	29	294	597	657	79.5

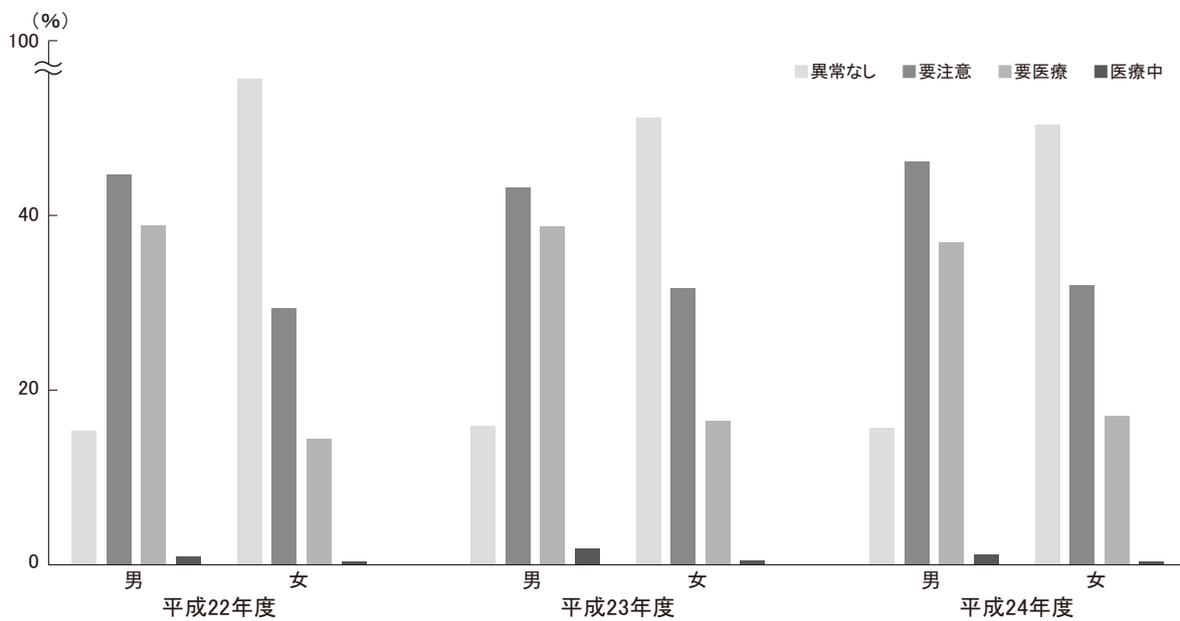


図5 若年者受診結果

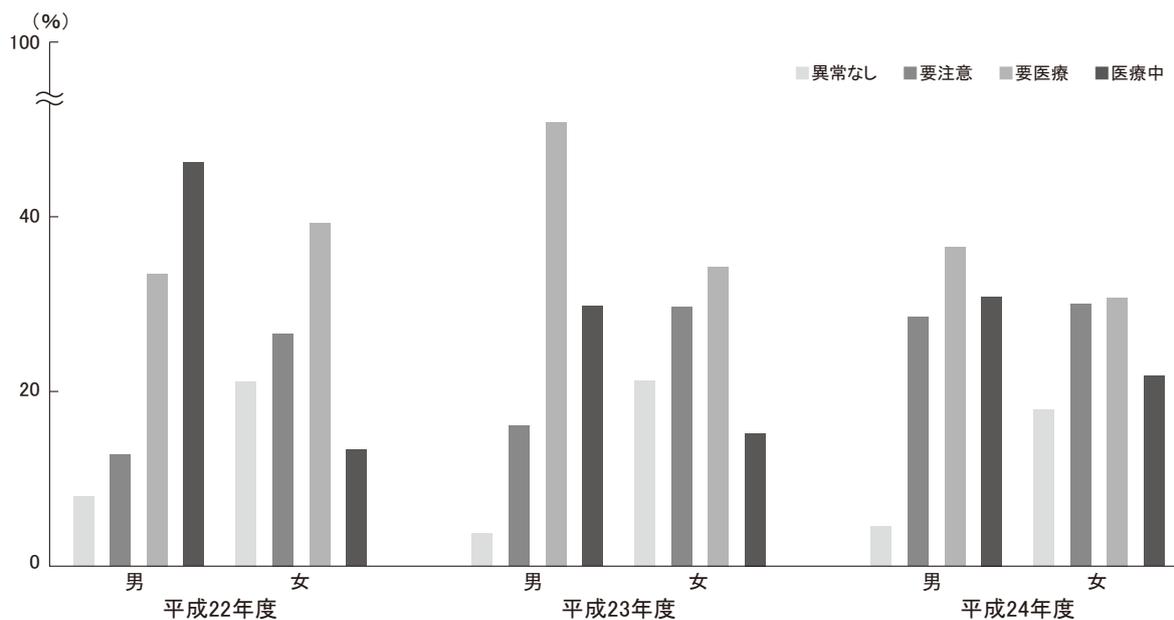


図6 生活保護受給者等受診結果

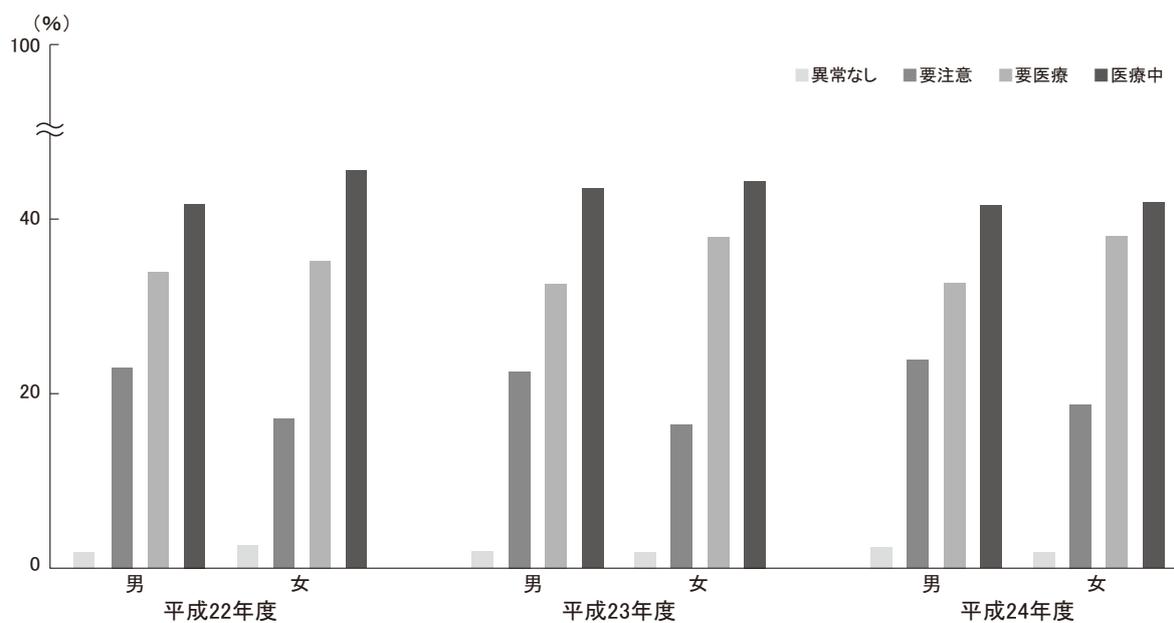


図7 後期高齢者受診結果

表3 前立腺がん検診 (PSA)

年 度	受診者数	異常なし	要精密検査	要精密検査率 (%)
平成22年度	10,165	9,379	786	7.7
平成23年度	9,514	8,748	766	8.1
平成24年度	9,756	8,974	782	8.0

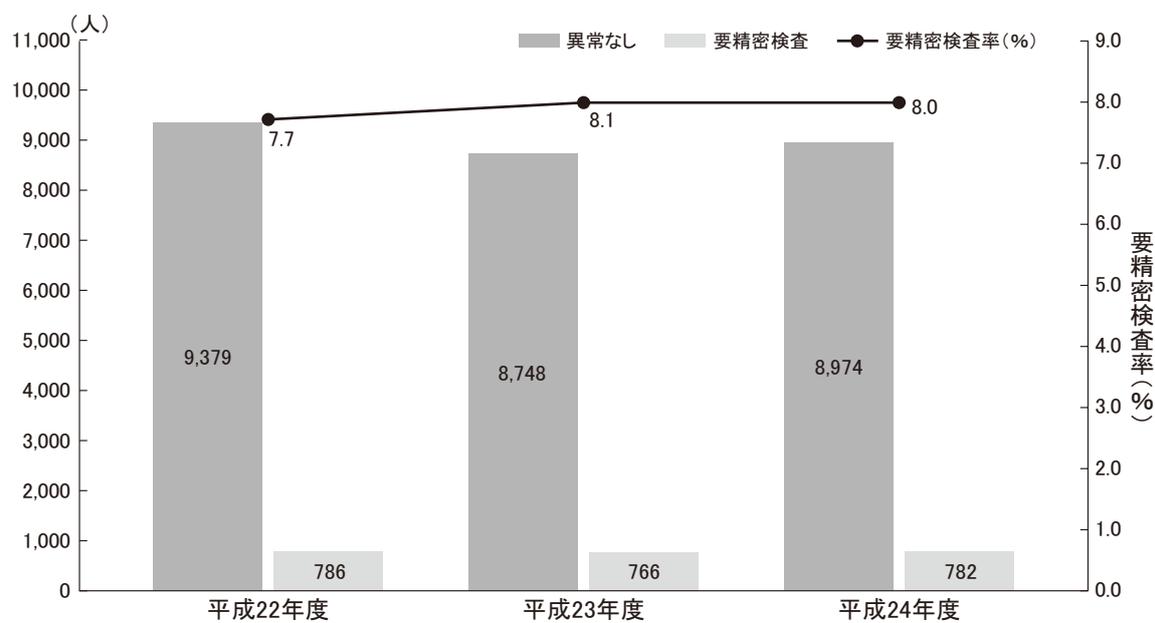


図8 前立腺がん検診受診結果

(2) その他自治体 特定健康診査

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	29歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	40～44	80	43	53.8	81	40	49.4	83	47	56.6
	45～49	69	37	53.6	81	46	56.8	71	27	38.0
	50～54	71	47	66.2	68	43	63.2	57	41	71.9
	55～59	83	65	78.3	87	64	73.6	64	45	70.3
	60～64	195	150	76.9	204	164	80.4	187	154	82.4
	65～69	96	76	79.2	118	97	82.2	225	181	80.4
	70～74	54	46	85.2	53	46	86.8	125	101	80.8
	75～79	0	0	-	0	0	-	0	0	-
80歳以上	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
計		648	464	71.6	692	500	72.3	812	596	73.4

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	29歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	40～44	139	39	28.1	128	30	23.4	125	33	26.4
	45～49	122	46	37.7	127	40	31.5	105	25	23.8
	50～54	121	58	47.9	115	57	49.6	115	47	40.9
	55～59	179	115	64.2	158	95	60.1	145	87	60.0
	60～64	464	332	71.6	419	279	66.6	354	239	67.5
	65～69	117	92	78.6	129	96	74.4	329	227	69.0
	70～74	55	42	76.4	65	54	83.1	180	128	71.1
	75～79	0	0	-	0	0	-	0	0	-
80歳以上	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
計		1,197	724	60.5	1,141	651	57.1	1,353	786	58.1

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	29歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	40～44	219	82	37.4	209	70	33.5	208	80	38.5
	45～49	191	83	43.5	208	86	41.3	176	52	29.5
	50～54	192	105	54.7	183	100	54.6	172	88	51.2
	55～59	262	180	68.7	245	159	64.9	209	132	63.2
	60～64	659	482	73.1	623	443	71.1	541	393	72.6
	65～69	213	168	78.9	247	193	78.1	554	408	73.6
	70～74	109	88	80.7	118	100	84.7	305	229	75.1
	75～79	0	0	-	0	0	-	0	0	-
80歳以上	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
計		1,845	1,188	64.4	1,833	1,151	62.8	2,165	1,382	63.8

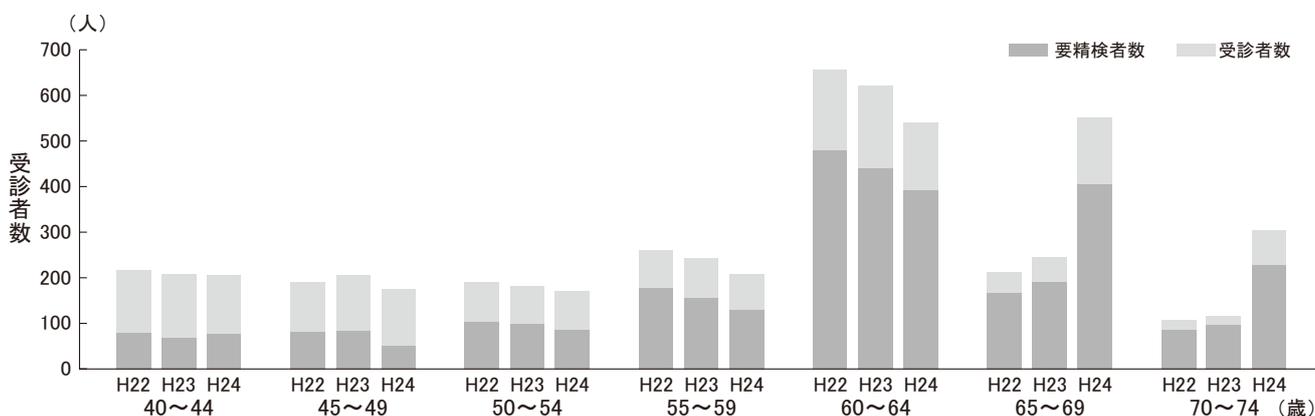


図1 年齢階級別受診者数

(3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）

地域胃がん検診は、神戸市、伊丹市より委託され地域住民を対象に実施している。神戸市は撮影を当協会、読影は神戸市医師会（一部当協会）、追跡管理は当協会で行っている。伊丹市は撮影、読影は当協会が追跡管理は

伊丹市で行っている。受診勧奨・休日に実施する等、受診できる環境の整備をすることにより受診率向上をはかっている。

表1 胃部X線検査（神戸市）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	34歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	1	0	0	0	0	-	0	0	-
	40～44	767	49	6.4	741	39	5.3	805	31	3.9
	45～49	309	20	6.5	329	22	6.7	381	21	5.5
	50～54	302	23	7.6	333	22	6.6	324	23	7.1
	55～59	322	33	10.2	364	33	9.1	382	33	8.6
	60～64	977	83	8.5	1,036	94	9.1	1,044	64	6.1
	65～69	1,799	193	10.7	1,866	172	9.2	1,956	174	8.9
	70～74	2,044	209	10.2	2,281	221	9.7	2,366	203	8.6
	75歳以上	1,442	194	13.5	1,586	155	9.8	1,806	173	9.6
計	7,963	804	10.1	8,536	758	8.9	9,064	722	8.0	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	34歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	40～44	2,368	122	5.2	2,240	16	0.7	2,243	105	4.7
	45～49	653	44	6.7	650	40	6.2	655	27	4.1
	50～54	660	41	6.2	629	57	9.1	668	32	4.8
	55～59	934	52	5.6	853	46	5.4	818	52	6.4
	60～64	2,056	129	6.3	2,043	140	6.9	1,798	106	5.9
	65～69	2,249	164	7.3	2,098	145	6.9	2,157	121	5.6
	70～74	2,009	161	8.0	2,141	152	7.1	2,209	136	6.2
	75歳以上	1,155	95	8.2	1,181	76	6.4	1,344	79	5.9
計	12,084	808	6.7	11,835	672	5.7	11,892	658	5.5	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	34歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	1	0	0	0	0	-	0	0	-
	40～44	3,135	171	5.5	2,981	55	1.8	3,048	136	4.5
	45～49	962	64	6.7	979	62	6.3	1,036	48	4.6
	50～54	962	64	6.7	962	79	8.2	992	55	5.5
	55～59	1,256	85	6.8	1,217	79	6.5	1,200	85	7.1
	60～64	3,033	212	7.0	3,079	234	7.6	2,842	170	6.0
	65～69	4,048	357	8.8	3,964	317	8.0	4,113	295	7.2
	70～74	4,053	370	9.1	4,422	373	8.4	4,575	339	7.4
	75歳以上	2,597	289	11.1	2,767	231	8.3	3,150	252	8.0
計	20,047	1,612	8.0	20,371	1,430	7.0	20,956	1,380	6.6	

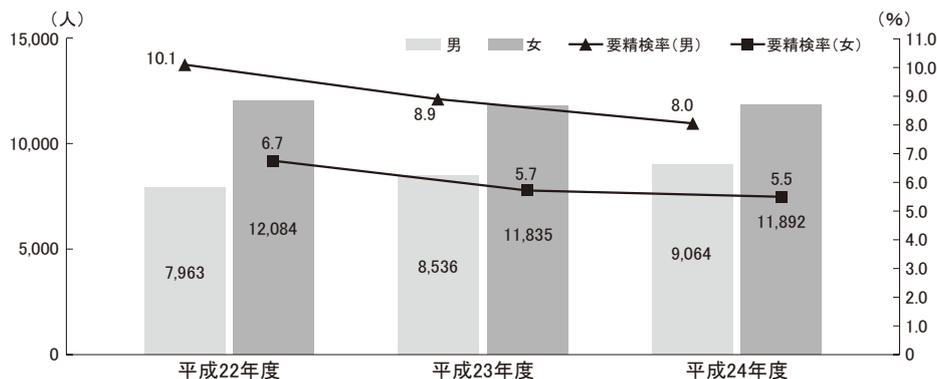


図1 年度別実施状況（神戸）

表2 胃部X線検査（伊丹市）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	34歳以下	15	0	0	4	0	0	0	0	-
	35～39	62	1	1.6	53	1	1.9	44	1	0
	40～44	43	4	9.3	53	0	0	41	2	5.0
	45～49	32	0	0	28	1	3.6	34	2	6.0
	50～54	43	2	4.7	43	0	0	38	3	8.0
	55～59	130	10	7.7	135	14	10.4	87	6	7.0
	60～64	302	25	8.3	281	20	7.1	250	18	7.0
	65～69	212	23	10.8	237	10	4.2	208	20	10.0
	70～74	138	17	12.3	144	15	10.4	170	15	9.0
	75歳以上	61	2	3.3	56	4	7.1	70	5	7.0
計		1,038	84	8.1	1,034	65	6.3	942	72	8.0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	34歳以下	20	0	0	13	0	0	0	0	-
	35～39	123	6	4.9	103	2	1.9	118	1	1.0
	40～44	86	6	7.0	95	3	3.2	91	1	1.0
	45～49	99	5	5.1	84	2	2.4	83	4	5.0
	50～54	131	6	4.6	97	3	3.1	71	3	4.0
	55～59	242	16	6.6	242	12	5.0	209	12	6.0
	60～64	358	25	7.0	289	16	5.5	242	8	3.0
	65～69	209	14	6.7	239	14	5.9	226	8	4.0
	70～74	110	8	7.3	101	8	7.9	122	8	7.0
	75歳以上	36	2	5.6	24	1	4.2	38	3	8.0
計		1,414	88	6.2	1,287	61	4.7	1,200	48	4.0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	34歳以下	35	0	0	17	0	0	0	0	-
	35～39	185	7	3.8	156	3	1.9	162	2	1.0
	40～44	129	10	7.8	148	3	2.0	132	3	2.0
	45～49	131	5	3.8	112	3	2.7	117	6	5.0
	50～54	174	8	4.6	140	3	2.1	109	6	6.0
	55～59	372	26	7.0	377	26	6.9	296	18	6.0
	60～64	660	50	7.6	570	36	6.3	492	26	5.0
	65～69	421	37	8.8	476	24	5.0	434	28	6.0
	70～74	248	25	10.1	245	23	9.4	292	23	8.0
	75歳以上	97	4	4.1	80	5	6.3	108	8	7.0
計		2,452	172	7.0	2,321	126	5.4	2,142	120	6.0

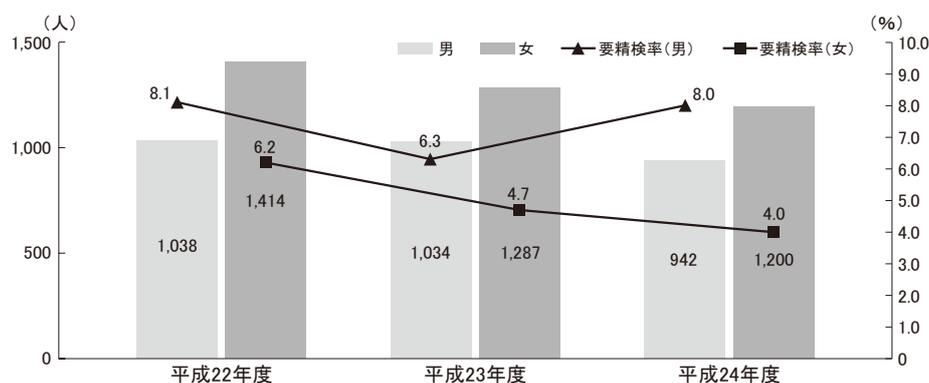


図2 年度別実施状況（伊丹市）

(4) 乳がん検診（神戸市・芦屋市・伊丹市）

乳がん検診は、人間ドック受診時と神戸市、芦屋市、伊丹市の依頼による住民検診で行なっている。
乳がんの罹患率・死亡数は近年増加傾向である。地方

自治体からの巡回検診の依頼や、受診者数の増加に対応する為、検診車の効率的稼働と優良施設認定機関として精度管理等検診体制の充実を図っている。

表1 乳がん検診（神戸市）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	1,055	102	9.7	1,066	133	12.5	995	62	6.2
45～49	841	103	12.2	790	109	13.8	659	51	7.7
50～54	1,184	87	7.3	1,084	113	10.4	1,077	52	4.8
55～59	787	62	7.9	753	65	8.6	744	44	5.9
60～64	1,585	102	6.4	1,895	173	9.1	1,661	78	4.7
65～69	766	64	8.4	795	80	10.1	952	60	6.3
70歳以上	1,063	59	5.6	1,305	113	8.7	1,542	69	4.5
計	7,281	579	8.0	7,688	786	10.2	7,630	416	5.5

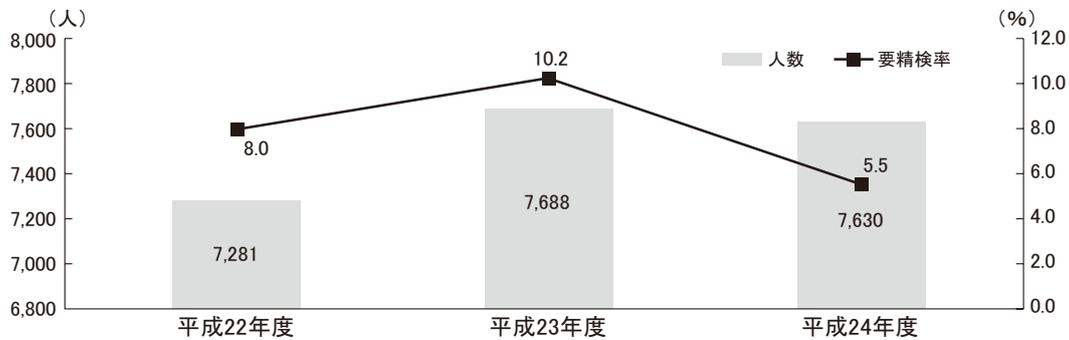


図1 年度別実施状況（神戸市）

表2 乳がん検診（伊丹市）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	0	0	-	9	3	33.3	0	0	-
40～44	238	17	7.1	234	23	9.8	272	14	5.1
45～49	191	22	11.5	202	20	9.9	190	12	6.3
50～54	140	15	10.7	128	11	8.6	145	9	6.2
55～59	111	12	10.8	116	10	8.6	97	4	4.1
60～64	147	8	5.4	174	15	8.6	157	11	7.0
65～69	40	1	2.5	42	4	9.5	43	2	4.7
70歳以上	20	0	0	28	3	10.7	35	0	0
計	887	75	8.5	933	89	9.5	939	52	5.5

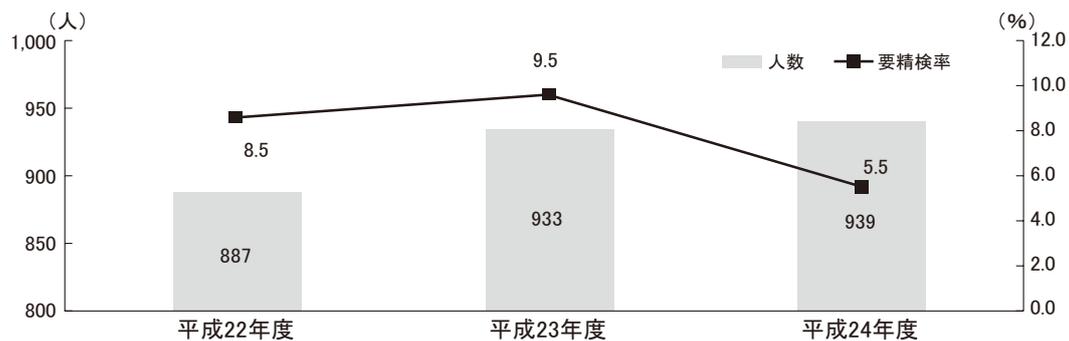


図2 年度別実施状況（伊丹市）

表3 乳がん検診（芦屋市）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)	実施人数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	85	5	5.9	111	15	13.5	97	9	9.3
45～49	74	10	13.5	97	14	14.4	75	6	8.0
50～54	70	12	17.1	79	1	1.3	79	7	8.9
55～59	65	9	13.9	87	4	4.6	79	1	1.3
60～64	142	16	11.3	133	7	5.3	131	5	3.8
65～69	22	0	0	19	7	36.8	84	9	10.7
70歳以上	23	2	8.7	17	1	5.9	90	1	1.1
計	481	54	11.2	543	49	9.0	635	38	6.0

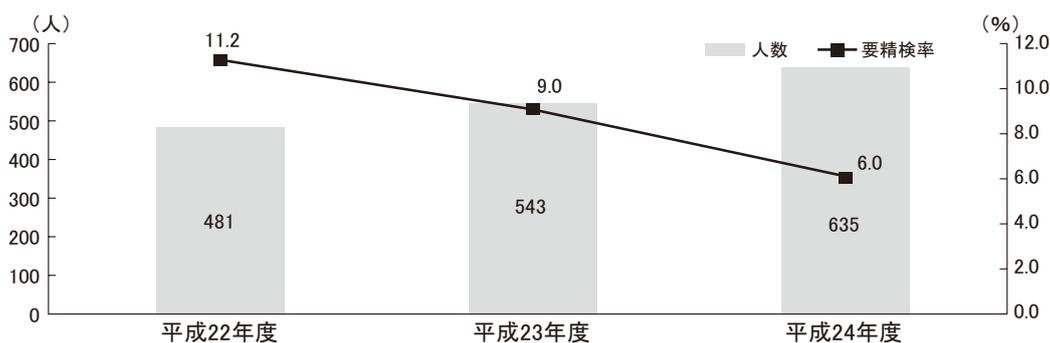


図3 年度別実施状況（芦屋市）

（5）子宮頸がん検診（指定医療機関分）

以前より子宮頸がん細胞診の重要性はさかんに周知されているが受診率の大幅な上昇は一向に認められない。わずか数分で特に大きな苦痛を伴う検査でもなく、若年女性において最も多数をしめる「がん」の早期予見、なおかつ悪性度は低く初期であれば低侵襲的な治療で完治でき、また「がん発生予防ワクチン」の公費負担接種も可能で、早期発見、予防方法などが最も進んだ「がん」であるにもかかわらずである。女性医師の検診を希望する受診者も多いが現状の産婦人科医不足のなか、米英国

のようにトレーニングを積んだ看護師による子宮がん検診が行われることが最適と思われるが、ハードルは相当高い。

また、無意味な「自己採取」を採用している企業に対しても、医師が的確な助言を行っていく必要がある。

結論として現状のままでは、乳がん、子宮がんに代表される婦人科がんは今後も確実に増え続けるであろうであるということである。

表1 子宮頸がん検診（診察）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数*	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	106	4	3.8	120	1	0.8	94	3	3.2
35～39	114	5	4.4	70	0	0	75	7	9.3
40～44	490	31	6.3	539	30	5.6	547	22	4.0
45～49	136	9	6.6	130	14	10.8	124	13	10.5
50～54	103	7	6.8	118	4	3.4	132	6	4.5
55～59	118	1	0.8	111	3	2.7	103	1	1.0
60～64	133	3	2.3	164	1	0.6	143	2	1.4
65～69	68	1	1.5	70	2	2.9	80	2	2.5
70～74	77	1	1.3	84	0	0	85	2	2.4
75歳以上	29	0	0	34	0	0	32	0	0
計	1,374	62	4.5	1,440	55	3.8	1,415	58	4.1

※炎症性疾患、筋腫等の内診による所見

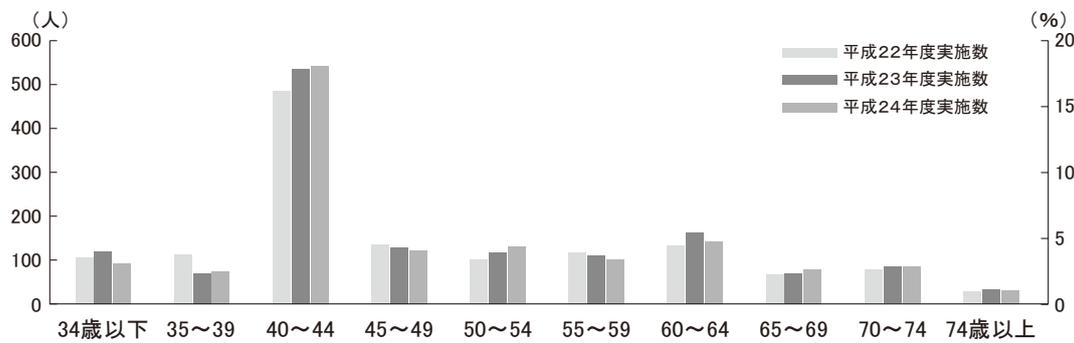


図1 子宮頸がん（診察）

表2 子宮頸がん検診（細胞診）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	106	0	0	120	2	1.7	94	2	2.1
35～39	114	1	0.9	70	3	4.3	75	4	5.3
40～44	490	12	2.4	539	20	3.7	547	25	4.6
45～49	136	4	2.9	130	5	3.8	124	11	8.9
50～54	103	4	3.9	118	1	0.8	132	2	1.5
55～59	118	0	0	111	0	0	103	0	0
60～64	133	2	1.5	164	1	0.6	143	1	0.7
65～69	68	1	1.5	70	1	1.4	80	1	1.3
70～74	77	0	0	84	3	3.6	85	0	0
75歳以上	29	0	0	34	0	0	32	0	0
計	1,374	24	1.7	1,440	36	2.5	1,415	46	3.3

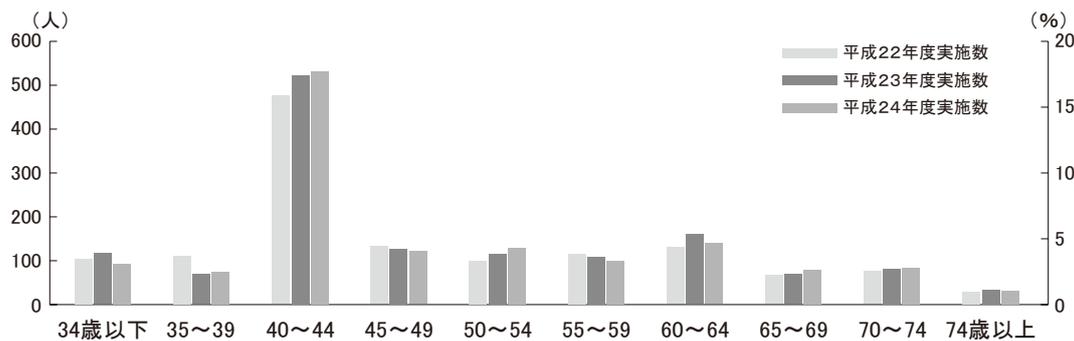


図2 子宮頸がん（細胞診）

(6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）

肺がん検診は、老人保健法のがん検診に導入され、主に40歳以上の住民を対象とし胸部X線撮影と喀痰細胞診によって行われている。地域（神戸市・伊丹市）もこれ

に準じて行い。神戸市の肺がん検診は指定医療機関の一つである。

表1 肺がん検診 —胸部X線検査—（神戸市）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	0	0	—	1	1	100.0	0	0	—
	40～44	18	0	0	17	0	0	16	0	0
	45～49	2	0	0	3	1	33.3	2	0	0
	50～54	1	0	0	8	0	0	3	0	0
	55～59	3	0	0	5	0	0	4	0	0
	60～64	11	0	0	11	0	0	11	0	0
	65～69	10	0	0	11	3	27.3	20	0	0
	70～74	9	0	0	9	0	0	13	0	0
	75～79	7	0	0	3	0	0	8	1	12.5
	80歳以上	3	0	0	1	1	100.0	2	0	0
計	64	0	0	69	6	8.7	79	1	1.3	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	0	0	—	1	0	0	0	0	—
	40～44	220	0	0	234	0	0	229	1	0.4
	45～49	11	0	0	11	0	0	10	0	0
	50～54	6	0	0	8	0	0	13	0	0
	55～59	12	0	0	6	0	0	10	0	0
	60～64	27	0	0	18	0	0	19	0	0
	65～69	17	0	0	18	0	0	20	1	5.0
	70～74	21	0	0	14	1	7.1	7	0	0
	75～79	5	0	0	6	0	0	8	0	0
	80歳以上	1	0	0	0	0	—	1	1	100.0
計	320	0	0	316	1	0.3	317	3	0.9	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	0	0	—	2	1	50.0	0	0	—
	40～44	238	0	0	251	0	0	245	1	0.4
	45～49	13	0	0	14	0	0	12	0	0
	50～54	7	0	0	16	0	0	14	0	0
	55～59	15	0	0	11	0	0	13	0	0
	60～64	39	0	0	29	0	0	29	0	0
	65～69	27	0	0	29	3	10.3	41	1	2.4
	70～74	30	0	0	23	1	4.3	23	0	0
	75～79	11	0	0	9	0	0	16	1	6.3
	80歳以上	4	0	0	1	1	100.0	3	1	33.3
計	384	0	0	385	6	1.6	396	4	1.0	

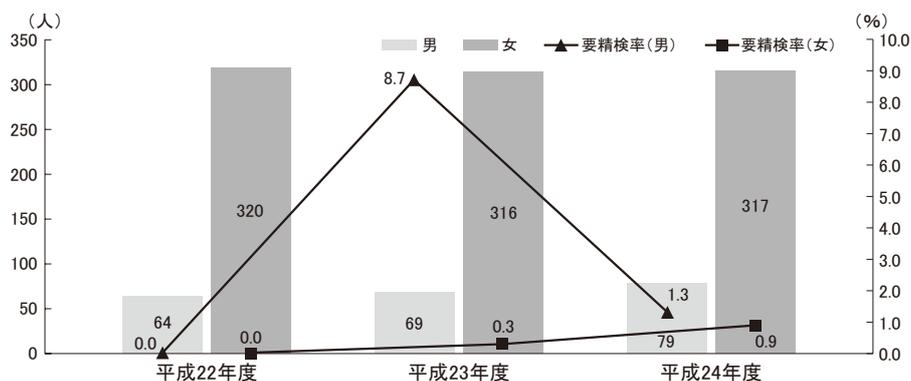


図1 年度別実施状況 —胸部X線—

表2 肺がん検診 ー喀痰検査ー (神戸市)

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	0	0	-	1	0	0	0	0	-
	40～44	11	0	0	14	0	0	13	0	0
	45～49	1	0	0	2	0	0	1	0	0
	50～54	0	0	-	6	0	0	1	0	0
	55～59	3	0	0	2	0	0	3	0	0
	60～64	10	0	0	8	0	0	8	0	0
	65～69	6	0	0	9	0	0	15	0	0
	70～74	7	0	0	7	0	0	11	0	0
	75～79	6	0	0	1	0	0	7	0	0
	80歳以上	3	0	0	0	0	-	1	0	0
計		47	0	0	50	0	0	60	0	0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	40～44	93	0	0	101	0	0	95	0	0
	45～49	7	0	0	8	0	0	7	0	0
	50～54	4	0	0	2	0	0	7	0	0
	55～59	6	0	0	4	0	0	7	0	0
	60～64	14	0	0	11	0	0	10	0	0
	65～69	9	0	0	9	0	0	10	0	0
	70～74	14	0	0	10	0	0	6	0	0
	75～79	2	0	0	3	0	0	5	0	0
	80歳以上	1	0	0	1	0	0	1	0	0
計		150	0	0	149	0	0	148	0	0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	0	0	-	1	0	0	0	0	-
	40～44	104	0	0	115	0	0	108	0	0
	45～49	8	0	0	10	0	0	8	0	0
	50～54	4	0	0	8	0	0	8	0	0
	55～59	9	0	0	6	0	0	10	0	0
	60～64	24	0	0	19	0	0	18	0	0
	65～69	15	0	0	18	0	0	25	0	0
	70～74	21	0	0	17	0	0	17	0	0
	75～79	8	0	0	4	0	0	12	0	0
	80歳以上	4	0	0	1	0	0	2	0	0
計		197	0	0	199	0	0	208	0	0

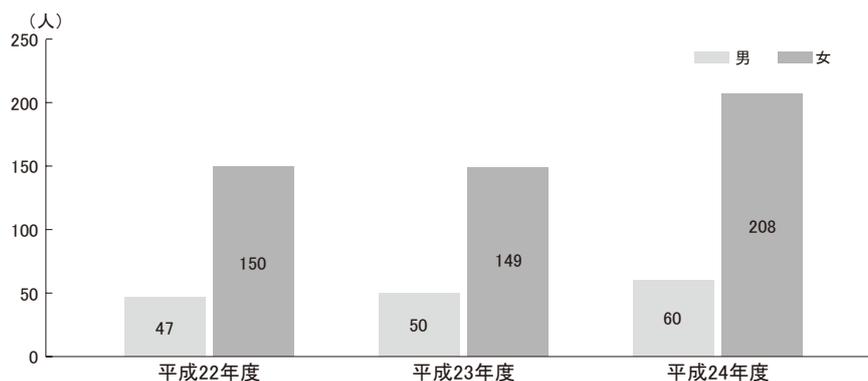


図2 年度別実施状況 ー喀痰検査ー

表3 肺がん検診 ー胸部X線検査ー (伊丹市)

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	14	1	7.1	0	0	—	0	0	—
	40～44	66	0	0	59	0	0	52	1	1.9
	45～49	48	2	4.2	48	0	0	43	0	0
	50～54	33	2	6.1	33	1	3.0	34	1	2.9
	55～59	45	0	0	41	1	2.4	39	0	0
	60～64	137	4	2.9	124	2	1.6	89	1	1.1
	65～69	304	8	2.6	271	8	3.0	257	9	3.5
	70～74	237	7	3.0	258	9	3.5	233	9	3.9
	75～79	151	10	6.6	172	12	7.0	182	11	6.0
	80歳以上	63	8	12.7	79	8	10.1	78	6	7.7
計		1,098	42	3.8	1,085	41	3.8	1,007	38	3.8

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	21	0	0	0	0	—	0	0	—
	40～44	115	1	0.9	98	0	0	106	3	2.8
	45～49	86	1	1.2	98	1	1.0	95	1	1.1
	50～54	98	0	0	75	0	0	80	0	0
	55～59	121	4	3.3	90	1	1.1	75	3	4.0
	60～64	241	3	1.2	233	6	2.6	211	4	1.9
	65～69	360	10	2.8	277	10	3.6	274	6	2.2
	70～74	210	6	2.9	264	4	1.5	242	3	1.2
	75～79	110	2	1.8	121	6	5.0	128	7	5.5
	80歳以上	40	6	15.0	33	2	6.1	42	5	11.9
計		1,402	33	2.4	1,289	30	2.3	1,253	32	2.6

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	35	1	2.9	0	0	—	0	0	—
	40～44	181	1	0.6	157	0	0	158	4	2.5
	45～49	134	3	2.2	146	1	0.7	138	1	0.7
	50～54	131	2	1.5	108	1	0.9	114	1	0.9
	55～59	166	4	2.4	131	2	1.5	114	3	2.6
	60～64	378	7	1.9	357	8	2.2	300	5	1.7
	65～69	664	18	2.7	548	18	3.3	531	15	2.8
	70～74	447	13	2.9	522	13	2.5	475	12	2.5
	75～79	261	12	4.6	293	18	6.1	310	18	5.8
	80歳以上	103	14	13.6	112	10	8.9	120	11	9.2
計		2,500	75	3.0	2,374	71	3.0	2,260	70	3.1

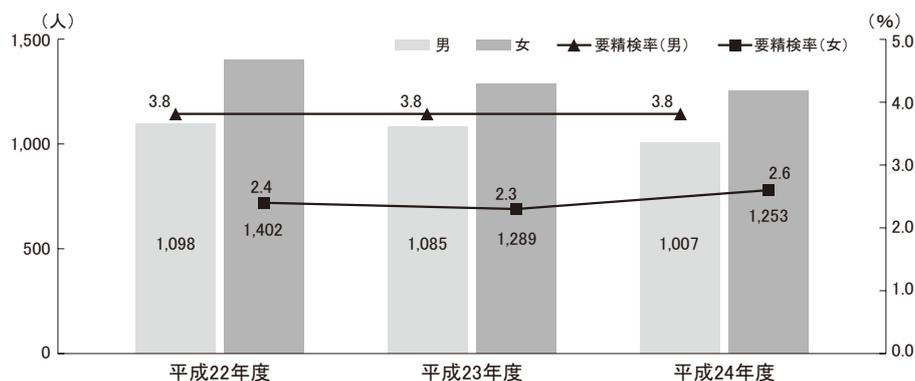


図3 年度別実施状況 ー胸部X線ー

表4 肺がん検診 ー喀痰検査ー (伊丹市)

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	5	0	0	2	0	0	2	0	0
	40～44	23	0	0	12	0	0	12	0	0
	45～49	18	0	0	11	0	0	9	0	0
	50～54	5	0	0	12	0	0	11	0	0
	55～59	17	0	0	16	0	0	10	0	0
	60～64	50	0	0	43	0	0	33	0	0
	65～69	97	0	0	91	0	0	74	0	0
	70～74	81	0	0	82	0	0	73	0	0
	75～79	49	0	0	45	0	0	46	0	0
	80歳以上	15	0	0	14	0	0	16	0	0
計		360	0	0	326	0	0	286	0	0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	2	0	0	0	0	—	2	0	0
	40～44	9	0	0	9	0	0	10	0	0
	45～49	7	0	0	10	0	0	8	0	0
	50～54	8	0	0	6	0	0	5	0	0
	55～59	22	0	0	11	0	0	8	0	0
	60～64	15	0	0	19	0	0	25	0	0
	65～69	58	0	0	33	0	0	23	0	0
	70～74	28	0	0	31	0	0	21	0	0
	75～79	5	0	0	10	0	0	10	0	0
	80歳以上	6	0	0	1	0	0	1	0	0
計		160	0	0	130	0	0	113	0	0

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	7	0	0	2	0	0	4	0	0
	40～44	32	0	0	21	0	0	22	0	0
	45～49	25	0	0	21	0	0	17	0	0
	50～54	13	0	0	18	0	0	16	0	0
	55～59	39	0	0	27	0	0	18	0	0
	60～64	65	0	0	62	0	0	58	0	0
	65～69	155	0	0	124	0	0	97	0	0
	70～74	109	0	0	113	0	0	94	0	0
	75～79	54	0	0	55	0	0	56	0	0
	80歳以上	21	0	0	15	0	0	17	0	0
計		520	0	0	456	0	0	399	0	0

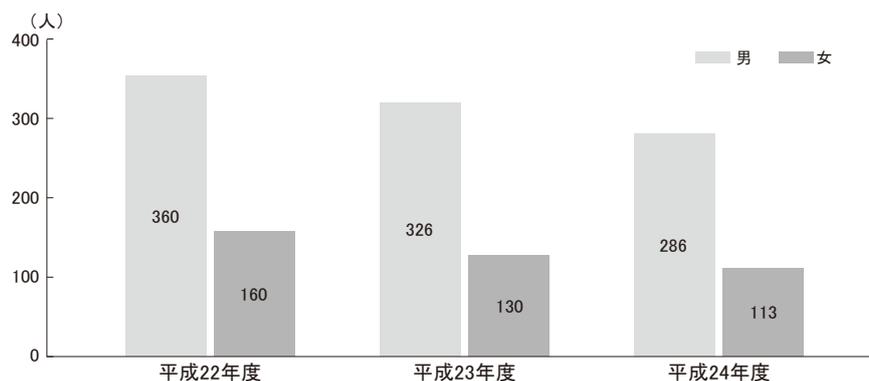


図4 年度別実施状況 ー喀痰検査ー

(7) 大腸がん検診（神戸市）

表1 大腸がん検診（便潜血検査）

年齢階級		平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
40～44	男	1,468	63	4.29	2,932	107	3.65	3,111	159	5.11
	女	3,946	183	4.64	5,988	285	4.76	6,337	322	5.08
	計	5,414	246	4.54	8,920	392	4.39	9,448	481	5.09
45～49	男	1,005	51	5.07	2,472	105	4.25	2,559	126	4.92
	女	2,235	75	3.36	4,467	195	4.37	4,730	204	4.31
	計	3,240	126	3.89	6,939	300	4.32	7,289	330	4.53
50～54	男	907	47	5.18	2,298	139	6.05	2,679	157	5.86
	女	1,831	72	3.93	4,054	148	3.65	4,790	221	4.61
	計	2,738	119	4.35	6,352	287	4.52	7,469	378	5.06
55～59	男	867	49	5.65	2,266	145	6.40	2,699	162	6.00
	女	2,233	74	3.31	4,261	151	3.54	5,020	217	4.32
	計	3,100	123	3.97	6,527	296	4.54	7,719	379	4.91
60～64	男	2,157	151	7.00	4,332	307	7.09	4,822	390	8.09
	女	4,820	230	4.77	7,387	361	4.89	8,111	440	5.42
	計	6,977	381	5.46	11,719	668	5.70	12,933	830	6.42
65～69	男	3,852	283	7.35	3,412	236	6.92	3,723	291	7.82
	女	5,468	240	4.39	4,860	188	3.87	5,500	272	4.95
	計	9,320	523	5.61	8,272	424	5.13	9,223	563	6.10
70～74	男	4,432	327	7.38	4,164	316	7.59	4,587	363	7.91
	女	5,442	325	5.97	5,251	274	5.22	5,851	367	6.27
	計	9,874	652	6.60	9,415	590	6.27	10,438	730	6.99
75～79	男	2,715	220	8.10	2,690	196	7.29	2,984	257	8.61
	女	3,466	188	5.42	3,516	190	5.40	3,847	276	7.17
	計	6,181	408	6.60	6,206	386	6.22	6,831	533	7.80
80歳以上	男	1,698	154	9.07	1,874	148	7.90	2,171	231	10.64
	女	1,777	145	8.16	2,057	129	6.27	2,488	203	8.16
	計	3,475	299	8.60	3,931	277	7.05	4,659	434	9.32
総計	男	19,101	1,345	7.04	26,440	1,699	6.43	29,335	2,136	7.28
	女	31,218	1,532	4.91	41,841	1,921	4.59	46,674	2,522	5.40
	計	50,319	2,877	5.72	68,281	3,620	5.30	76,009	4,658	6.13

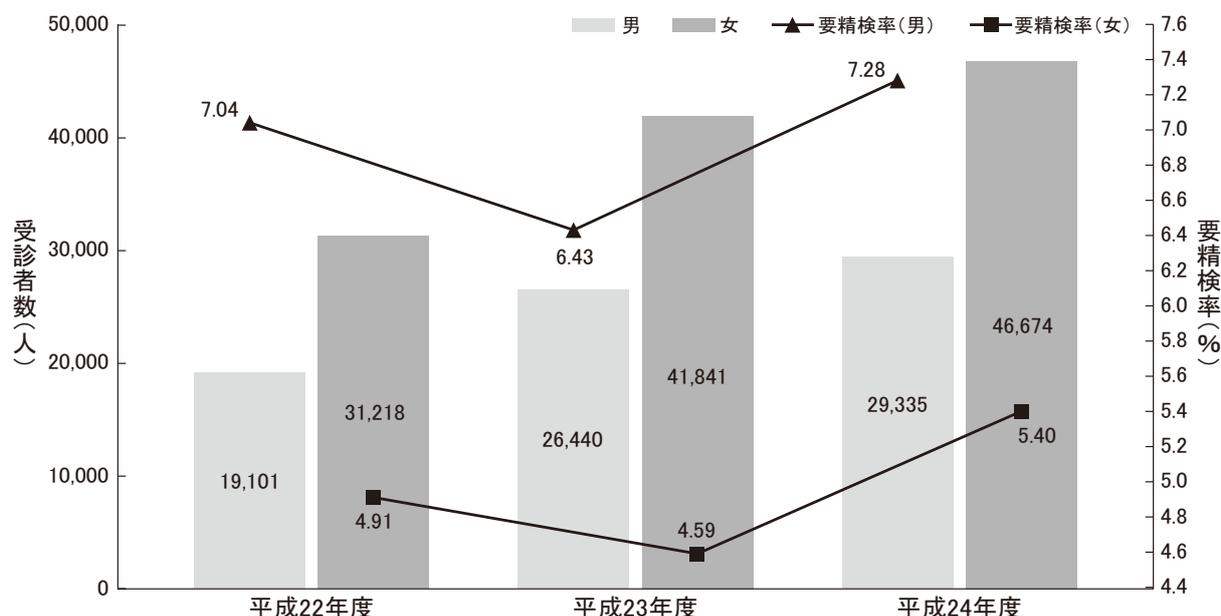


図1 大腸がん検診（便潜血）

(8) 前立腺がん検診

表1 前立腺がん検診 (PSA)

年齢階級	平成22年度				平成23年度				平成24年度			
	受診者数	異常なし	要精密検査	要精密検査率 (%)	受診者数	異常なし	要精密検査	要精密検査率 (%)	受診者数	異常なし	要精密検査	要精密検査率 (%)
19歳以下	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-
20~24	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-
25~29	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-
30~34	5	4	1	20.0	1	1	0	0	5	5	0	0
35~39	92	91	1	1.1	85	82	3	3.5	116	113	3	2.6
40~44	205	201	4	2.0	201	198	3	1.5	166	163	3	1.8
45~49	256	253	3	1.2	214	209	5	2.3	229	226	3	1.3
50~54	467	454	13	2.8	424	411	13	3.1	439	427	12	2.7
55~59	587	553	34	5.8	545	512	33	6.1	517	489	28	5.4
60~64	1,603	1,471	132	8.2	1,501	1,351	150	10.0	1,445	1,309	136	9.4
65~69	3,123	2,848	275	8.8	2,776	2,530	246	8.9	2,777	2,523	254	9.1
70~74	3,022	2,789	233	7.7	2,916	2,693	223	7.6	2,984	2,753	231	7.7
75~79	677	606	71	10.5	726	658	68	9.4	904	820	84	9.3
80歳以上	128	109	19	14.8	125	103	22	17.6	174	146	28	16.1
計	10,165	9,379	786	7.7	9,514	8,748	766	8.1	9,756	8,974	782	8.0

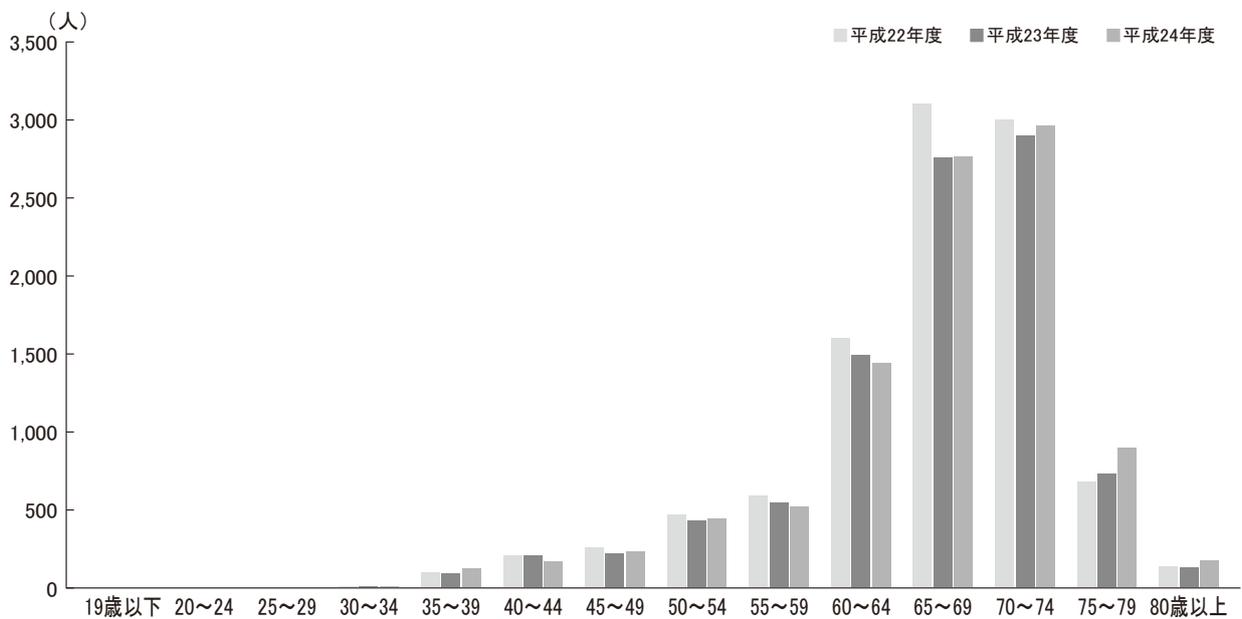


図1 前立腺がん検診年齢階級別受診者数

(9) 結核健診（神戸市）

神戸市保健所より委託を受け、各種結核健診を実施した。受診者数は下記のとおりである。

• 市民健診同時実施分

感染症法第53条の2に基づく結核定期健診。15歳以上の市民を対象者として市民健康診査（集団健診）と同時に実施し、保健衛生、公衆衛生の確保を行なうとともに、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

• 管理健診

感染症法第53条の13に基づいて、保健所長が結核登録者に対して実施する健康診断（精密検査）。治療終了者の再発防止のための早期発見および治療放置患者あるいは病状不明の登録者に対する病状把握や悪化防止、治療復帰への指導を目的とする。

• 接触者健診

感染症法第17条に基づき、結核患者が発見された場合にその周囲の者に対して行なう健康診断。感染者の早期発見および患者の感染源の追求により、新たな感染防止を図る。

• ハイリスク者健診

結核を発病する率が高いとされる、社会的経済的弱者および外国人や若年のフリーター、ホームレス等、受診機会のない人々に対して行なう健康診断。画像診断モニター積載デジタル検診車を用い、その場で要精密者に対し適切な医療の提供、指導を行ない、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

表1 神戸市結核健診

結核検診種類内訳	結核定期健診 (市民健診同時実施分) (表2参照)	管理健診	接触者健診	ハイリスク者健診
22年度受診者数	45,674	194	1,566	1,786
23年度受診者数	47,027	215	1,128	1,898
24年度受診者数	49,032	244	912	1,838

表2 神戸市結核健診（市民健診同時実施分）結果

年度	受診者数	性別	計 (F)	正常 (A)	ほぼ正常 (B)	要検査 (C)	要医療 (D)	医療中 (E)	有所見率(%) (C+D+E)/F
22年度	45,674	男	17,903	15,853	1,564	167	317	2	2.7
		女	27,771	26,000	1,314	214	243	0	1.6
23年度	47,027	男	18,810	16,631	1,668	173	335	3	2.7
		女	28,217	26,389	1,395	145	288	0	1.5
24年度	49,032	男	19,948	17,839	1,562	135	412	0	2.7
		女	29,084	27,344	1,220	133	386	1	1.8

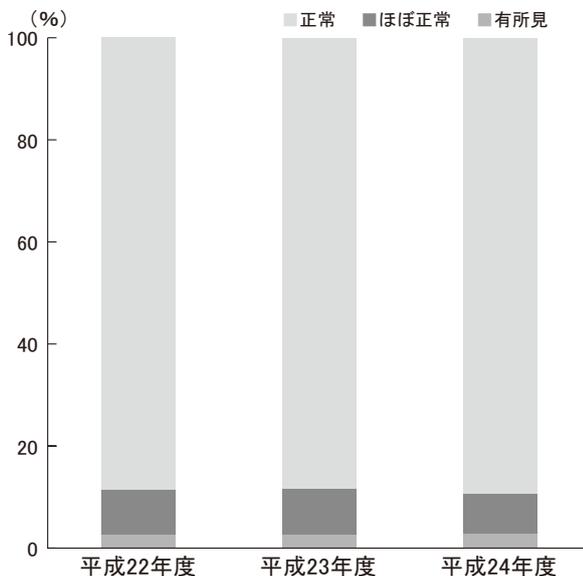


図1 結核健診受診結果（男）

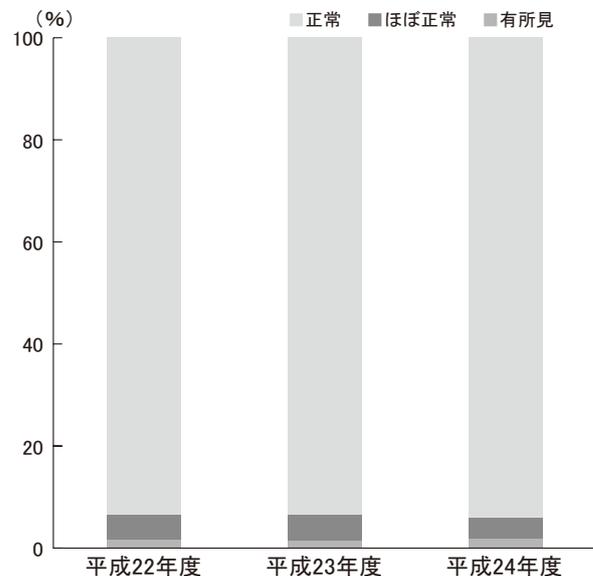


図2 結核健診受診結果（女）

(10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）

肝炎検査は、厚生労働省の定める「肝炎ウイルス検診等実施要領」に基づき行われ、B型肝炎ウイルス（HBV）とC型肝炎ウイルス（HCV）の感染を調べる項目から構成されている。対象年齢者（神戸市：40～70歳、芦屋市：40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70

歳、伊丹市：40歳～）のうち、肝炎ウイルスの受診歴の無い希望者に実施している。B型肝炎ウイルス検査はHBs抗原検査の結果から、C型肝炎ウイルス検査は図1に従って感染の有無を判定する。芦屋市の肝炎検査は、平成24年度より受託を開始した。

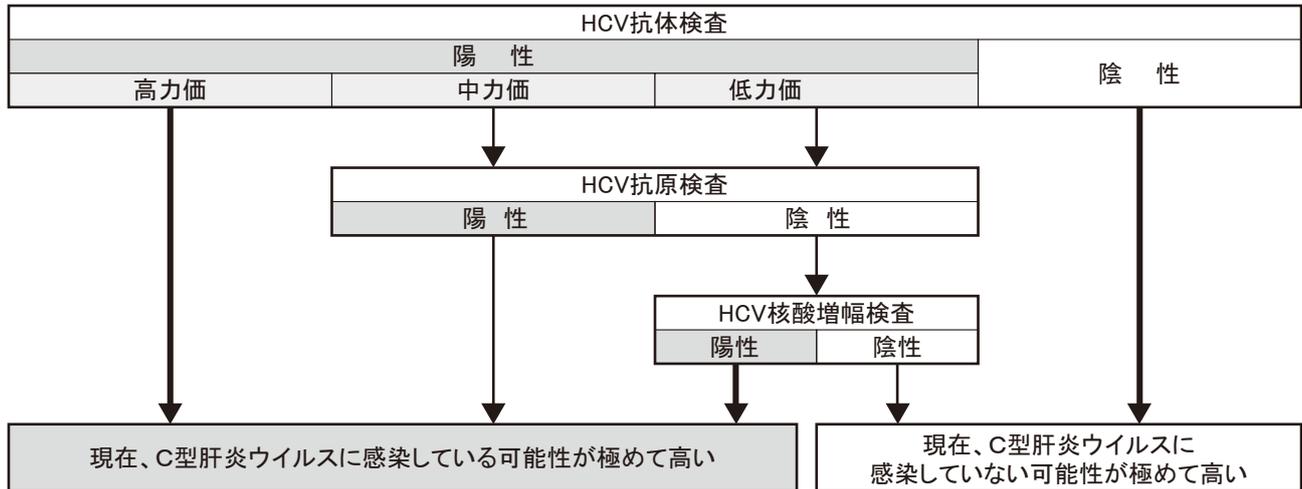


図1 C型肝炎ウイルス検査の流れ（厚生労働省）

表1 HCV検査件数と陽性率（神戸市）

検査項目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	9,568	154	1.6	8,054	93	1.2	7,675	98	1.3
HCV抗原	110	8	7.3	66	3	4.5	61	6	9.8
HCV核酸増幅	102	0	0	63	0	0	55	0	0

表2 肝炎検査陽性率（神戸市）

検査項目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	9,568	96	1.0	8,054	67	0.8	7,675	67	0.9
C型肝炎ウイルス ^{*1}	9,568	52	0.5	8,054	30	0.4	7,675	43	0.6

表3 HCV検査件数と陽性率（芦屋市）

検査項目	平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	619	3	0.5
HCV抗原	2	0	0
HCV核酸増幅	2	0	0

表4 肝炎検査陽性率（芦屋市）

検査項目	平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率 (%)
B型肝炎ウイルス	618	6	1.0
C型肝炎ウイルス ^{※1}	619	1	0.2

表5 HCV検査件数と陽性率（伊丹市）

検査項目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率 (%)	件数	陽性数	陽性率 (%)	件数	陽性数	陽性率 (%)
HCV抗体	192	2	1.0	197	4	2.0	215	2	0.9
HCV抗原	1	0	0	3	0	0	2	1	50.0
HCV核酸増幅	1	0	0	3	0	0	1	0	0

表6 肝炎検査陽性率（伊丹市）

検査項目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率 (%)	件数	陽性数	陽性率 (%)	件数	陽性数	陽性率 (%)
B型肝炎ウイルス	192	3	1.6	197	4	2.0	215	3	1.4
C型肝炎ウイルス ^{※1}	192	1	0.5	197	1	0.5	215	1	0.5

※1：最終的に「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された検体を陽性とする。

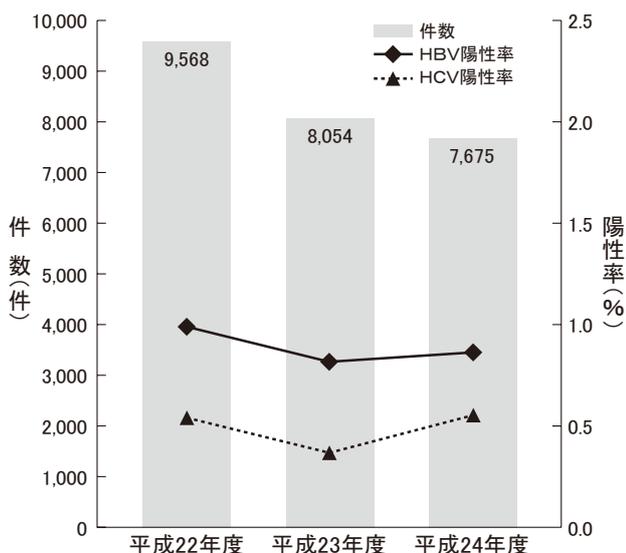


図2 実施件数と陽性率^{※2}の推移（神戸市）

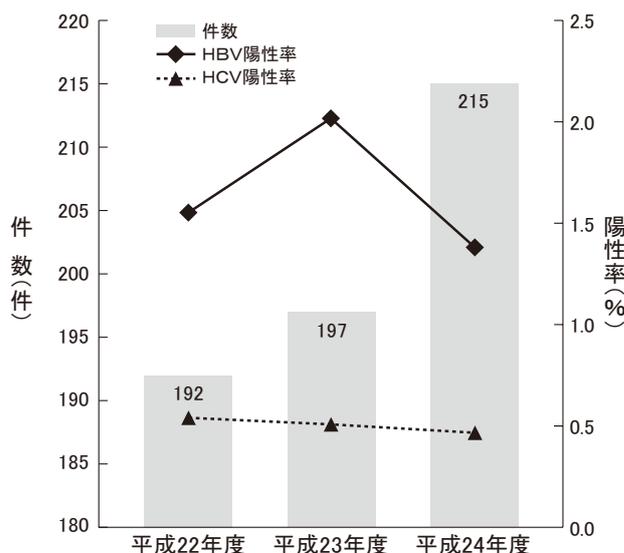


図3 実施件数と陽性率^{※2}の推移（伊丹市）

※2：図2、図3の陽性率は表2、表6による。

(11) エイズ (HIV/AIDS) 及びクラミジア・梅毒検査

即日HIV抗体検査および夜間HIV抗体・性感染症検査

平成18年度以降、神戸市から継続して受託している。原則として、即日HIV抗体検査は事前予約制で毎月1～2回土曜日13時から、夜間HIV抗体・性感染症検査は予約も不要で、毎週水曜日18時から実施している。即日HIV抗体検査は定員数に対しての希望者数が多く、事前

予約時に受検をお断りせざるを得ないこともあった。これを回避すべく、平成24年度7月から定員を従来の30名から45名へと1.5倍に拡大した。今後も市民の皆様により多くの受検の機会を提供し、感染拡大防止に寄与していきたい。

表1 即日HIV・夜間HIV性感染症件数推移

検査項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
即日HIV	467	421	402	449	475
夜間HIV	2,422	1,641	1,718	1,855	1,806
夜間クラミジア	2,326	1,581	1,652	1,776	1,741
夜間梅毒	2,329	1,584	1,662	1,796	1,754

表2 HIV陽性*の推移

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	陽性	陽性率(%)								
即日	1	0.03	0	0	0	0	3	0.13	2	0.09
夜間	3	0.10	6	0.29	8	0.38	4	0.17	5	0.22
陽性合計	4	0.14	6	0.29	8	0.38	7	0.30	7	0.31
全受験者	2,889		2,062		2,120		2,304		2,281	

*HIV陽性：確認試験の結果、最終的な陽性を示す。

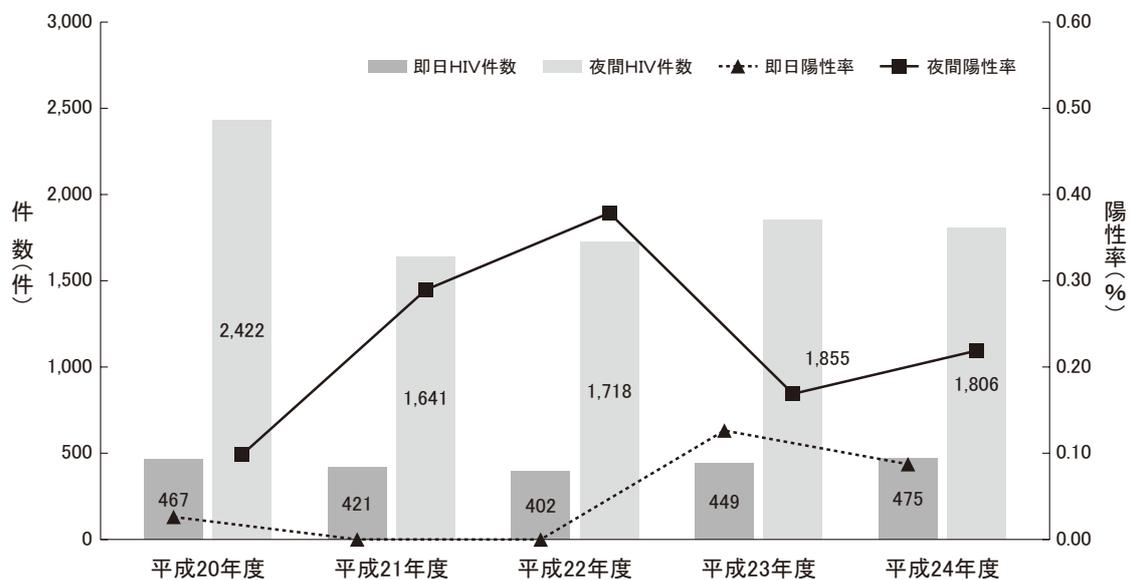


図1 HIV受検者数推移

(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）

骨粗鬆症の早期発見及び予防を目的に骨量測定（超音波法）による集団検診を実施し、早期治療及び適切な健康教育に努めた。

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	55	9	16.4	26	4	15.4	38	4	10.5
	40～44	120	17	14.2	73	12	16.4	75	8	10.7
	45～49	120	17	14.2	77	13	16.9	67	6	9.0
	50～54	122	10	8.2	90	4	4.4	92	3	3.3
	55～59	150	19	12.7	123	11	8.9	104	9	8.7
	60～64	491	45	9.2	352	30	8.5	316	22	7.0
	65～69	1,106	122	11.0	707	63	8.9	706	58	8.2
	70～74	1,256	118	9.4	874	68	7.8	896	54	6.0
	75～79	324	46	14.2	259	30	11.6	343	40	11.7
80歳以上	92	22	23.9	60	14	23.3	84	16	19.0	
計		3,836	425	11.1	2,641	249	9.4	2,721	220	8.1

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	1,283	111	8.7	736	55	7.5	741	40	5.4
	40～44	377	36	9.5	351	28	8.0	369	11	3.0
	45～49	415	34	8.2	317	23	7.3	323	20	6.2
	50～54	543	26	4.8	409	12	2.9	416	11	2.6
	55～59	926	19	2.1	752	7	0.9	742	5	0.7
	60～64	2,772	92	3.3	2,244	49	2.2	2,037	42	2.1
	65～69	3,651	250	6.8	2,838	138	4.9	2,823	117	4.1
	70～74	3,130	265	8.5	2,715	147	5.4	2,784	132	4.7
	75～79	693	93	13.4	586	59	10.1	726	59	8.1
80歳以上	148	43	29.1	132	25	18.9	164	24	14.6	
計		13,938	969	7.0	11,080	543	4.9	11,125	461	4.1

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	1,338	120	9.0	762	59	7.7	779	44	5.6
	40～44	497	53	10.7	424	40	9.4	444	19	4.3
	45～49	535	51	9.5	394	36	9.1	390	26	6.7
	50～54	665	36	5.4	499	16	3.2	508	14	2.8
	55～59	1,076	38	3.5	875	18	2.1	846	14	1.7
	60～64	3,263	137	4.2	2,596	79	3.0	2,353	64	2.7
	65～69	4,757	372	7.8	3,545	201	5.7	3,529	175	5.0
	70～74	4,386	383	8.7	3,589	215	6.0	3,680	186	5.1
	75～79	1,017	139	13.7	845	89	10.5	1,069	99	9.3
80歳以上	240	65	27.1	192	39	20.3	248	40	16.1	
計		17,774	1,394	7.8	13,721	792	5.8	13,846	681	4.9

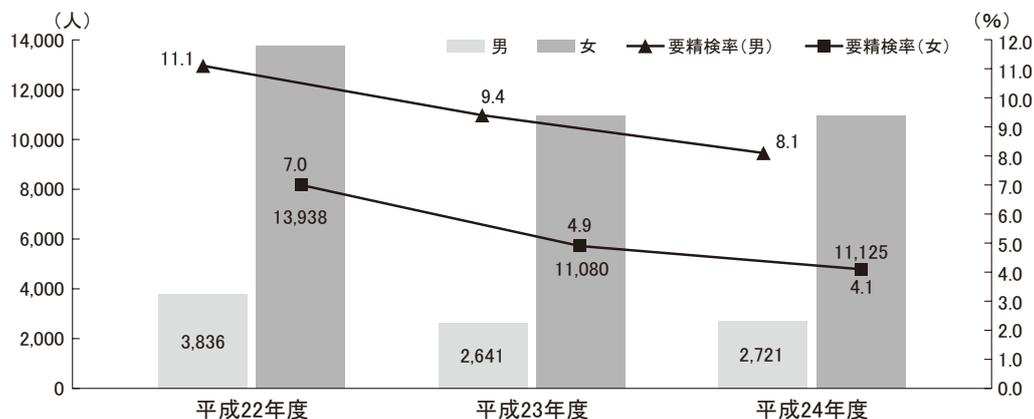


図1 年度別実施状況

2. 学校保健

(1) 心臓検診

協会は昭和50年から学校心臓検診に取組み、神戸市とそれ以外の地区として宝塚市、西宮市、芦屋市、伊丹市、佐用町、太子町、上郡町、宍粟市、朝来市、洲本市、南あわじ市の兵庫県下広域にわたり一次検診を実施している。さらに地域の医師会・学校等とも連携をとり、地域

の心臓検診システムの特徴にあわせて一次検診方法として問診と検査は12誘導心電図・6誘導心電図・4誘導心電図心音図・6誘導心電図心音図等のさまざまな方法により支援ができる。

(1) 小学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度				
		一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)		
6誘導心電図方式	南あわじ市 洲本市	男	453	8	1.77	398	7	1.76	397	4	1.01	
		女	386	2	0.52	408	5	1.23	372	5	1.34	
		計	839	10	1.19	806	12	1.49	769	9	1.17	
	私立	男	41	5	12.20	32	1	3.13	45	2	4.44	
		女	31	0	0	33	2	6.06	37	2	5.41	
		計	72	5	6.94	65	3	4.62	82	4	4.88	
	合計	男	494	13	2.63	430	8	1.86	442	6	1.36	
		女	417	2	0.48	441	7	1.59	409	7	1.71	
		計	911	15	1.65	871	15	1.72	851	13	1.53	
	12誘導心電図方式	伊丹市 (他学年含む)	男	1,997	62	3.10	1,937	62	3.20	54	9	16.67
			女	1,991	59	2.96	1,932	55	2.85	27	9	33.33
			計	3,988	121	3.03	3,869	117	3.02	81	18	22.22
上郡町		男	70	1	1.43	72	0	0	46	2	4.35	
		女	58	0	0	61	0	0	61	3	4.92	
		計	128	1	0.78	133	0	0	107	5	4.67	
太子町		男	211	6	2.84	210	7	3.33	182	8	4.40	
		女	181	3	1.66	177	2	1.13	181	8	4.42	
		計	392	9	2.30	387	9	2.33	363	16	4.41	
芦屋市 (他学年含む)		男	863	35	4.06	807	25	3.10	853	23	2.70	
		女	754	19	2.52	739	23	3.11	733	13	1.77	
		計	1,617	54	3.34	1,546	48	3.10	1,586	36	2.27	
私立 (他学年含む)	男	162	2	1.23	157	2	1.27	183	5	2.73		
	女	199	0	0	226	4	1.77	210	2	0.95		
	計	361	2	0.55	383	6	1.57	393	7	1.78		
合計	男	3,303	106	3.21	3,183	96	3.02	1,318	47	3.57		
	女	3,183	81	2.54	3,135	84	2.68	1,212	35	2.89		
	計	6,486	187	2.88	6,318	180	2.85	2,530	82	3.24		
心電・心音図方式	神戸市 (他学年含む)	男	6,788	506	7.45	6,400	474	7.41	6,502	405	6.23	
		女	6,244	367	5.88	6,312	321	5.09	6,072	311	5.12	
		計	13,032	873	6.70	12,712	795	6.25	12,574	716	5.69	
	兵庫県北部 (他学年含む)	男	802	22	2.74	779	20	2.57	711	39	5.49	
		女	741	20	2.70	679	17	2.50	707	19	2.69	
		計	1,543	42	2.72	1,458	37	2.54	1,418	58	4.09	
	宝塚市	男	1,112	31	2.79	1,034	68	6.58	1,046	64	6.12	
		女	1,025	25	2.44	1,005	46	4.58	892	36	4.04	
		計	2,137	56	2.62	2,039	114	5.59	1,938	100	5.16	
	西宮市 (他学年含む)	男	2,434	43	1.77	2,533	18	0.71	2,372	61	2.57	
		女	2,301	25	1.09	2,292	10	0.44	2,121	39	1.84	
		計	4,735	68	1.44	4,825	28	0.58	4,493	100	2.23	
伊丹市	男	0	0	-	0	0	-	866	34	3.93		
	女	0	0	-	0	0	-	926	24	2.59		
	計	0	0	-	0	0	-	1,792	58	3.24		
合計	男	11,136	602	5.41	10,746	580	5.40	11,497	603	5.24		
	女	10,311	437	4.24	10,288	394	3.83	10,718	429	4.00		
	計	21,447	1,039	4.84	21,034	974	4.63	22,215	1,032	4.65		

(2) 中学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
		一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	
6 誘導心電図方式	南あわじ市 洲本市	男	466	9	1.93	432	4	0.93	411	4	0.97
		女	451	8	1.77	454	7	1.54	455	5	1.10
		計	917	17	1.85	886	11	1.24	866	9	1.04
	私立 (他学年含む)	男	109	0	0	107	1	0.93	98	0	0
		女	98	1	1.02	101	4	3.96	92	3	3.26
		計	207	1	0.48	208	5	2.40	190	3	1.58
	合 計	男	575	9	1.57	539	5	0.93	509	4	0.79
		女	549	9	1.64	555	11	1.98	547	8	1.46
		計	1,124	18	1.60	1,094	16	1.46	1,056	12	1.14
	県立 (他学年含む)	男	42	1	2.38	52	3	5.77	41	0	0
		女	112	0	0	111	2	1.80	118	2	1.69
		計	154	1	0.65	163	5	3.07	159	2	1.26
伊丹市 (他学年含む)	男	924	24	2.60	993	18	1.81	953	22	2.31	
	女	918	20	2.18	883	18	2.04	980	20	2.04	
	計	1,842	44	2.39	1,876	36	1.92	1,933	42	2.17	
上郡町	男	101	2	1.98	96	2	2.08	80	1	1.25	
	女	69	1	1.45	68	1	1.47	71	1	1.41	
	計	170	3	1.76	164	3	1.83	151	2	1.32	
太子町	男	171	1	0.58	186	5	2.69	174	5	2.87	
	女	168	0	0	184	4	2.17	192	7	3.65	
	計	339	1	0.29	370	9	2.43	366	12	3.28	
芦屋市 (他学年含む)	男	272	3	1.10	254	4	1.57	301	5	1.66	
	女	258	6	2.33	268	3	1.12	240	5	2.08	
	計	530	9	1.70	522	7	1.34	541	10	1.85	
私立 (他学年含む)	男	1,708	25	1.46	1,598	30	1.88	1,393	17	1.22	
	女	1,072	20	1.87	1,145	13	1.14	1,077	14	1.30	
	計	2,780	45	1.62	2,743	43	1.57	2,470	31	1.26	
合 計	男	3,218	56	1.74	3,179	62	1.95	2,942	50	1.70	
	女	2,597	47	1.81	2,659	41	1.54	2,678	49	1.83	
	計	5,815	103	1.77	5,838	103	1.76	5,620	99	1.76	
神戸市 (他学年含む)	男	6,163	305	4.95	6,354	347	5.46	6,273	357	5.69	
	女	5,791	214	3.70	5,990	260	4.34	5,919	255	4.31	
	計	11,954	519	4.34	12,344	607	4.92	12,192	612	5.02	
兵庫県北部	男	460	12	2.61	474	11	2.32	489	27	5.52	
	女	456	9	1.97	453	13	2.87	420	15	3.57	
	計	916	21	2.29	927	24	2.59	909	42	4.62	
宝塚市	男	909	41	4.51	922	55	5.97	893	34	3.81	
	女	888	32	3.60	916	53	5.79	943	50	5.30	
	計	1,797	73	4.06	1,838	108	5.88	1,836	84	4.58	
西宮市 (他学年含む)	男	1,852	41	2.21	1,995	32	1.60	2,095	35	1.67	
	女	1,757	27	1.54	1,885	21	1.11	1,865	16	0.86	
	計	3,609	68	1.88	3,880	53	1.37	3,960	51	1.29	
私立	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	女	311	8	2.57	337	10	2.97	297	14	4.71	
	計	311	8	2.57	337	10	2.97	297	14	4.71	
合 計	男	9,384	399	4.25	9,745	445	4.57	9,750	453	4.65	
	女	9,203	290	3.15	9,581	357	3.73	9,444	350	3.71	
	計	18,587	689	3.71	19,326	802	4.15	19,194	803	4.18	

(3) 高等学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度			
		一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	一次健診(A)	精検者(B)	% (B/A)	
6 誘導心電図方式	私立	男	40	0	0	32	2	6.25	99	5	5.05
		女	50	1	2.00	39	0	0	122	1	0.82
		計	90	1	1.11	71	2	2.82	221	6	2.71
	合 計	男	40	0	0	32	2	6.25	99	5	5.05
		女	50	1	2.00	39	0	0	122	1	0.82
		計	90	1	1.11	71	2	2.82	221	6	2.71
12 誘導心電図方式	県立 (他学年含む)	男	7,205	135	1.87	7,020	136	1.94	7,228	154	2.13
		女	7,807	107	1.37	7,125	106	1.49	7,584	152	2.00
		計	15,012	242	1.61	14,145	242	1.71	14,812	306	2.07
	伊丹市 西宮市 (他学年含む)	男	492	24	4.88	475	14	2.95	396	6	1.52
		女	479	7	1.46	459	11	2.40	448	5	1.12
		計	971	31	3.19	934	25	2.68	844	11	1.30
	神戸市 (他学年含む)	男	1,174	57	4.86	1,190	60	5.04	1,355	81	5.98
		女	1,040	41	3.94	983	36	3.66	1,067	40	3.75
		計	2,214	98	4.43	2,173	96	4.42	2,422	121	5.00
	私立 (他学年含む)	男	3,165	55	1.74	3,234	74	2.29	3,129	71	2.27
		女	2,886	35	1.21	2,782	51	1.83	2,805	56	2.00
		計	6,051	90	1.49	6,016	125	2.08	5,934	127	2.14
合 計	男	12,036	271	2.25	11,919	284	2.38	12,108	312	2.58	
	女	12,212	190	1.56	11,349	204	1.80	11,904	253	2.13	
	計	24,248	461	1.90	23,268	488	2.10	24,012	565	2.35	
心電・心音図方式	私立	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
		女	330	7	2.12	341	6	1.76	328	7	2.13
		計	330	7	2.12	341	6	1.76	328	7	2.13
	合 計	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
		女	330	7	2.12	341	6	1.76	328	7	2.13
		計	330	7	2.12	341	6	1.76	328	7	2.13

(2) 脊柱変形学校検診

神戸市、阪神間諸都市を中心に兵庫県一円における小学校5、6年生と中学校1、2年生の児童生徒を対象に実施している。^{※1}

検診の方式は、各会場校へモアレ写真撮影、専門医による視触診、X線直接撮影を全て出張検診で行ない、側弯症と診断された児童生徒には、保護者も含めて事後指導を実施している。(右図)^{※2}

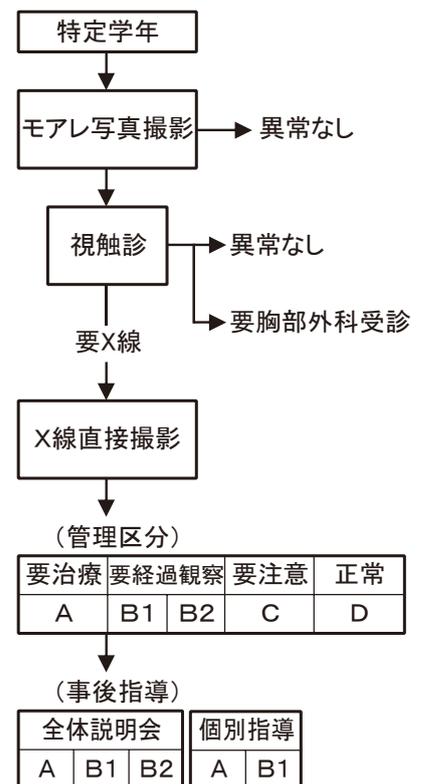
本年度のモアレ検査受診者は32,299名で有所見者は5,195名。有所見率は16.08%であった。(表1)

協会実施のモアレ検査有所見者及び学校医の指摘により受診した視触診者数は2,735名でX線直接撮影により側弯症と判定された者は341名で発現率は12.47%であった。(表2)

過去3年度分のモアレ検診有所見率と性差、受診者総数と側弯発現率をそれぞれ表3、表4に示している

※1 (対象学年は自治体により異なる。)

※2 (方式は自治体により異なる。)



脊柱側弯症判定区分

管理区分	診断	わん曲度
A 要治療	脊柱側弯症(中等度以上)	コブ角25度以上 構築性側弯
B1	脊柱側弯症(軽度)	コブ角15度~24度
B2		構築性側弯
C 要注意	脊柱側弯症の疑い	コブ角14度以下 構築性変化あり 構築性変化なし
D 正常	異常なし	

表1 脊柱検診集計表（モアレ法）

区分	小学5年生			小学6年生			中学1年生			中学2年生			
	学年 性別	受診者	モアレ 有所見	有所見率 (%)	受診者	モアレ 有所見	有所見率 (%)	受診者	モアレ 有所見	有所見率 (%)	受診者	モアレ 有所見	有所見率 (%)
神戸市 ※	男				6,808	829	12.18						
	女				6,469	1,091	16.87						
	計				13,277	1,920	14.46						
宝塚市	男	1,122	141	12.57							909	105	11.55
	女	1,097	229	20.88							877	210	23.95
	計	2,219	370	16.67							1,786	315	17.64
尼崎市	男							1,652	129	7.81			
	女							1,650	407	24.67			
	計							3,302	536	16.23			
明石市	男							1,420	193	13.59			
	女							1,305	314	24.06			
	計							2,725	507	18.61			
伊丹市	男							924	151	16.34			
	女							952	278	29.2			
	計							1,876	429	22.87			
三田市 ※	男	535	46	8.6				543	48	8.84			
	女	562	62	11.03				560	81	14.46			
	計	1,097	108	9.85				1,103	129	11.7			
小野市 ※	男							267	52	19.48			
	女							250	64	25.6			
	計							517	116	22.44			
相生市 ※	男	113	19	16.81							130	18	13.85
	女	118	26	22.03							114	40	35.09
	計	231	45	19.48							244	58	23.77
上郡市 ※	男	74	11	14.86							91	7	7.69
	女	77	13	16.88							68	17	25
	計	151	24	15.89							159	24	15.09
猪名川	男	186	16	8.6							145	11	7.59
	女	197	26	13.2							156	30	19.23
	計	383	42	10.97							301	41	13.62
加東市 ※	男				189	19	10.05	177	20	11.3			
	女				170	29	17.06	172	31	18.02			
	計				359	48	13.37	349	51	14.61			
芦屋市	男	399	64	16.04							262	29	11.07
	女	351	58	16.52							273	60	21.98
	計	750	122	16.27							535	89	16.64
国・私立 学校9校 ※	男	45	5	11.11	23	1	4.35	91	12	13.19	0	0	-
	女	100	12	12	10	3	30	531	146	27.5	135	42	31.11
	計	145	17	11.72	33	4	12.12	622	158	25.4	135	42	31.11
合計	男	2,474	302	12.21	7,020	849	12.09	5,074	605	11.92	1,537	170	11.06
	女	2,502	426	17.03	6,649	1,123	16.89	5,420	1,321	24.37	1,623	399	24.58
	計	4,976	728	14.63	13,669	1,972	14.43	10,494	1,926	18.35	3,160	569	18.01

※モアレ検査のみ施行の自治体

表2 平成24年度視触診受診者数と側弯症発現率

学年	性別	視触診			X線 (管理指導区分)						事後指導	
		受診者	要X線撮影	率 (%)	A		B1		B2		側弯症数	発現率 (%)
					人数	率 (%)	人数	率 (%)	人数	率 (%)		
小学生 全学年	男	274	47	17.15	1	0.36	4	1.46	9	3.28	14	5.11
	女	370	81	21.89	5	1.35	12	3.24	18	4.86	35	9.46
	計	644	128	19.88	6	0.93	16	2.48	27	4.19	49	7.61
中学生 全学年	男	710	94	13.24	2	0.28	6	0.85	20	2.82	28	3.94
	女	1,381	470	34.03	32	2.32	122	8.83	110	7.97	264	19.12
	計	2,091	564	26.97	34	1.63	128	6.12	130	6.22	292	13.96
計	男	984	141	14.33	3	0.3	10	1.02	29	2.95	42	4.27
	女	1,751	551	31.47	37	2.11	134	7.65	128	7.31	299	17.08
	計	2,735	692	25.3	40	1.46	144	5.27	157	5.74	341	12.47

注：発現率は視触診受診者数に対する比率。

表3 平成22年度～平成24年度モアレ検査有所見率と性差

学年	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	有所見	有所見率 (%)	受診者数	有所見	有所見率 (%)	受診者数	有所見	有所見率 (%)
小学生 全学年	男	10,080	585	5.8	9,641	971	10.07	9,494	1,151	12.12
	女	9,644	1,746	18.1	9,194	1,826	19.86	9,151	1,549	16.93
	計	19,724	2,331	11.82	18,835	2,797	14.85	18,645	2,700	14.48
中学生 全学年	男	6,550	343	5.24	6,751	622	9.21	6,611	775	11.72
	女	6,996	1,316	18.81	7,088	1,478	20.85	7,043	1,720	24.42
	計	13,546	1,659	12.25	13,839	2,100	15.17	13,654	2,495	18.27
計	男	16,630	928	5.58	16,392	1,593	9.72	16,105	1,926	11.96
	女	16,640	3,062	18.4	16,282	3,304	20.29	16,194	3,269	20.19
	計	33,270	3,990	11.99	32,674	4,897	14.99	32,299	5,195	16.08

表4 平成22年度～平成24年度受診者総数と側弯症発現率 (除西宮市)

学年	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	B2以上数と発現率 (%)		受診者数	B2以上数と発現率 (%)		受診者数	B2以上数と発現率 (%)	
小学生 全学年	男	1,677	2	0.12	1,754	16	0.91	1,707	11	0.64
	女	1,629	40	2.46	1,634	51	3.12	1,645	26	1.58
	計	3,306	42	1.27	3,388	67	1.98	3,352	37	1.10
中学生 全学年	男	5,248	34	0.65	5,432	46	0.85	5,312	27	0.51
	女	5,119	219	4.28	5,180	257	4.96	5,213	245	4.70
	計	10,367	253	2.44	10,612	303	2.86	10,525	272	2.58
計	男	6,925	36	0.52	7,186	62	0.86	7,019	38	0.54
	女	6,748	259	3.84	6,814	308	4.52	6,858	271	3.95
	計	13,673	295	2.16	14,000	370	2.64	13,877	309	2.23

注：西宮市においては、モアレは実施せず、学校定期健診における内科検診の結果、有所見者に対して視触診を行ない、さらにその中の有所見者を対象として、脊柱X線を実施する方式となっている。

(3) 腎臓・糖尿病検診

腎臓病疾患の検査項目は学校保健法施行規則では、『尿中の蛋白などについて試験紙法により検査する』こととなっており、蛋白検査は必須であるが、潜血検査は蛋白検査と併せて行うことが望ましいに留まっている。しかし、腎炎の初期や治療期には血尿だけしか症状がな

い腎臓病も多く知られており、潜血検査は重要な項目の一つである。一方、糖尿病においては、糖尿病検診として平成4年度から尿検査で尿糖の検査も併せて行うことが義務づけられた。

腎臓病検診（尿蛋白・潜血）

表1 学校区分別受検者数

学校区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
保育園・幼稚園	47,249	49,278	52,919
小学校	140,202	138,616	240,485
中学校	65,747	67,580	95,706
高等学校	66,902	67,069	72,130
大学・短大	1,822	1,868	1,866
養護学校他	4,130	4,094	4,354
合計	326,052	328,505	467,460

表2 平成24年度 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

学校区分	性別	受検者数 (A)	陽性者数 (B)	陽性率% (B/A)
保育園・幼稚園	男	27,431	208	0.76
	女	25,488	383	1.50
	計	52,919	591	1.12
小学校	男	123,880	987	0.80
	女	116,605	2,598	2.23
	計	240,485	3,585	1.49
中学校	男	48,340	1,630	3.37
	女	47,366	3,552	7.50
	計	95,706	5,182	5.41
高等学校	男	34,791	1,184	3.40
	女	37,339	2,806	7.51
	計	72,130	3,990	5.53
大学・短大	男	1,095	20	1.83
	女	771	50	6.49
	計	1,866	70	3.75
養護学校等	男	2,458	86	3.50
	女	1,896	128	6.75
	計	4,354	214	4.92
合計	男	237,995	4,115	1.73
	女	229,465	9,517	4.15
	計	467,460	13,632	2.92

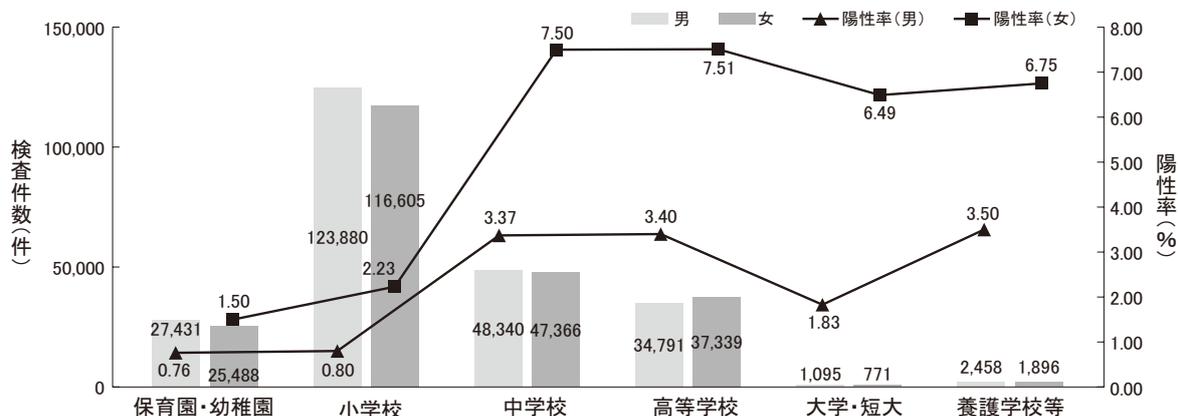


図1 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査陽性率

糖尿病検診（尿糖）

表1 学校区分別受検者数

学校区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
保育園・幼稚園	47,249	49,278	52,919
小学校	140,202	138,616	240,485
中学校	65,747	66,159	95,706
高等学校	66,902	64,676	72,130
大学・短大	1,822	1,570	1,866
養護学校他	4,130	4,034	4,354
合計	326,052	324,333	467,460

表2 平成24年度 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

学校区分	性別	受検者数（A）	陽性者数（B）	陽性率％（B／A）
保育園・幼稚園	男	27,431	16	0.06
	女	25,488	12	0.05
	計	52,919	28	0.05
小学校	男	123,880	44	0.04
	女	116,605	41	0.04
	計	240,485	85	0.04
中学校	男	48,340	41	0.08
	女	47,366	52	0.11
	計	95,706	93	0.10
高等学校	男	34,791	120	0.34
	女	37,339	80	0.21
	計	72,130	200	0.28
大学・短大	男	1,095	0	0
	女	771	5	0.65
	計	1,866	5	0.27
養護学校等	男	2,458	7	0.28
	女	1,896	7	0.37
	計	4,354	14	0.32
合計	男	237,995	228	0.10
	女	229,465	197	0.09
	計	467,460	425	0.09

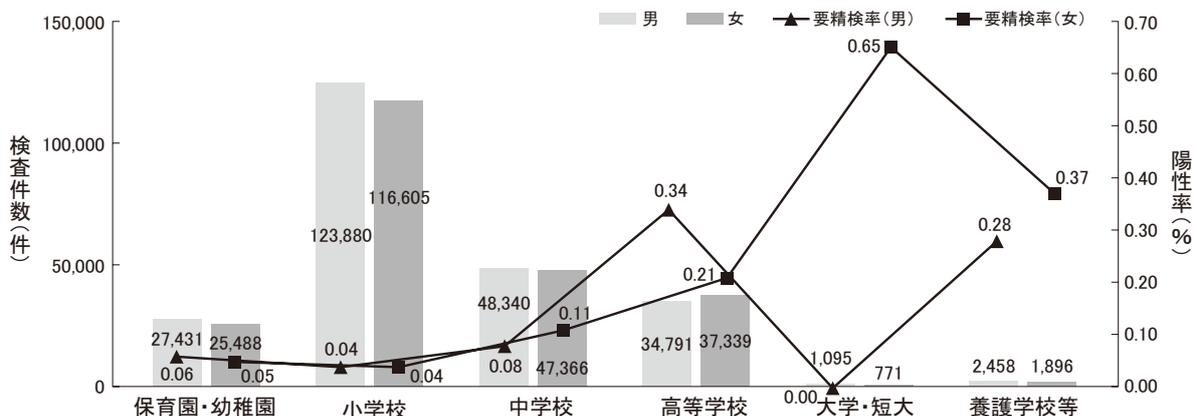
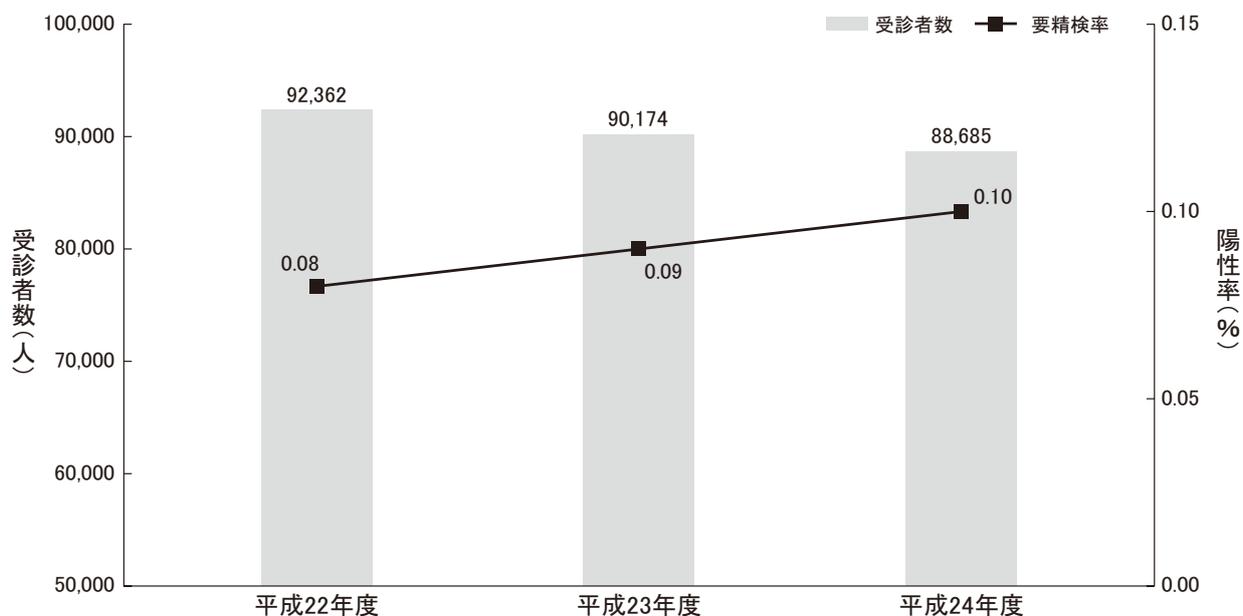


図1 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

(4) 結核検診（胸部X線）

生徒

学年	性別	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
小学校	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-
中学校	男	16	1	6.25	18	0	0	15	0	0
	女	54	0	0	41	1	2.44	35	0	0
	計	70	1	1.43	59	1	1.69	50	0	0
高等学校	男	11,810	5	0.04	11,554	3	0.03	11,692	15	0.13
	女	12,362	7	0.06	11,643	11	0.09	12,084	4	0.03
	計	24,172	12	0.05	23,197	14	0.06	23,776	19	0.08
大学・専門学校	男	33,059	33	0.10	32,795	35	0.11	31,427	37	0.12
	女	34,745	24	0.07	33,848	28	0.08	33,126	35	0.11
	計	67,804	57	0.08	66,643	63	0.09	64,553	72	0.11
養護学校	男	196	0	0	166	0	0	205	0	0
	女	120	0	0	109	0	0	101	0	0
	計	316	0	0	275	0	0	306	0	0
計	男	45,081	39	0.09	44,533	38	0.09	43,339	52	0.12
	女	47,281	31	0.07	45,641	40	0.09	45,346	39	0.09
	計	92,362	70	0.08	90,174	78	0.09	88,685	91	0.10



(5) ぎょう虫卵検査

学校保健法に基づき幼稚園と小学校の低学年（1年生から3年生）に対して実施している。

近年のぎょう虫卵保有率は約0.05%と低いものであったが、平成24年度に関しては0.10%と、高い保有率となっている。

今後も衛生教育等を実施し“ぎょう虫ゼロ”に向けて検査を実施していきたい。

表1 年度別検査件数と陽性率

年 度	受検者数	陽性者数	陽性率(%)
平成22年度	75,763	37	0.05
平成23年度	119,537	42	0.04
平成24年度	91,407	95	0.10

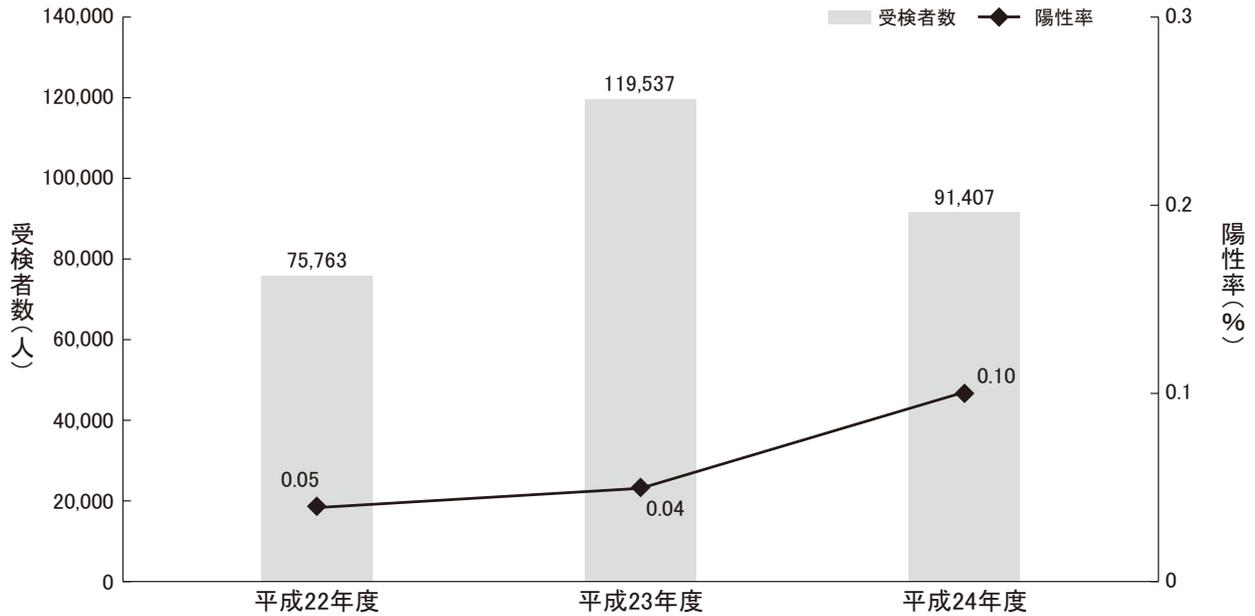


図1 受検者数および陽性率の推移

3. 産業保健

(1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
男	24歳以下	4,792	1,110	23.2	5,186	1,221	23.5	6,069	1,017	16.8
	25～29	7,173	1,386	19.3	7,620	1,605	21.1	7,862	1,407	17.9
	30～34	8,398	2,130	25.4	8,593	2,283	26.6	8,432	2,068	24.5
	35～39	8,239	3,151	38.2	8,200	3,160	38.5	8,140	2,882	35.4
	40～44	7,571	3,622	47.8	8,287	4,049	48.9	8,136	3,642	44.8
	45～49	6,906	3,747	54.3	7,472	4,103	54.9	7,471	3,757	50.3
	50～54	6,211	3,608	58.1	6,774	4,013	59.2	6,721	3,719	55.3
	55～59	6,608	4,188	63.4	6,753	4,285	63.5	6,449	3,858	59.8
	60～64	6,221	4,046	65.0	6,972	4,639	66.5	6,724	4,293	63.8
	65歳以上	3,230	2,189	67.8	3,759	2,631	70.0	3,577	2,411	67.4
計	65,349	29,177	44.6	69,616	31,989	46.0	69,581	29,054	41.8	
女	24歳以下	5,774	1,323	22.9	5,726	1,356	23.7	7,826	1,543	19.7
	25～29	8,122	1,679	20.7	8,311	1,749	21.0	8,278	1,655	20.0
	30～34	6,397	1,591	24.9	6,695	1,658	24.8	6,708	1,532	22.8
	35～39	5,996	2,135	35.6	6,008	2,123	35.3	6,250	1,809	28.9
	40～44	6,411	2,870	44.8	6,923	3,091	44.6	6,708	2,399	35.8
	45～49	6,350	3,321	52.3	6,575	3,342	50.8	6,573	2,606	39.6
	50～54	6,314	3,562	56.4	6,596	3,772	57.2	6,356	2,722	42.8
	55～59	5,864	3,535	60.3	6,123	3,749	61.2	5,745	2,675	46.6
	60～64	3,630	2,172	59.8	4,254	2,558	60.1	3,978	1,966	49.4
	65歳以上	1,343	887	66.0	1,947	1,258	64.6	1,824	1,144	62.7
計	56,201	23,075	41.1	59,158	24,656	41.7	60,246	20,051	33.3	
計	24歳以下	10,566	2,433	23.0	10,912	2,577	23.6	13,895	2,560	18.4
	25～29	15,295	3,065	20.0	15,931	3,354	21.1	16,140	3,062	19.0
	30～34	14,795	3,721	25.2	15,288	3,941	25.8	15,140	3,600	23.8
	35～39	14,235	5,286	37.1	14,208	5,283	37.2	14,390	4,691	32.6
	40～44	13,982	6,492	46.4	15,210	7,140	46.9	14,844	6,041	40.7
	45～49	13,256	7,068	53.3	14,047	7,445	53.0	14,044	6,363	45.3
	50～54	12,525	7,170	57.2	13,370	7,785	58.2	13,077	6,441	49.3
	55～59	12,472	7,723	61.9	12,876	8,034	62.4	12,194	6,533	53.6
	60～64	9,851	6,218	63.1	11,226	7,197	64.1	10,702	6,259	58.5
	65歳以上	4,573	3,076	67.3	5,706	3,889	68.2	5,401	3,555	65.8
計	121,550	52,252	43.0	128,774	56,645	44.0	129,827	49,105	37.8	

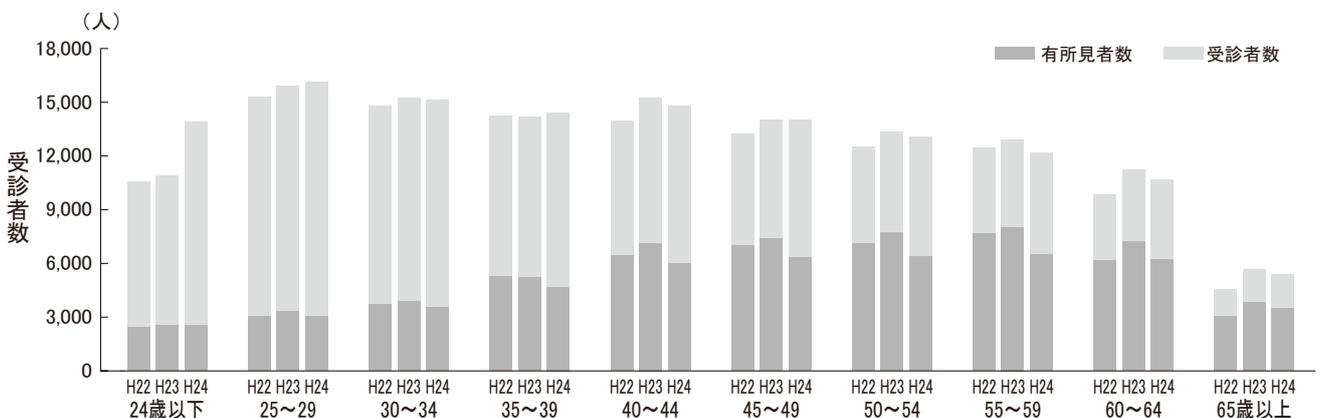


図1 年齢階級別受診者数

(2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）

全国健康保険協会管掌健康保険の被保険者のうち、35 歳以上の方を対象とした健康診断です。 兵庫県下全体では毎年20万人以上の方が受診しています。

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
男	19歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	20～24	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	25～29	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	2,580	1,224	47.4	2,576	1,246	48.4	2,394	1,145	47.8
	40～44	2,193	1,193	54.4	2,478	1,343	54.2	2,659	1,464	55.1
	45～49	1,976	1,176	59.5	1,999	1,207	60.4	2,038	1,259	61.8
	50～54	1,632	1,063	65.1	1,740	1,117	64.2	1,868	1,220	65.3
	55～59	1,599	1,120	70.0	1,601	1,121	70.0	1,650	1,179	71.5
	60～64	2,095	1,543	73.7	2,094	1,519	72.5	2,062	1,604	77.8
	65～69	803	582	72.5	825	639	77.5	930	753	81.0
70歳以上	175	134	76.6	209	171	81.8	245	193	78.8	
計		13,053	8,035	61.6	13,522	8,363	61.8	13,846	8,817	63.7
女	19歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	20～24	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	25～29	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	1,075	449	41.8	1,131	461	40.8	1,103	455	41.3
	40～44	1,124	528	47.0	1,313	640	48.7	1,369	660	48.2
	45～49	1,224	585	47.8	1,289	633	49.1	1,312	692	52.7
	50～54	1,195	657	55.0	1,289	699	54.2	1,360	771	56.7
	55～59	1,043	587	56.3	1,064	612	57.5	1,095	636	58.1
	60～64	897	532	59.3	935	590	63.1	867	556	64.1
	65～69	176	104	59.1	197	134	68.0	250	180	72.0
70歳以上	54	31	57.4	54	38	70.4	53	40	75.5	
計		6,788	3,473	51.2	7,272	3,807	52.4	7,409	3,990	53.9
計	19歳以下	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	20～24	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	25～29	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	30～34	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	35～39	3,655	1,673	45.8	3,707	1,707	46.0	3,497	1,600	45.8
	40～44	3,317	1,721	51.9	3,791	1,983	52.3	4,028	2,124	52.7
	45～49	3,200	1,761	55.0	3,288	1,840	56.0	3,350	1,951	58.2
	50～54	2,827	1,720	60.8	3,029	1,816	60.0	3,228	1,991	61.7
	55～59	2,642	1,707	64.6	2,665	1,733	65.0	2,745	1,815	66.1
	60～64	2,992	2,075	69.4	3,029	2,109	69.6	2,929	2,160	73.7
	65～69	979	686	70.1	1,022	773	75.6	1,180	933	79.1
70歳以上	229	165	72.1	263	209	79.5	298	233	78.2	
計		19,841	11,508	58.0	20,794	12,170	58.5	21,255	12,807	60.3

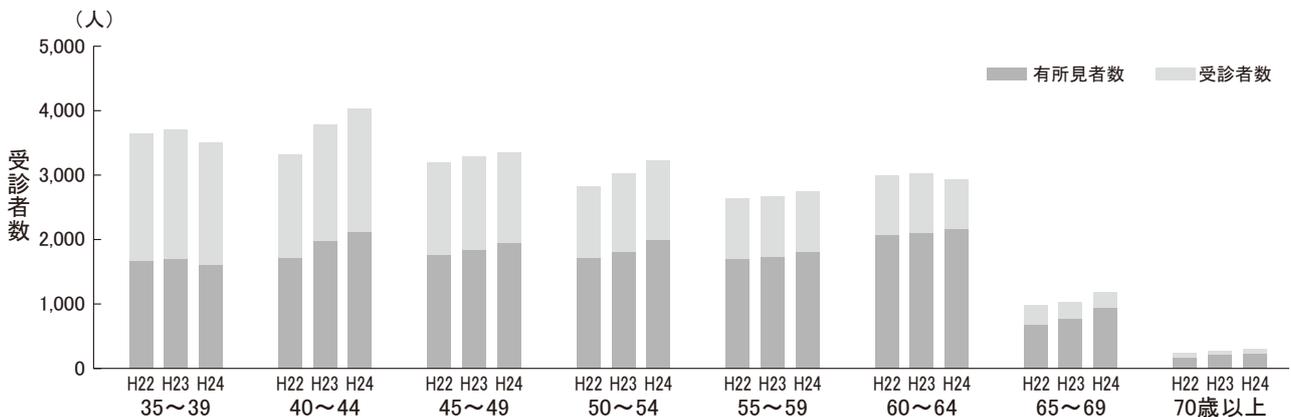


図1 年齢階級別受診者数

4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）

(1) 胃がん検診

事業所単位の胃検診希望者に対し検診車による出張検診（産業保健巡回健診）あるいは協会での施設健診を行った。胃がん検診の有効性は厚労省より証明されてお

り、検診現場での受診勧奨やリーフレット配布等で受診率向上をはかっている。

表1 胃部X線検査（産業保健巡回健診）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	34歳以下	546	12	2.2	514	5	1.0	516	2	0.4
	35～39	1,985	46	2.3	1,873	34	1.8	1,692	25	1.5
	40～44	2,399	58	2.4	2,414	68	2.8	2,366	70	3.0
	45～49	2,440	82	3.4	2,364	77	3.3	2,200	75	3.4
	50～54	2,157	129	6.0	2,239	83	3.7	2,147	84	3.9
	55～59	2,301	175	7.6	2,126	117	5.5	1,936	109	5.6
	60～64	1,901	144	7.6	1,506	114	7.6	1,773	117	6.6
	65～69	493	36	7.3	513	32	6.2	599	35	5.8
	70～74	127	8	6.3	147	9	6.1	177	13	7.3
	75歳以上	34	1	2.9	37	0	0	48	0	0
計	14,383	691	4.8	13,733	539	3.9	13,454	530	3.9	
女	34歳以下	195	3	1.5	162	1	0.6	158	4	2.5
	35～39	623	16	2.6	577	17	2.9	565	5	0.9
	40～44	986	29	2.9	984	33	3.4	922	25	2.7
	45～49	925	32	3.5	906	23	2.5	841	34	4.0
	50～54	924	37	4.0	884	32	3.6	829	34	4.1
	55～59	797	47	5.9	760	24	3.2	646	25	3.9
	60～64	372	23	6.2	375	13	3.5	349	15	4.3
	65～69	58	2	3.4	67	3	4.5	84	6	7.1
	70～74	25	1	4.0	27	1	3.7	22	1	4.5
	75歳以上	65	2	3.1	64	0	0	64	0	0
計	4,970	192	3.9	4,806	147	3.1	4,480	149	3.3	
計	34歳以下	741	15	2.0	676	6	0.9	674	6	0.9
	35～39	2,608	62	2.4	2,450	51	2.1	2,257	30	1.3
	40～44	3,385	87	2.6	3,398	101	3.0	3,288	95	2.9
	45～49	3,365	114	3.4	3,270	100	3.1	3,041	109	3.6
	50～54	3,081	166	5.4	3,123	115	3.7	2,976	118	4.0
	55～59	3,098	222	7.2	2,886	141	4.9	2,582	134	5.2
	60～64	2,273	167	7.3	1,881	127	6.8	2,122	132	6.2
	65～69	551	38	6.9	580	35	6.0	683	41	6.0
	70～74	152	9	5.9	174	10	5.7	199	14	7.0
	75歳以上	99	3	3.0	101	0	0	112	0	0
計	19,353	883	4.6	18,539	686	3.7	17,934	679	3.8	

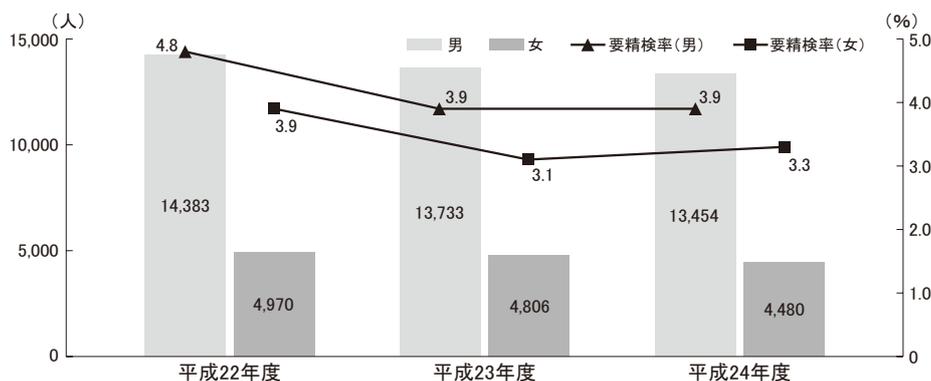


図1 年度別実施状況（産業保健巡回健診）

表2 胃部X線検査（施設健診）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	34歳以下	233	4	1.7	227	3	1.3	201	6	3.0
	35～39	1,556	35	2.2	1,493	40	2.7	1,365	36	2.6
	40～44	1,479	61	4.1	1,581	47	3.0	1,597	49	3.1
	45～49	1,354	53	3.9	1,309	64	4.9	1,305	46	3.5
	50～54	1,081	58	5.4	1,074	61	5.7	1,158	62	5.4
	55～59	968	69	7.1	947	64	6.8	960	57	5.9
	60～64	940	73	7.8	966	96	9.9	902	78	8.6
	65～69	384	36	9.4	385	36	9.4	444	44	9.9
	70～74	146	13	8.9	163	9	5.5	174	13	7.5
75歳以上	22	2	9.1	23	1	4.3	21	2	9.5	
計		8,163	404	4.9	8,168	421	5.2	8,127	393	4.8

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	34歳以下	157	1	0.6	146	2	1.4	144	4	2.8
	35～39	820	23	2.8	772	29	3.8	753	25	3.3
	40～44	901	17	1.9	998	27	2.7	1,007	37	3.7
	45～49	906	22	2.4	866	32	3.7	922	42	4.6
	50～54	668	22	3.3	696	30	4.3	769	45	5.9
	55～59	565	41	7.3	524	39	7.4	528	34	6.4
	60～64	442	27	6.1	452	33	7.3	445	34	7.6
	65～69	133	9	6.8	121	8	6.6	145	6	4.1
	70～74	41	2	4.9	57	6	10.5	56	6	10.7
75歳以上	4	0	0	5	0	0	5	1	20.0	
計		4,637	164	3.5	4,637	206	4.4	4,774	234	4.9

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	34歳以下	390	5	1.3	373	5	1.3	345	10	2.9
	35～39	2,376	58	2.4	2,265	69	3.0	2,118	61	2.9
	40～44	2,380	78	3.3	2,579	74	2.9	2,604	86	3.3
	45～49	2,260	75	3.3	2,175	96	4.4	2,227	88	4.0
	50～54	1,749	80	4.6	1,770	91	5.1	1,927	107	5.6
	55～59	1,533	110	7.2	1,471	103	7.0	1,488	91	6.1
	60～64	1,382	100	7.2	1,418	129	9.1	1,347	112	8.3
	65～69	517	45	8.7	506	44	8.7	589	50	8.5
	70～74	187	15	8.0	220	15	6.8	230	19	8.3
75歳以上	26	2	7.7	28	1	3.6	26	3	11.5	
計		12,800	568	4.4	12,805	627	4.9	12,901	627	4.9

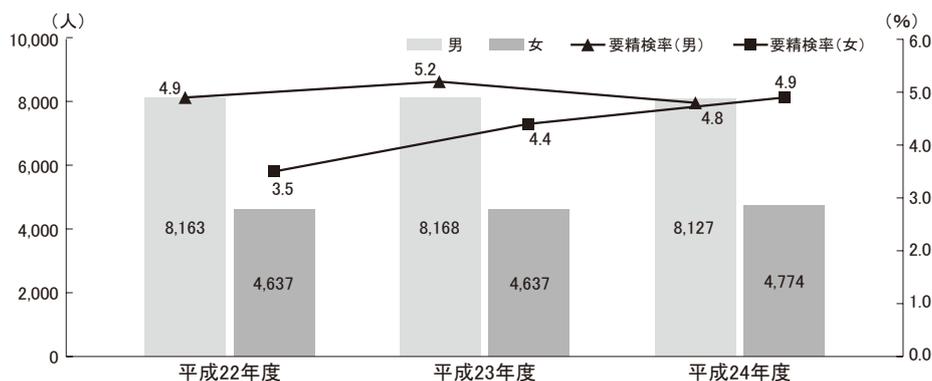


図2 年度別実施状況（施設健診）

(2) 肺がん検診（職域）

肺がんによる死亡数は2009年度、男・女共にトップであり、肺がんはがん対策上、最も重要ながんの一つとなっている。肺がん検診は、老人保健法のがん検診に導入され、主に40歳以上の住民を対象とし胸部X線撮影と喀痰細胞診によって行われている。喀痰細胞診はX線で

は発見しにくい肺門部肺がんの早期発見のため、喫煙指数（1日の本数×喫煙年数）600以上、又は過去6カ月以内に血痰のあった受診者に行う事が勧められている。当協会の職域検診もこれに準じて行われている。

表1 肺がん検診 —胸部X線—（職域）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	352	1	0.3	317	0	0	295	0	0
	40～44	489	2	0.4	453	3	0.7	457	1	0.2
	45～49	479	0	0	434	1	0.2	501	3	0.6
	50～54	356	2	0.6	361	3	0.8	457	2	0.4
	55～59	437	2	0.5	401	3	0.7	443	4	0.9
	60～64	328	3	0.9	325	6	1.8	339	9	2.7
	65～69	11	0	0	19	0	0	23	0	0
	70～74	1	0	0	1	0	0	0	0	—
	75～79	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	80歳以上	0	0	—	0	0	—	0	0	—
計		2,453	10	0.4	2,311	16	0.7	2,515	19	0.8

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	299	0	0	247	0	0	245	0	0
	40～44	419	0	0	401	2	0.5	432	2	0.5
	45～49	408	0	0	377	1	0.3	520	2	0.4
	50～54	471	2	0.4	438	3	0.7	527	3	0.6
	55～59	410	2	0.5	411	3	0.7	492	6	1.2
	60～64	38	0	0	47	0	0	42	0	0
	65～69	0	0	—	2	0	0	4	0	0
	70～74	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	75～79	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	80歳以上	0	0	—	0	0	—	0	0	—
計		2,045	4	0.2	1,923	9	0.5	2,262	13	0.6

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	651	1	0.2	564	0	0	540	0	0
	40～44	908	2	0.2	854	5	0.6	889	3	0.3
	45～49	887	0	0	811	2	0.2	1,021	5	0.5
	50～54	827	4	0.5	799	6	0.8	984	5	0.5
	55～59	847	4	0.5	812	6	0.7	935	10	1.1
	60～64	366	3	0.8	372	6	1.6	381	9	2.4
	65～69	11	0	0	21	0	0	27	0	0
	70～74	1	0	0	1	0	0	0	0	—
	75～79	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	80歳以上	0	0	—	0	0	—	0	0	—
計		4,498	14	0.3	4,234	25	0.6	4,777	32	0.7

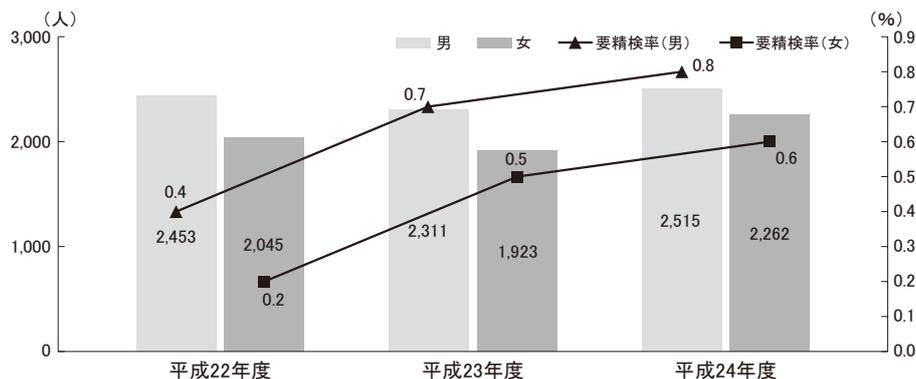


図1 年度別実施状況 —胸部X線—

表2 肺がん検診 一喀痰検査一（職域）

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	33	0	0	11	0	0	41	0	0
	40～44	46	0	0	37	0	0	85	0	0
	45～49	91	0	0	57	0	0	115	0	0
	50～54	94	0	0	88	0	0	159	0	0
	55～59	133	0	0	107	0	0	146	0	0
	60～64	113	0	0	95	0	0	135	1	0.7
	65～69	29	0	0	25	0	0	48	0	0
	70～74	4	0	0	9	0	0	23	0	0
	75～79	3	0	0	4	0	0	25	0	0
	80歳以上	1	0	0	1	0	0	14	0	0
計	547	0	0	434	0	0	791	1	0.1	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	6	0	0	6	0	0	4	0	0
	40～44	12	0	0	8	0	0	14	0	0
	45～49	7	0	0	11	0	0	14	0	0
	50～54	13	0	0	19	0	0	34	0	0
	55～59	17	0	0	10	0	0	10	0	0
	60～64	7	0	0	7	0	0	7	0	0
	65～69	2	0	0	1	0	0	5	0	0
	70～74	0	0	—	0	0	—	2	0	0
	75～79	0	0	—	0	0	—	2	0	0
	80歳以上	0	0	—	0	0	—	0	0	—
計	64	0	0	62	0	0	92	0	0	

性別	年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	39	0	0	17	0	0	45	0	0
	40～44	58	0	0	45	0	0	99	0	0
	45～49	98	0	0	68	0	0	129	0	0
	50～54	107	0	0	107	0	0	193	0	0
	55～59	150	0	0	117	0	0	156	0	0
	60～64	120	0	0	102	0	0	142	1	0.7
	65～69	31	0	0	26	0	0	53	0	0
	70～74	4	0	0	9	0	0	25	0	0
	75～79	3	0	0	4	0	0	27	0	0
	80歳以上	1	0	0	1	0	0	14	0	0
計	611	0	0	496	0	0	883	1	0.1	

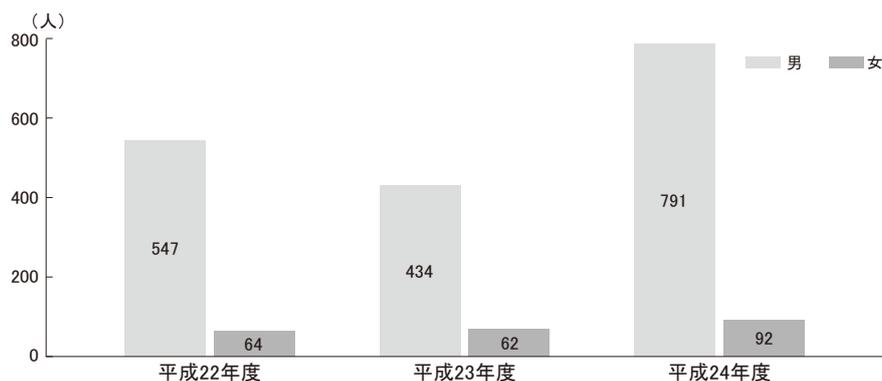


図2 年度別実施状況 一喀痰検査一

(3) 大腸がん検診

表1 大腸がん検診（便潜血検査）〈施設〉

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
29歳以下	38	1	2.6	21	0	0	34	3	8.8
30～34	149	8	5.4	110	3	2.7	85	5	5.9
35～39	815	33	4.0	690	31	4.5	1,243	45	3.6
40～44	1,257	38	3.0	1,254	39	3.1	1,588	64	4.0
45～49	1,328	53	4.0	1,274	51	4.0	1,338	47	3.5
50～54	1,239	41	3.3	1,239	50	4.0	1,211	51	4.2
55～59	1,297	65	5.0	1,220	59	4.8	998	48	4.8
60～64	1,005	55	5.5	857	42	4.9	843	61	7.2
65～69	394	30	7.6	322	15	4.7	467	36	7.7
70～74	216	17	7.9	192	9	4.7	183	9	4.9
75～79	58	6	10.3	60	5	8.3	37	2	5.4
80歳以上	23	3	13.0	23	2	8.7	10	1	10.0
計	7,819	350	4.5	7,262	306	4.2	8,037	372	4.6

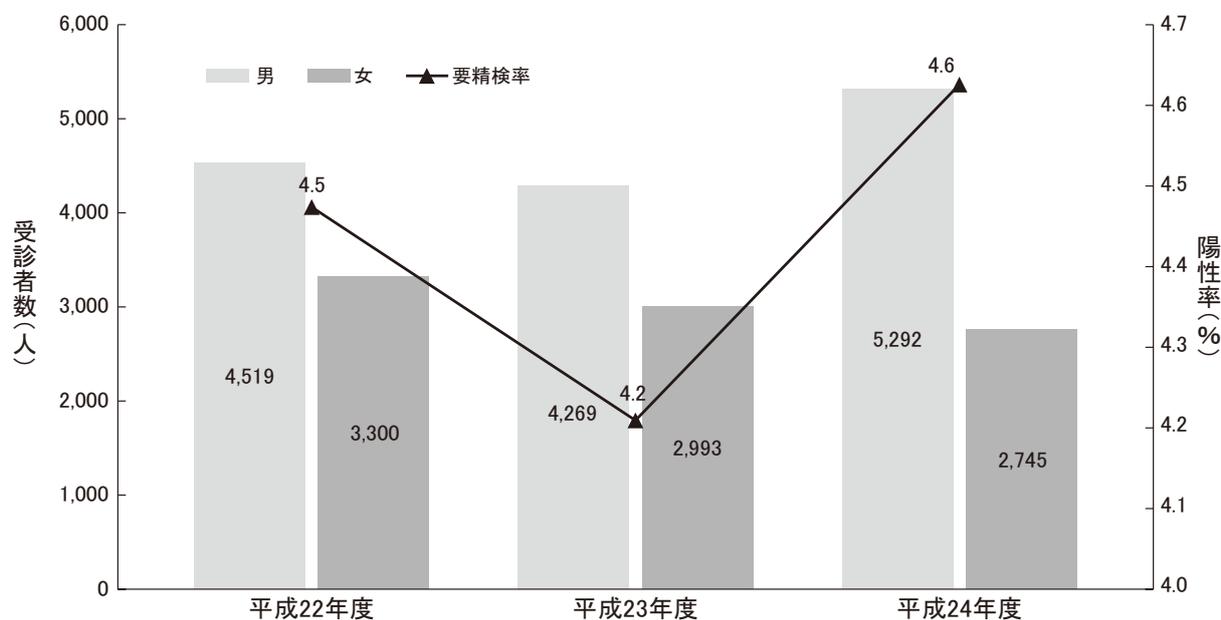


図1 大腸がん検診（便潜血検査）〈施設〉

表2 大腸がん検診（便潜血検査）〈職域〉

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
29歳以下	729	31	4.3	935	52	5.6	871	37	4.2
30～34	1,413	45	3.2	1,596	71	4.4	1,414	60	4.2
35～39	6,814	267	3.9	7,073	264	3.7	5,869	201	3.4
40～44	7,185	294	4.1	8,123	305	3.8	9,159	372	4.1
45～49	6,859	288	4.2	7,202	299	4.2	7,828	316	4.0
50～54	6,481	312	4.8	7,039	313	4.4	7,761	357	4.6
55～59	6,258	312	5.0	6,640	332	5.0	7,085	346	4.9
60～64	5,474	368	6.7	5,930	360	6.1	6,330	363	5.7
65～69	1,696	139	8.2	2,105	153	7.3	2,420	161	6.7
70～74	510	44	8.6	809	79	9.8	923	74	8.0
75～79	91	11	12.1	286	26	9.1	177	14	7.9
80歳以上	73	9	12.3	203	17	8.4	118	9	7.6
計	43,583	2,120	4.9	47,941	2,271	4.7	49,955	2,310	4.6

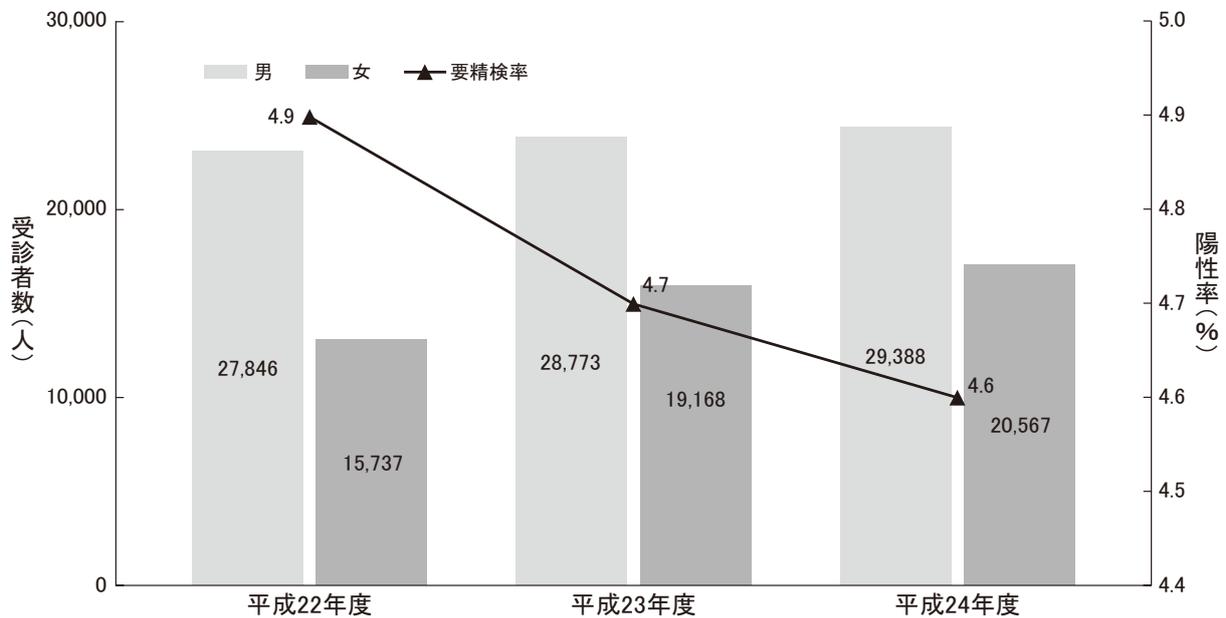


図2 大腸がん検診（便潜血検査）〈職域〉

5. 人間ドック・脳ドック

当協会開設以来の事業である「人間ドック」は、精度管理を徹底し「優良総合健診施設」の認定を受け実施している。資料のように阪神間の認定施設の増加等により実施人数は減少傾向にある。有所見率には大きな変化を認めない。

脳ドックは、現在では指定管理者として当協会が運営している健康ライフプラザで平成10年より実施している。減少傾向にあるドック実施人数と比べ平成24年度の脳

ドック実施人数は増加している。自身の健康の関心の高いドック受診者においては、将来に対する不安等により脳卒中（脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血等）、その他の脳疾患の早期発見のためオプションとして希望する方が多かったのかも知れない。

今後はそのような希望者に満足して受診いただける充実した内容の人間ドックコースを設けていきたい。

表1 人間ドック（男性）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	141	65	46.1	88	38	43.2	73	39	53.4
35～39	595	351	59.0	506	295	58.3	411	228	55.5
40～44	859	541	63.0	853	550	64.5	818	534	65.3
45～49	915	590	64.5	906	605	66.8	797	542	68.0
50～54	817	559	68.4	812	552	68.0	792	543	68.6
55～59	878	616	70.2	853	625	73.3	768	516	67.2
60～64	688	494	71.8	604	440	72.8	555	397	71.5
65～69	271	207	76.4	227	173	76.2	281	213	75.8
70～74	141	99	70.2	127	92	72.4	150	120	80.0
75歳以上	53	43	81.1	58	52	89.7	62	50	80.6
計	5,358	3,565	66.5	5,034	3,422	68.0	4,707	3,182	67.6

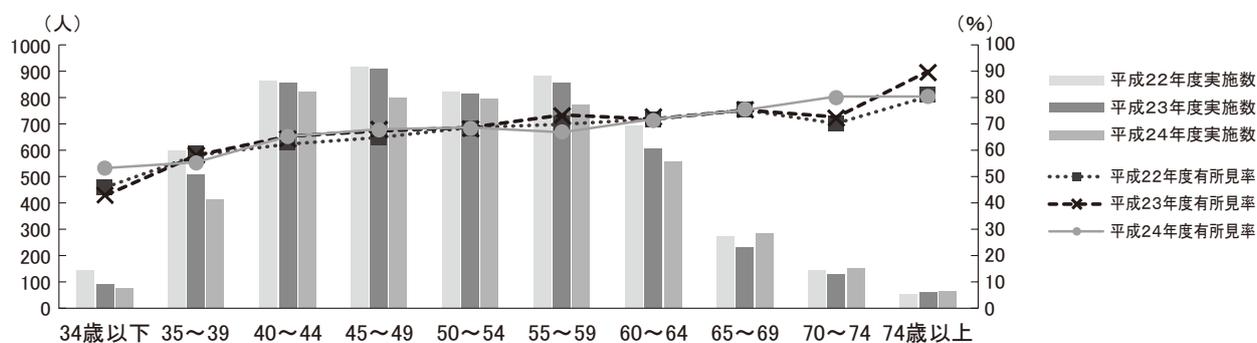


表1 人間ドック（男性）

表2 人間ドック（女性）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	129	57	44.2	87	41	47.1	68	28	41.2
35～39	501	281	56.1	427	236	55.3	318	178	56.0
40～44	616	345	56.0	610	347	56.9	610	325	53.3
45～49	653	429	65.7	599	376	62.8	596	346	58.1
50～54	624	402	64.4	601	373	62.1	666	398	59.8
55～59	603	411	68.2	536	343	64.0	568	356	62.7
60～64	434	284	65.4	363	244	67.2	366	249	68.0
65～69	154	110	71.4	130	92	70.8	179	117	65.4
70～74	90	66	73.3	83	59	71.1	81	53	65.4
75歳以上	36	30	83.3	30	22	73.3	31	26	83.9
計	3,840	2,415	62.9	3,466	2,133	61.5	3,483	2,076	59.6

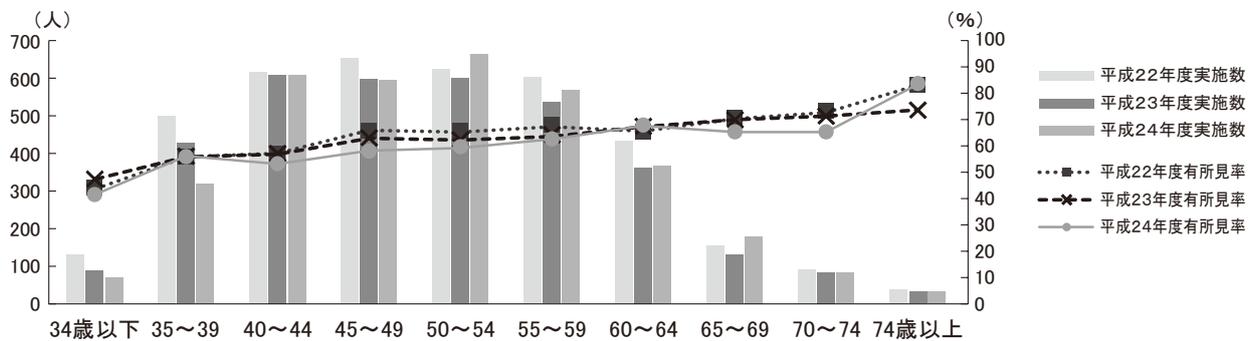


図2 人間ドック（女性）

表3 人間ドック（合計）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	270	122	45.2	175	79	45.1	141	67	47.5
35～39	1,096	632	57.7	933	531	56.9	729	406	55.7
40～44	1,475	886	60.1	1,463	897	61.3	1,428	859	60.2
45～49	1,568	1,019	65.0	1,505	981	65.2	1,393	888	63.7
50～54	1,441	961	66.7	1,413	925	65.5	1,458	941	64.5
55～59	1,481	1,027	69.3	1,389	968	69.7	1,336	872	65.3
60～64	1,122	778	69.3	967	684	70.7	921	646	70.1
65～69	425	317	74.6	357	265	74.2	460	330	71.7
70～74	231	165	71.4	210	151	71.9	231	173	74.9
75歳以上	89	73	82.0	88	74	84.1	93	76	81.7
計	9,198	5,980	65.0	8,500	5,555	65.4	8,190	5,258	64.2

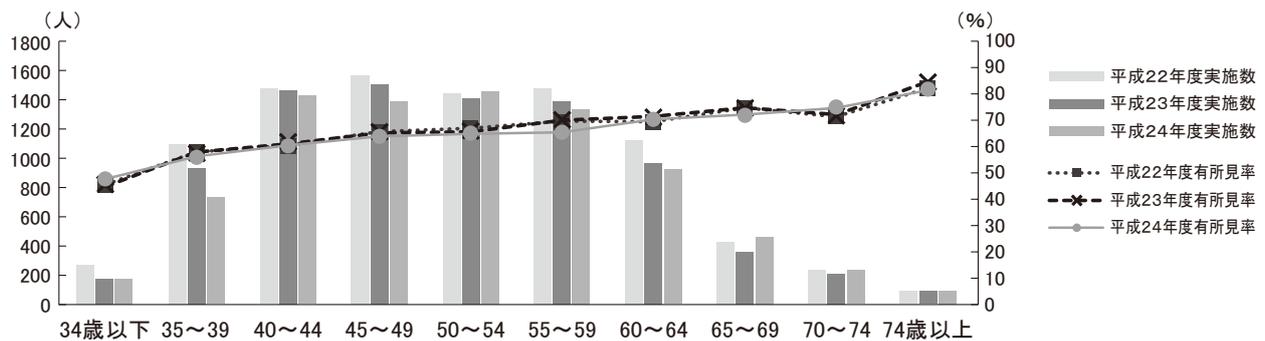


図3 人間ドック（合計）

表4 脳ドック（男性）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	1	0	0	1	0	0	0	0	-
35～39	4	1	25.0	2	0	0	0	0	-
40～44	16	4	25.0	7	2	28.6	3	3	100.0
45～49	10	3	30.0	6	1	16.7	1	-	0
50～54	9	5	55.6	7	3	42.9	31	22	71.0
55～59	30	9	30.0	38	11	28.9	34	22	64.7
60～64	11	3	27.3	10	4	40.0	10	4	40.0
65～69	4	1	25.0	3	2	66.7	5	3	60.0
70～74	1	1	100.0	0	0	-	2	2	100.0
75歳以上	3	1	33.3	0	0	-	2	1	50.0
計	89	28	31.5	74	23	31.1	88	57	64.8

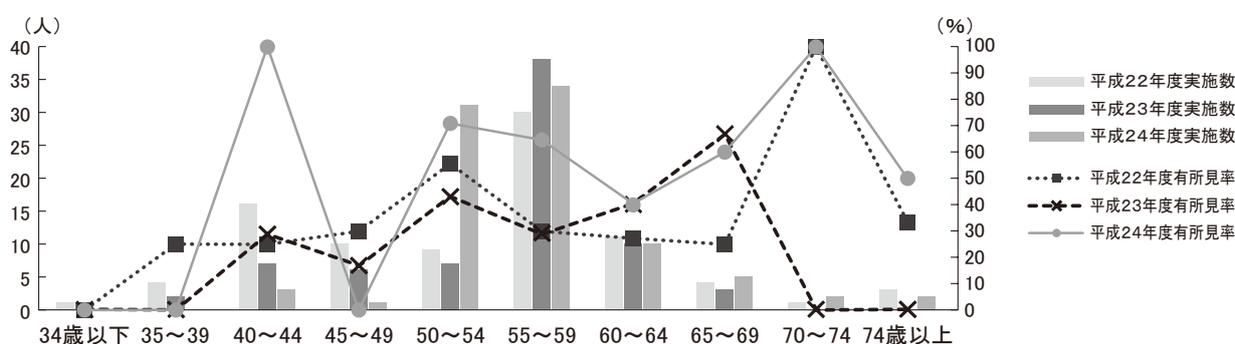


図4 脳ドック（男性）

表5 脳ドック（女性）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	1	0	0	1	0	0	2	1	50.0
35～39	5	1	20.0	3	1	33.3	1	1	100.0
40～44	2	1	50.0	2	0	0	4	2	50.0
45～49	5	2	40.0	1	0	0	5	2	40.0
50～54	10	2	20.0	9	3	33.3	34	14	41.2
55～59	25	6	24.0	14	7	50.0	33	18	54.5
60～64	10	2	20.0	8	2	25.0	14	9	64.3
65～69	2	0	0	4	2	50.0	3	1	33.3
70～74	1	1	100.0	1	1	100.0	1	0	0
75歳以上	2	2	100.0	1	0	0	1	1	100.0
計	63	17	27.0	44	16	36.4	98	49	50.0

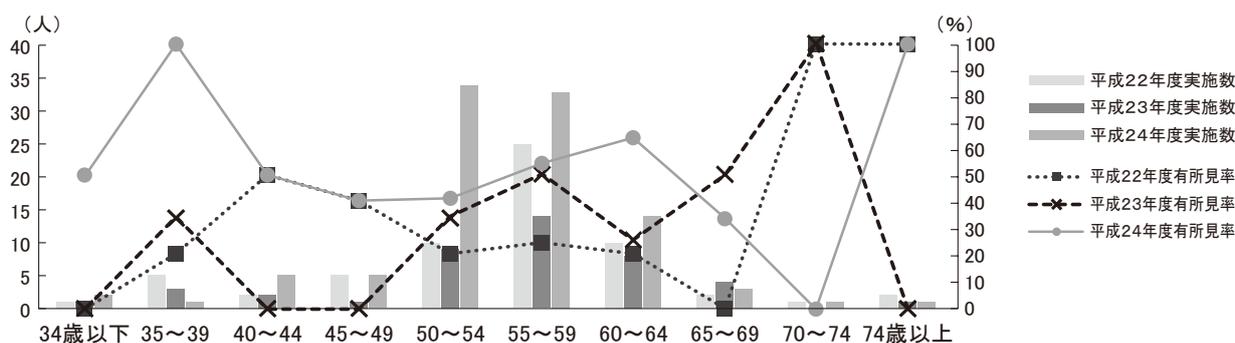


図5 脳ドック（女性）

表6 脳ドック（合計）

年齢階級	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)	実施人数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	2	0	0	2	0	0	2	1	50.0
35～39	9	2	22.2	5	1	20.0	1	1	100.0
40～44	18	5	27.8	9	2	22.2	7	5	71.4
45～49	15	5	33.3	7	1	14.3	6	2	33.3
50～54	19	7	36.8	16	6	37.5	65	36	55.4
55～59	55	15	27.3	52	18	34.6	67	40	59.7
60～64	21	5	23.8	18	6	33.3	24	13	54.2
65～69	6	1	16.7	7	4	57.1	8	4	50.0
70～74	2	2	100.0	1	1	100.0	3	2	66.7
75歳以上	5	3	60.0	1	0	0	3	2	66.7
計	152	45	29.6	118	39	33.1	186	106	57.0

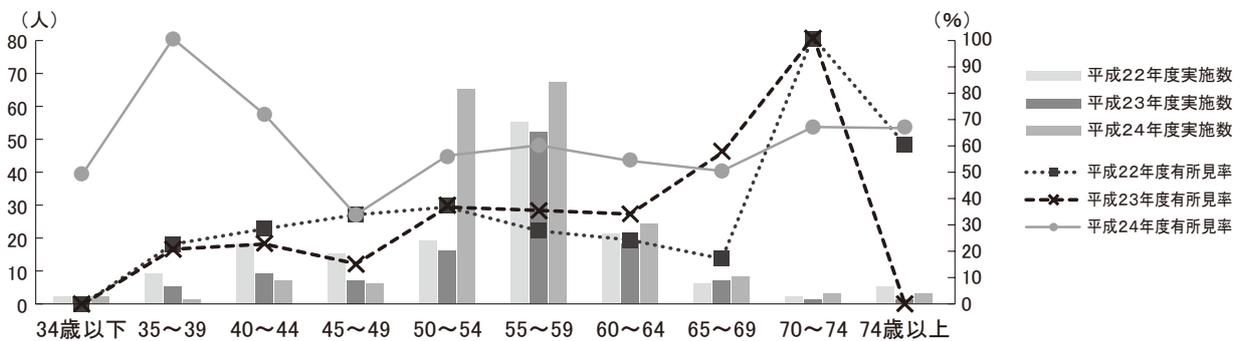


図6 脳ドック（合計）

6. 保健指導

(1) 特定保健指導事業

平成24年度の特定保健指導は実施中のため、平成23年に実施した特定保健指導の状況について示す。

i. 地域保健

平成23年度は神戸市国民健康保険から委託された特定健診受診者を階層化し、国の受診勧奨値に該当する人は

保健指導対象外とした。対象者に案内を送付し、希望者に特定保健指導を実施した。また申し込みのなかった対象者には電話等で参加勧奨を行った。

表1 特定保健指導対象者数

	動機付け支援	積極的支援	計
男	604	186	790
女	266	29	295

表2 特定保健指導実施者数

	動機付け支援	積極的支援
対象者	870	215
初回支援実施者数	223	37
終了者数	214	37
最終評価実施者数	205	29

表3 年齢階級別初回支援実施者数

年齢階級（歳）	動機付け支援	積極的支援
40～44	6	7
45～49	6	6
50～54	6	5
55～59	6	4
60～64	38	15
65～69	65	0
70～74	96	0
計	223	37

注) 積極的支援は65歳未満が対象となる

表4 評価実施者234名の体重の変化

体重の変化	n	(%)
減少	106	(45.3)
(内訳)		
-1.0～-2.9kg	64	(27.4)
-3.0～-4.9kg	31	(13.2)
-5.0～-6.9kg	6	(2.6)
-0.9kg以上	3	(1.3)
-7.0～-8.9kg	2	(0.9)
変化なし	86	(36.8)
増加	42	(17.9)

表5 評価実施者234名の腹囲の変化

腹囲の変化	n	(%)
減少	109	(46.6)
(内訳)		
-1.0～-2.9cm	63	(26.9)
-3.0～-4.9cm	28	(12.0)
-5.0～-6.9cm	11	(4.7)
-0.9cm以上	4	(1.7)
-7.0～-8.9cm	3	(1.3)
変化なし	56	(23.9)
増加	69	(29.5)

ii. 産業保健

平成23年度は出張実施として5つの医療保険者から、施設実施として集合契約を結んだ医療保険者等から委託を受け、特定保健指導を実施した。

表1 特定保健指導実施者数

	動機付け支援	積極的支援
初回支援実施者数	71	67
終了者数	58	47
最終評価実施者数	54	46

表2 年齢階級別初回支援実施者数

年齢階級（歳）	動機付け支援	積極的支援
40～44	12	11
45～49	9	13
50～54	11	11
55～59	11	20
60～64	9	12
65～69	13	0
70～74	6	0
計	71	67

注) 積極的支援は65歳未満が対象となる

表3 評価実施者100名の体重の変化

体重の変化	n	(%)
減少	42	(42.0)
(内訳)		
-1.0～-2.9kg	23	(23.0)
-3.0～-4.9kg	11	(11.0)
-5.0～-6.9kg	6	(6.0)
-0.9kg以上	2	(2.0)
-7.0～-8.9kg	0	(0)
変化なし	31	(31.0)
増加	27	(27.0)

表4 評価実施者100名の腹囲の変化

腹囲の変化	n	(%)
減少	45	(45.0)
(内訳)		
-1.0～-2.9cm	23	(23.0)
-3.0～-4.9cm	10	(10.0)
-5.0～-6.9cm	7	(7.0)
-0.9cm以上	5	(5.0)
-7.0～-8.9cm	0	(0)
変化なし	25	(25.0)
増加	30	(30.0)

(2) 健康相談事業

生活習慣病対策は、健康寿命を延伸するために極めて重要である。勤務形態や生活習慣を見直し、健康的な習慣を作り出していただくことを目的として健康相談を行っている。

i. 地域保健

a. 神戸市民健康診査当日健康相談状況

予約が100人以上の健診会場に保健師が出務し、医師の指示があったもの及び希望者の相談に応じている。(表1) 出務回数は286回あった。

表1 神戸市民健診当日健康相談実施状況

	男	女	計 (%)
健康相談	788	1,392	2,180 (68)
受診勧奨	237	385	622 (19)
メタボ勧奨	149	122	271 (8)
延べ件数	1,210	2,002	3,212
実施人数	867	1,471	2,338

b. がん勧奨事業

健診会場に保健師が出務し、がん検診の受診勧奨を行っている。(表2) 出務回数は112回であった。

表2 がん勧奨事業実施状況

	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	肺がん	計
人数	4,699 (35%)	4,027 (30%)	1,679 (13%)	2,817 (21%)	136 (1%)	13,358

c. 相談業務

健診結果・諸検査・項目の意味・所見・日常生活の改善点に関する質問や疑問については電話と面接で対応している。(表3)

表3 電話・面接健康相談者数

	件数
電話相談	614
個別面接	1
計	615

ii. 産業保健

a. 施設内健康相談

施設内健康相談は、健診（検診）結果の医師による説明日に、二次検査の勧奨や運動・栄養等の生活習慣改善相談を実施している。(表4)

表4 施設内健康相談者数

	日帰りドック 結果説明	一泊ドック 結果説明	当日ドック 健康相談	骨粗鬆症 検診後	労災二次	健診 事後指導	禁煙支援	計
人数	126	209	766	89	119	108 (20)	33	1,450

※ () 内は産業医が実施

b. 出張健康相談

依頼のあった事業所に対して、健康診断の結果に基づき抽出した受診者や希望者に実施している。(表5)

表5 出張健康相談者数

事業所	人数
事務所 1	27
事務所 2	23
計	50

7. 細胞診

当協会は、神戸市の委託を受け、「神戸市子宮頸がん検診」および「神戸市肺がん検診」における“細胞診部門”を実施している。

また、神戸市内医療機関が一般診療として実施する「子宮がん細胞診（一般診療）」を受託している。

(1) 子宮がん細胞診

i. 神戸市子宮頸がん検診

昭和47年、神戸市の委託を受けて、「神戸市子宮がん細胞診センター」が当協会に設置された。昭和58年度老人保健法施行、平成11年度一般財源化されたが、神戸市は一貫した検診システムを継続し、子宮頸がん検診において、細胞診がその主軸をなしてきた。平成17年度、検診対象年齢が30歳以上から20歳以上に、受診間隔が毎年隔年から隔年に改正された。さらに平成21年度から、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳を対象に無料クーポン券による「女性特有のがん検診」が実施された。

【神戸市子宮頸がん検診システム】

日本産婦人科医会の方式に基づき、神戸市指定医療機関（約100施設）で採取された検体は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会へ搬入される。検査成績は、このルートにより、当該医療機関へ報告する。

細胞診成績の報告様式は、平成22年8月より、従来のクラス分類にベセスダシステムによる分類を併記している。判定結果が要精検の場合、医療機関宛に追跡調査を

実施し、統計表を月次集計表と同様に、神戸市へ報告する。また、各医療機関へ神戸市および医療機関毎の集計表を報告する等、連携して検診事業の精度向上に努めている。

平成24年度の「神戸市子宮頸がん検診細胞診成績」を表1と図1に示した。検査数のピークは、40～44歳で、これは「無料クーポン検診」と神戸市が独自に実施している「40歳総合健診」（無料）による受診者が多いためである。次いで多い30歳代は、妊娠を契機としたものと思われる。要精検数は、44歳以下が全体の76.7%を占め、同年齢層の成績は“ASC-US”が61.2%を占めており、HPV検査への対応が必要と思われる。また、不適正検体減少のため関係機関との協力が重要である。

過去3年間の「細胞診実施状況推移」を表2に示した。検査数は、平成22年度が多くなっているが、概ね一定の値で推移している。要精検率の上昇は、ベセスダシステムによる“ASC-US”判定が、従来のクラス分類ⅢaにクラスⅡの一部を含むことに加え、若年層で有所見者が増加傾向にあるためと思われる。

表1 神戸市子宮頸がん検診 細胞診成績（ベセスダシステム）

年齢 階級 (歳)	検査数	不適正 検体率 (%)	NILM	扁平上皮系					腺系			その他	要精 検数	要精 検率 (%)
				ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Ad.ca			
20～24	1,817	13.3	1,519	46	2	7	2	0	0	0	0	0	57	3.14
25～29	3,296	13.1	2,777	55	1	18	10	0	2	0	0	0	86	2.61
30～34	5,017	13.8	4,195	75	5	30	14	0	6	0	1	0	131	2.61
35～39	4,486	13.8	3,772	53	8	18	15	1	2	0	0	0	97	2.16
40～44	7,874	11.1	6,807	117	10	22	28	5	10	0	2	0	194	2.46
45～49	1,877	12.4	1,590	34	4	6	4	1	3	0	1	0	53	2.83
50～54	2,229	15.9	1,838	22	4	1	4	1	4	0	0	0	36	1.62
55～59	1,319	18.5	1,060	8	1	1	2	1	2	0	0	0	15	1.14
60～64	1,996	19.7	1,582	15	0	2	1	0	1	0	1	0	20	1.00
65～69	1,069	18.2	862	4	2	0	1	0	4	0	1	0	12	1.12
70～74	1,241	21.4	961	10	1	0	0	1	2	0	1	0	15	1.21
75～79	403	18.9	316	5	2	0	0	2	2	0	0	0	11	2.73
80以上	312	27.2	217	5	1	0	2	1	0	0	1	0	10	3.21
計	32,936	14.3	27,496	449	41	105	83	13	38	0	8	0	737	2.24

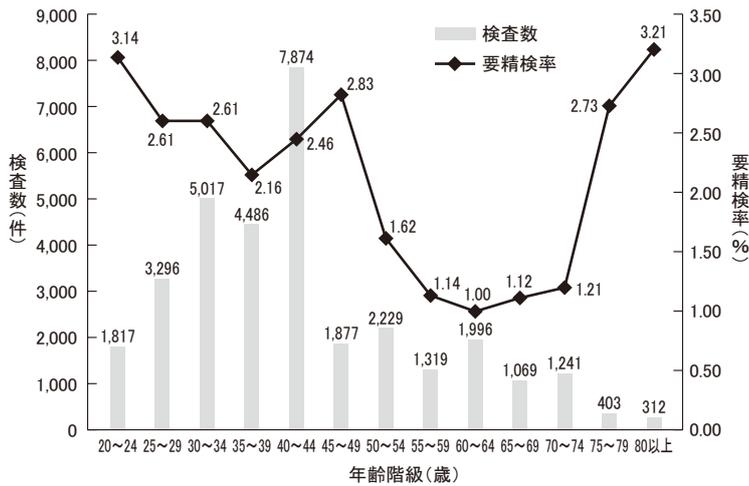


図1 神戸市子宮頸がん検診 細胞診成績

表2 神戸市子宮頸がん検診 細胞診実施状況推移

	検査数	要精検数	要精検率(%)
平成22年度	34,995	443	1.27
平成23年度	32,886	633	1.92
平成24年度	32,936	737	2.24

ii. 子宮がん細胞診（一般診療）

医療機関において一般診療として実施される子宮がん細胞診を受託し、神戸市子宮頸がん検診システムに準じて運用している。標本作製方法は従来法（直接塗抹法）に加え、平成23年度より要望に応じて液状検体処理法（LBC）を採用している。検体採取部位は、従来法では子宮頸部と体部、LBCでは頸部のみである。

表3に平成24年度の「子宮がん細胞診成績・一般診療」を、図2に子宮頸部の従来法とLBCの比較図を表し

た。検査数は、子宮頸部の従来法で30～59歳、LBCで25～49歳、体部では40～59歳で多くなっている。頸部の要精検率はLBCが従来法の1.8倍高く、不適正検体率では、LBC（0.8%）が従来法（23.0%）に比し有意に低率であった。LBCによる検診の有用性を明確に示したと思われる。体部では45歳以上が要精検数の82.6%を占めている。表4に、従来法による実施状況推移を表した。頸部・体部ともに検査数は減少しているが、要精検率は上昇傾向がみられる。

表3 子宮がん細胞診成績・一般診療

標本作製法 採取部位	LBC				従来法（直接塗抹法）							
	子宮頸部				子宮頸部				子宮体部			
年齢階級 (歳)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検数	要精 検率 (%)
19以下	20	5.0	2	10.00	16	18.8	3	18.75	0	—	0	—
20~24	133	0	23	17.29	89	31.5	4	4.49	4	50.0	0	0
25~29	331	0.9	30	9.06	191	23.0	6	3.14	15	13.3	0	0
30~34	416	0.5	24	5.77	270	19.3	19	7.04	27	7.4	1	3.70
35~39	436	0.7	28	6.42	356	16.9	16	4.49	76	5.3	5	6.58
40~44	289	0	30	10.38	330	17.3	13	3.94	145	2.8	2	1.38
45~49	223	0.4	13	5.83	356	20.8	10	2.81	206	3.4	14	6.80
50~54	137	1.5	7	5.11	288	20.1	5	1.74	204	3.9	6	2.94
55~59	86	0	5	5.81	241	30.3	6	2.49	118	5.1	11	9.32
60~64	101	3.0	0	0	162	33.3	1	0.62	61	13.1	2	3.28
65~69	90	1.1	2	2.22	135	34.1	5	3.70	43	7.0	2	4.65
70~74	63	0	0	0	76	32.9	2	2.63	34	11.8	1	2.94
75~79	37	0	4	10.81	64	28.1	4	6.25	19	31.6	1	5.26
80以上	25	8.0	0	0	68	22.1	7	10.29	13	7.7	1	7.69
計	2,387	0.8	168	7.04	2,642	23.0	101	3.82	965	5.9	46	4.77

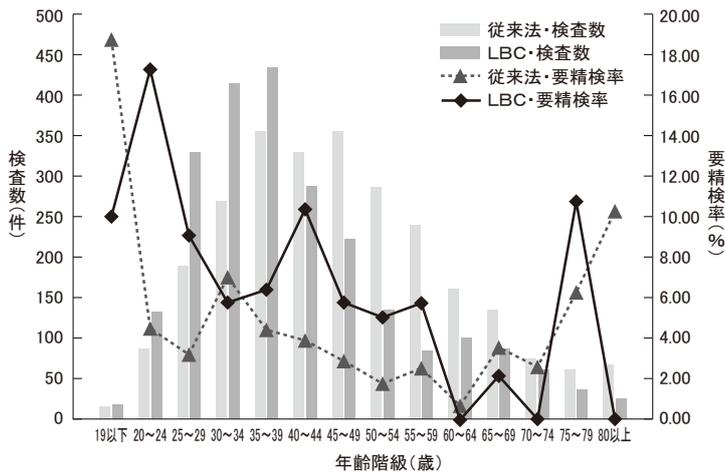


図2 子宮がん細胞診成績・一般診療（頸部）

表4 子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療・従来法）

検査年度	検査数	計	子宮がん	
			子宮頸部	子宮体部
平成22年度	検査数	9,607	8,541	1,066
	要精検数	193	170	23
	要精検率(%)	2.01	1.99	2.16
平成23年度	検査数	4,769	3,617	1,152
	要精検数	142	110	32
	要精検率(%)	2.98	3.04	2.78
平成24年度	検査数	3,607	2,642	965
	要精検数	147	101	46
	要精検率(%)	4.08	3.82	4.77

(2) 喀痰細胞診

ⅰ. 神戸市肺がん検診 喀痰細胞診

昭和62年、老人保健法に基づく肺がん検診が導入され、神戸市より委託を受け、当協会が「喀痰細胞診」を実施している。

神戸市指定医療機関（約450施設）から提出された受診者の喀痰は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会に搬入される。検査結果は神戸市肺がん検診読影委員会へ報告し、胸部X線検査結果と併せて総合判定される。

平成24年度の検査数（表1・図1）は男女ともに45～59歳の受診者が少なく、60～74歳で多くなっている。また、40～44歳で多く特に女性では際立っているが、これは神戸市が「肺癌集団検診の手引き」より対象者を40歳

以上に拡大し、さらに「40歳総合健診」（無料）を実施しているためである。要精検は2例であった。

- [補足] ・要精検数=判定区分D（悪性疑）+ E（悪性）
- ・要精検率%=要精検数/検査数-判定区分A（材料不適）
- ・判定区分B（正常）・C（良性）

年度別の検査状況推移（表2）では、検査数は近年増加傾向にあり、要精検数は少数ながら実績を挙げている。

わが国では、胸部X線検査および高危険群へは喀痰細胞診との併用検査で、死亡数減少効果があるとされている。今後は、検診効率を高めるためにも、喫煙者や高齢者等の高危険群に対する受診勧奨を強化すべきと思われる。

表1 男女別年齢階級別検査状況

年齢階級(歳)	計			男			女		
	検査数	要精検数	要精検率(%)	検査数	要精検数	要精検率%	検査数	要精検数	要精検率%
35~39	9	0	0	6	0	0	3	0	0
40~44	1,659	0	0	456	0	0	1,203	0	0
45~49	359	0	0	152	0	0	207	0	0
50~54	354	0	0	137	0	0	217	0	0
55~59	389	0	0	163	0	0	226	0	0
60~64	942	1	0.14	465	0	0	477	1	0.30
65~69	1,259	0	0	704	0	0	555	0	0
70~74	1,576	0	0	912	0	0	664	0	0
75~79	681	0	0	376	0	0	305	0	0
80~	435	1	0.29	239	1	0.51	196	0	0
計	7,663	2	0.04	3,610	1	0.03	4,053	1	0.04

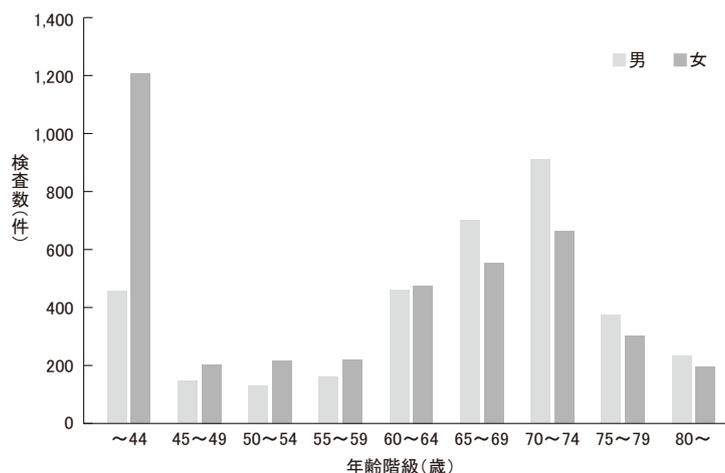


図1 男女別年度別検査数

表2 年齢別検査状況推移

	検査数		計	男	女
	検査数	要精検数			
平成22年度	7,142	1	7,142	3,159	3,983
			0.02	0	0.04
平成23年度	7,326	4	7,326	3,430	3,896
			0.08	0.11	0.04
平成24年度	7,663	2	7,663	3,610	4,053
			0.04	0.03	0.04

8. 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、主として食品取り扱い者（給食従事者を含む）からの依頼に応じて実施している。

平成15年より神戸市の感染症関連業務の一部（赤痢菌・腸チフス菌・パラチフス菌・腸管出血性大腸菌O-157）の4項目を継続受託している。

平成24年度、当協会で行ったサルモネラ保菌検査は118,926件で、陽性率は0.051%であった。一方、腸管出

血性大腸菌保菌検査は112,471件で、1件のみの検出に留まった。

協会では、サルモネラ食中毒防止の疫学的解析の一つとなると考え、保菌者検索で分離した株の血清群を確認している。平成24年度は、O4群が41%、O8群が31%、O7群が25%となり、全体の97%を占めた。

表1 腸内細菌年度別検査件数

年 度	検 査 件 数			
	のべ総数	赤痢菌（サル直接）	サルモネラ	O157
平成22年度	210,188	99,579	5,840	104,769
平成23年度	244,316	118,108	8,373	117,835
平成24年度	231,397	107,342	11,584	112,471

表2 サルモネラの年度別陽性数

年 度	検査件数			陽性件数 (%)		
	赤痢菌（赤痢菌・サルモネラ直接法）	サルモネラ（増菌）	合 計	赤痢菌（赤痢菌・サルモネラ直接法）	サルモネラ（増菌）	合 計
平成22年度	99,579	5,840	105,419	2	14	16 (0.015)
平成23年度	118,108	8,373	126,481	8	21	29 (0.023)
平成24年度	107,342	11,584	118,926	17	44	44 (0.051)

※サルモネラ増菌は、サルモネラを指定して検査依頼のあった分につき行う。

表3 年度別神戸市保健所受託検査件数

平成22年度	赤痢菌	38	陽性者なし		
	腸チフス菌	2	陽性者なし		
	パラチフス菌	0	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	218	VT I・II (4名)	VT Iのみ (6名)	VT IIのみ (3名)
平成23年度	赤痢菌	3	陽性者なし		
	腸チフス菌	3	陽性者なし		
	パラチフス菌	0	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	215	VT I・II (5名) VT IIのみ (4名)		
平成24年度	赤痢菌	9	陽性者なし		
	腸チフス菌	7	陽性者なし		
	パラチフス菌	0	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	57	VT Iのみ (1名)		

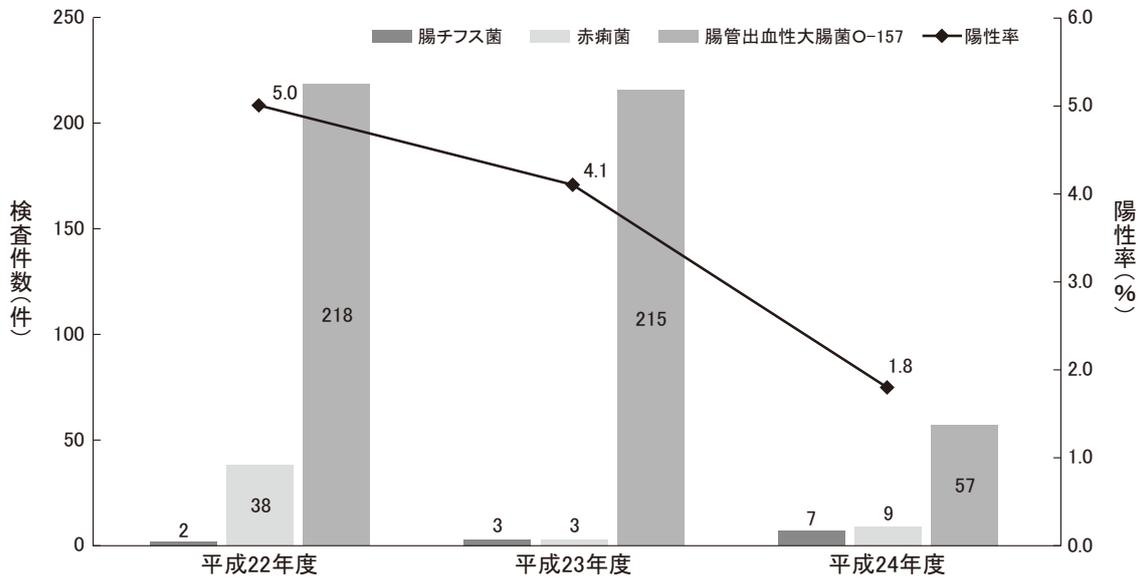


図1 神戸市感染症受託検査件数とその陽性率

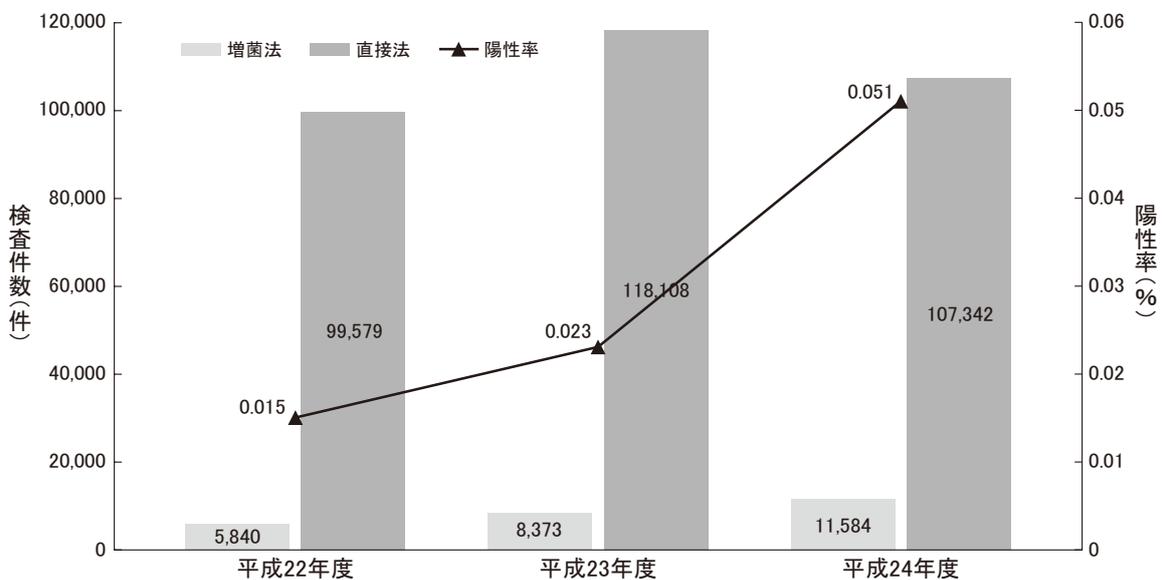


図2 サルモネラ検査件数と陽性率

9. 環境測定

1. 作業環境測定

当協会は、労働安全衛生法に基づく作業環境測定を行う機関として、有害物取扱事業所の環境管理の一翼を担い、特殊健康診断と連携して働く人のより快適な職場環境づくりに協力している。

また、測定精度の維持、向上のため、(社)日本作業環境測定協会の「総合精度管理事業」、各種講習会などに継続して参加し、「粉じん計の較正」の実施と併せ、適正な測定業務の遂行に努めている。

平成24年度の測定件数は表1に示すとおり、測定受託事業所数42、年2回の実施を含めた延べ事業場数は76と前年と同程度であった。金属類については分析のみの受託があった。

測定結果の報告に加えて作業環境改善の具体策につい

ても助言を実施した。測定・評価の結果、管理区分が2あるいは3に該当し改善を要すると判断された作業場の割合は、騒音、特定化学物質の順で高く、改善が進んでいない状況が続いており施設設備改善の難しさも一因であると推察される。

2. 事務所衛生基準規則等の空気環境測定

当協会は作業環境測定機関の他に、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく空気環境測定業の登録を行い、特定建築物に該当する施設、その他事業所の事務所等における空気環境の測定を行い健康管理の支援を行っている。

表2に今年度の実施数を示す。本年度は、喫煙場所及び熱中関連の測定を実施した。

表1 作業環境測定件数（指定作業場）

測定項目	事業所数 (延べ数)	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		44 (80)		43 (78)		42 (76)	
		単位作業場	測定点	単位作業場	測定点	単位作業場	測定点
粉 じ ん	重量法	26	26	33	33	19	19
	相対濃度法	26	233	33	284	19	200
	個人暴露	-	-	-	-	6	11
特定化学物質（金属類を除く）		53	343	58	441	56	359
金 属 類		7	76	8	79	7	71
分 析 の み		-	-	-	-	5	117
有 機 溶 剤		44	323	59	435	48	349
騒 音 測 定		24	253	25	260	17	178
局 所 排 気 装 置		15	143	12	111	6	96
計		195	1,397	228	1,643	183	1,400

表2 空気環境測定等件数（測定点数）

測定項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事務所衛生基準	937	924	915
喫煙対策	-	-	4
熱中症対策	0	0	7
計	937	924	926

10. 食品検査

1. はじめに

当協会は、厚生労働省から食品衛生法の登録を受け、主として地域の食品関連事業者における自主衛生管理をサポートする種々の検査を実施している。

細菌検査を中心とする様々な検査・講習を実施しており、食品工場や飲食店の施設設備及び調理器具等の微生物汚染の検査を通して施設衛生状況を調査し、衛生レベルの向上と食中毒事故の防止を目的とした助言や衛生講習会を行っている。行政関連としては、神戸市内の公・私立保育所（園）の給食室を対象とした衛生調査を実施している。輸出・輸入の両面で重要となる食品流通過程での衛生的な処理は、適切な衛生指導と監督、検査技術の向上が必要となるが、当協会はJICA事業への参画として①食品微生物検査技術コースと②食品の安全性確保コースの年2コースを担当している。食の安全・安心に対する関心が高まっている中、公益性の高い業務の実施に努めている。

理化学検査では、食品の成分表示や品質管理に伴う検査の需要が増加しつつあり、栄養成分・期限表示やクレーム品、異臭味等の検査にも対応している。

2. 業務内容

食品の微生物及び理化学的成分について、次の検査と検査結果に基づく衛生指導助言を行っている。

- (1) 食品衛生法に基づく成分規格検査
- (2) 食品の品質及び安全性に関する検査
- (3) 食品添加物に関する検査
- (4) 食品中の残留農薬等の汚染物質の検査
- (5) 食品の苦情等に基づく異物の同定検査
- (6) 食品の品質保持期限等の設定のための保存検査
- (7) 栄養改善法に基づく栄養成分検査
- (8) 調理器具類、従事者手指等のふき取り検査、検査結果に基づく衛生指導（文書、現場指導）

3. 結果

平成24年度の検査実績は、検体数で6,232件、延べ検査項目数で11,541件であり（表1）、内訳は細菌検査が9,001件（表2）、理化学検査が2,540件（表3）であった。細菌検査では、大腸菌群と一般生菌が全体の半数以上を占めており、衛生指標菌として一般的な衛生管理の検証に幅広く用いられていると推測される。衛生指導は、現場での助言、文書助言、衛生講習会を実施し、改善指導を支援した。

表1 食品検査検体数および検査項目数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
検 体 数	5,776	5,937	6,232
延べ検査項目数	11,661	11,092	11,541

（検体数、延べ検査項目数には、ふき取り検査件数が含まれる。）

表2 細菌検査件数

検査項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大 腸 菌 群	2,874	2,789	2,430
一 般 生 菌 数	2,123	2,174	3,068
腸 炎 ビ ブ リ オ	427	375	225
黄 色 プ ド ウ 球 菌	1,188	1,200	1,316
サ ル モ ネ ラ	572	569	385
腸管出血性大腸菌	798	727	421
大 腸 菌 (<i>E.coli</i>)	117	164	172
カンピロバクター	22	97	126
セ レ ウ ス 菌	41	32	332
真 菌 検 査	503	429	444
そ の 他	38	73	82
計	8,703	8,629	9,001

表3 理化学検査件数

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
栄養成分	水分	353	270	297
	たんぱく質	21	9	11
	脂質	19	41	18
	炭水化物	424	334	326
	エネルギー	19	7	9
	無機質	41	40	23
	ビタミン	1	24	6
乳・乳製品	乳脂肪分	1	1	1
	無脂乳固形	7	7	7
添加物	67	30	26	
汚染物質	無機化合物	177	174	185
	有機化合物	1	0	0
	残留農薬	61	75	72
	動物用医薬品	0	0	0
保存・変質	水分活性	342	271	295
	pH値	407	310	318
	VBN・アミン類	4	13	3
	油脂酸化	799	610	641
その他	異物	59	52	92
	器具・容器包装	78	132	158
	おもちゃ	0	0	0
	その他	77	63	52
計	2,958	2,463	2,540	
検体数	704	551	599	

11. 水質検査

1. 水道事業体水質検査

当協会は厚生労働省の登録を受け兵庫県全域を業務区域として水道事業体からの水質検査を受託している。これらは毎年度水事業体が策定する水道水質管理計画に基づき実施され、給水栓における水質基準50項目や3ヵ月ごと或いは毎月の実施が規定される省略不可項目、湖沼や井戸などの水道原水項目、基準項目以外の目標管理設定項目等であり、平成24年度は合計で695件を実施した(表1、表2)。

水道事業体において策定される水道水質管理計画は、質の高い、安全な水の安定供給のために水源の監視や浄水処理工程の管理に欠かせず、登録検査機関としても外部及び内部精度管理を実施し、日常検査業務の精度維

持・向上に努めている。また、水道事業体対象の水質検査である性質上、事業体と連携した24時間の緊急検査への対応も図っている。

2. 一般水質検査

一般水質検査は、飲用水検査として水質基準に照らされる建築物衛生管理や貯水槽水道、飲用井戸管理の検査のほか、遊泳プール、公衆浴場、空調機冷却水などの衛生管理上の検査や工場排水等の計量証明検査などを含む。平成24年度の実施件数は3,045件であった(表3)。

飲用水検査、プール衛生管理検査において水質基準或いは管理基準を超過する割合(不適率)は毎年ほぼ同程度で推移し改善が進んでいない。

表1 水質検査実施件数推移（水道事業体等）

給水区分	検査項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
上水道	全項目	50	36	34
	省略不可	92	24	86
	その他	195	197	173
簡易水道	全項目	74	12	5
	省略不可	404	186	196
	その他	23	8	13
専用水道	全項目	28	27	12
	省略不可	177	61	54
	その他	43	47	43
特設水道	全項目	17	16	14
	省略不可	44	45	41
	その他	25	28	24
その他	全項目	0	0	0
	省略不可	17	5	0
	その他	0	0	0
合計	全項目	169	91	65
	省略不可	734	321	377
	その他	286	280	253
総計		1,189	692	695

表2 水道事業体等の全項目検査及び省略不可項目並びに水質管理目標設定項目実施件数推移

検査項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
原水全項目	48	34	25
浄水全項目	121	57	65
省略不可（毎月）	727	313	275
省略不可（3カ月）*	155	114	125
省略不可（発生月）*	192	16	5
水質管理目標設定項目	99	141	49

※省略不可（毎月）との重複試料を含む。

表3 水質検査実施件数推移（一般）

検査項目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	件数	不適	(%)	件数	不適	(%)	件数	不適	(%)
井戸水等精密検査	80	43	(53.8)	36	7	(19.4)	34	6	(23.5)
建築物環境衛生関係検査	95	2	(2.1)	42	2	(4.8)	80	0	(0)
貯水槽水道等定期10項目	695	19	(2.7)	405	22	(5.4)	375	25	(6.7)
プール水（学校・一般）	175	5	(2.9)	170	7	(4.1)	177	7	(4.0)
レジオネラ検査	940	-		750	-		587	-	
排水等計量証明検査	418	-		442	-		508	-	
その他	1,144	-		1,334	-		1,284	-	
計	3,547	-		3,179	-		3,045	-	

12. 水道施設検査

1. 概 要

当協会は、厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関として受水槽水道施設（簡易専用水道及び小規模受水槽水道）の検査を実施し、安全で衛生的な水の確保に対しての貢献を図っている。

簡易専用水道とは、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水を水源とし、給水方式が受水槽方式であり、この受水槽の有効容量が10立方メートルを超えるものをいう。設置者は供給される水の安全及び衛生を確保するために、厚生労働省令で定める基準に従いその水道を管理し、さらに当該水道により供給される水の衛生確保をより確かなものとするために、設置者自らが管理の適否について専門的な知識を有する者の検査を受けることと定められている。

一方、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設においては法規制対象外であったため、管理の不徹底に起因した衛生上の問題が発生する可能性が指摘されてきた。その後、各自治体では受水槽水道衛生管理指導要綱等を整備し、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設に対しても、簡易専用水道と同等の管理を行うよう規定し、受水槽の有効容量の区別を設けることなく安全で衛生的な飲料水の確保を図っている。

2. 検査内容及び実施結果

検査内容は、大きくは次の3つに分けられる。

- 施設の外観検査
- 給水栓における水質検査
- 書類検査

施設の外観検査を主とするが、検査事項としては最大74あり、それぞれの事項について判定3段階の判定をおこなう。

簡易専用水道は全国的にも高い実施率を維持し平成24年度は、県内の広い範囲で3,945施設の検査を実施した。（表1、表2）。全体で「良好」の判定が3,098施設、「やや良(概ね良好)」が845施設、「要改善（速やかに改善を要する）」が、2施設あった。年々向上していた良好施設割合が、一昨年度から新規受託施設が多かった地域で69.23%と低く、全体として数年前のレベルに低下した。

小規模受水槽水道では、法的な検査義務がないこともあり、991施設の検査を実施した。（表2、表3）

検査後、改善が必要な施設については実務担当者等に具体的な改善方法等を例示、提案し、補修及び改善の参考となるよう助言を行っている。また、所轄監督行政機関との連携を深めることにより、受検を促し、衛生的な水の確保への貢献に努めている。

表1 受検施設数の推移（簡易専用水道）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受 検 施 設 数	4,038	4,218	3,945
良 好 施 設 数	3,249	3,275	3,098
良好施設割合 (%)	80.5	77.6	78.5

良好施設割合 (%) = (良好施設数 / 受検施設数)

表2 地域別受検施設数及び検査結果

検査対象地域	検査施設数	検査結果（総合判定）						小規模施設数
		良好		やや良(概ね良好)		要改善		
		件数	割合%	件数	割合%	件数	割合%	
神戸市	1,672	1,380	82.54	292	17.46	0	0	790
宝塚市	321	250	77.88	71	22.12	0	0	44
芦屋市	303	239	78.88	64	21.12	0	0	29
明石市	466	348	74.68	118	25.32	0	0	24
三田市	180	136	75.56	43	23.89	1	0.55	12
川西市	207	161	77.78	46	22.22	0	0	14
川辺郡猪名川町	36	33	91.67	3	8.33	0	0	7
篠山市	41	30	73.17	11	26.83	0	0	7
丹波市	46	44	95.65	2	4.35	0	0	3
洲本市	45	36	80.00	8	17.78	1	2.22	3
淡路市	56	40	71.43	16	28.57	0	0	1
南あわじ市	45	32	71.11	13	28.89	0	0	0
西宮市	416	288	69.23	128	30.77	0	0	29
伊丹市	23	15	65.22	8	34.78	0	0	7
尼崎市	41	27	65.85	14	34.15	0	0	10
姫路市	22	20	90.91	2	9.09	0	0	5
西脇市	1	1	100.00	0	0	0	0	0
三木市	2	2	100.00	0	0	0	0	1
加古川市	10	7	70.00	3	30.00	0	0	3
加西市	1	1	100.00	0	0	0	0	0
加古郡稲美町	1	1	100.00	0	0	0	0	0
加古郡播磨町	1	1	100.00	0	0	0	0	0
高砂市	4	2	50.00	2	50.00	0	0	0
朝来市	1	1	100.00	0	0	0	0	0
赤穂郡上郡町	1	0	0	1	100.00	0	0	0
小野市	1	1	100.00	0	0	0	0	1
たつの市	1	1	100.00	0	0	0	0	0
赤穂市	1	1	100.00	0	0	0	0	1
計	3,945	3,098	78.53	845	21.42	2	0.05	991

表3 受検施設数の推移（小規模受水槽水道）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受検施設数	1,034	1,016	991

Ⅲ 予防医学に関する 調査研究事業

調査・研究

1. 論文発表（総説論文、原著論文等）

- (1) 伊藤光男：オフフレーバー原因物質の分析と同定事例について. 月刊フードケミカル 326：55-95, 2012
- (2) 高橋かおる, 坂根直樹：健康診断検査値の季節変動についての検討. 予防医学ジャーナル 465：72-76, 2012
- (3) 高橋かおる, 小谷和彦, 坂根直樹：一施設における日常検体検査項目の不確かに関する検討. 日本比較臨床医学会誌 19(2)：59-63, 2011
- (4) Yasuko Yamaura, Kikuko Obase, Nozomi Watanabe, Kenzo Fukuhara, Terumasa Koyama, Akihiro Hayashida, Hiroyuki Okura, Kazuo Tanemoto, Kiyoshi Yoshida：A rare case of impending Paradoxical embolism with a complex patent foramen ovale, journal of Echocardiography10：138-140, 2012

2. 学会報告等

- (1) 山浦泰子, 渡邊 望, 尾長谷喜久子, 林田晃寛, 大倉宏之, 吉田 清：Aortic regurgitation in apparently healthy subjects:echocardiographic assessment of aortic valve, annulus and valsalva sinus. 第23回日本心エコー図学会学術集会, 大阪, 2012.4.19-21
- (2) 山浦泰子, 渡邊 望, 尾長谷喜久子, 林田晃寛, 大倉宏之, 吉田 清：健康診断における心エコー図法の役割, 第23回日本心エコー図学会学術集会, 大阪, 2012.4.19-21
- (3) 山浦泰子：健常者における大動脈弁逆流-心エコー図法による大動脈弁・大動脈根の評価-, 実地医家のための心エコー図研究会, 岡山, 2012.7.12
- (4) 島屋真希, 松村洋右：市民健診会場での保健師による積極的乳がん検診勧奨の有効性, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口市, 2012.10.25
- (5) 橋本さおり, 伊加加奈子, 倉橋由里子, 木田吉人, 神野 勉, 天野弘三, 石井昌生, 西尾利一, 池窪勝治：健診における潜在性甲状腺機能低下症に関する研究, 第47回予防医学技術研究会議, 福島市, 2013.2.14
- (6) 山田真由美, 小川亜矢, 中山亜矢子, 中野悦子, 隅谷京子, 武田弘子：採血における腰部負担の実態調査, 第47回予防医学技術研究会議, 福島市, 2013.2.14
- (7) 亀井真由美, 猪又麻子, 大和田絵美, 上田いずみ, 辻村祥子, 平田奈穂美, 谷川亜有美, 中安郁子, 清水利江子, 南部征喜：心身両面の健康評価にもとづく事後指導-メンタルヘルスにおける一次予防実現に向けて-, 第47回予防医学技術研究会議, 福島市, 2013.2.14
- (8) 朴 貴志, 高橋かおる, 古川浩三, 小田恭裕, 下村耕司, 石田仁士, 英保武信, 谷内博之, 美土路英明, 頓花治郎, 安田敏成, 石田輝子：X線学的胃粘膜萎縮度について-胃がん健診のハイリスクストラテジの一考-, 第47回予防医学技術研究会議, 福島市, 2013.2.14
- (9) 平田奈穂美, 亀井真由美, 大和田絵美, 上田いずみ, 辻村祥子, 猪又麻子, 長澤明子, 南部征喜：行動変容をめざした特定保健指導-性格タイプテストを取り入れた試み(中間報告)-, 第47回予防医学技術研究会議, 福島市, 2013.2.15
- (10) 上田いずみ, 辻村祥子, 大和田絵美, 亀井真由美, 高橋かおる, 長澤明子, 猪又麻子, 平田奈穂美, 南部征喜：検査値を使った保健指導の課題-尿酸値からの一考察-, 日本総合健診医学会第41回大会, 仙台市, 2013.1.25
- (11) 上田いずみ, 亀井真由美：特定保健指導における指導者の主観と対象者の行動ステージおよび体重変化について, 兵庫県看護協会 看護実践研究会, 神戸市, 2013.2.16
- (12) 富田安彦, 島屋真希, 山浦泰子, 武田弘子, 高橋かおる, 和田福子, 田中一郎, 安田敏成, 中谷利夫, 松村陽右, 南部征喜, 田中麻希子, 山川 勝, 春田恒和：川崎病の急性期症状と血清免疫グロブリンA、Mの特異的な動きについて-臨床からの病態へのアプローチ-, 第37回近畿川崎病研究会, 大阪市, 2013.3.2

IV 健康支援のための健康増進 事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業

健康づくり事業は、自分の生活習慣を振り返る機会を、講義や実践などを通して提供している。参加者が事業をきっかけに望ましい生活習慣を身につけ、健康増進・維

持を図っていくためにサポートできるよう年齢や性別などを考慮し、ニーズにあわせた様々な企画をおこなっている。

(1) 健康学習

i. 土曜健康科学セミナー

平成24年度は前期12回（参加者942名）、後期12回（1,016名）開催した。

今年度も、各分野でご活躍中の講師にお話いただいた。

①体のなりたちとはたらきでは、基礎的な解説を通して生命の不思議さ、大切さの話がなされた。②病気とその対策では、「脱水と熱中症」や「アルツハイマー病と認知症」など ③生きがい・教養セミナーでは、「平清盛

と大和田の泊」などの話題について詳しく解説していただいた。

このセミナーを通して、市民の方々に「自らの健康は自分で守る」「生命の不思議さ」そして「生きることは何か」を考えてもらうよう心がけている。

今後も幅広いテーマを取り上げ、内容を深く発展させ、市民の健康に寄与していきたい。

テーマ分類：①からだのなりたちとはたらきセミナー ②病気とその対策セミナー ③生きがい・教養セミナー

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
平成24年 4月14日	①消化器と健康（1）	神戸大学名誉教授 岡田安弘	77名
平成24年 4月28日	②子宮の病気	神戸大学大学院医学研究科特命教授 山崎峰夫	37名
平成24年 5月12日	②気になるおしっこの話	神戸大学大学院医学研究科特命教授 荒川創一	91名
平成24年 5月26日	②消化器と健康（2）	神戸大学大学院医学研究科特定助教 石田 司	74名
平成24年 6月9日	②心筋梗塞と脳卒中	神戸学院大学栄養学部教授 藤岡由夫	101名
平成24年 6月23日	②耳の健康	神戸大学大学院医学研究科教授 丹生健一	123名
平成24年 7月14日	②脱水と熱中症	財団法人兵庫県予防医学協会副会長 健康ライフプラザ所長 南部征喜	85名
平成24年 7月28日	②腎臓のはたらきと病気	神戸大学大学院医学研究科教授 西 慎一	77名
平成24年 8月4日	②脳とくすり	近畿大学医学部教授 白川 治	100名
平成24年 8月25日	①消化器と健康（3）	神戸大学大学院保健学研究科教授 宇佐美眞	81名
平成24年 9月1日	③平清盛と大輪田の泊	神戸大学名誉教授 高橋昌明	47名
平成24年 9月15日	②鳥インフルエンザについて	神戸大学大学院医学研究科准教授 新矢恭子	49名
平成24年 10月13日	①③生命の誕生	神戸大学大学院保健学研究科教授 三木明德	37名
平成24年 10月27日	②糖尿病治療の新たな展開	神戸大学大学院医学研究科教授 清野 進	78名

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
平成24年 11月17日	②中高年の皮膚疾患	神戸大学大学院医学研究科准教授 岡 昌広	60名
平成24年 11月24日	②アルツハイマー病と認知症	神戸大学大学院保健学研究科教授 川又敏男	135名
平成24年 12月8日	②心臓血管外科の最近の進歩	神戸大学大学院医学研究科教授 大北 裕	94名
平成24年 12月15日	②下肢の関節痛の診断と治療	加古川東病院整形外科部長 西山隆之	126名
平成25年 1月12日	②脳卒中の新治療	神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科部長 坂井信幸	102名
平成25年 1月26日	②ロボット手術の現状と課題	神戸大学大学院医学研究科教授 藤澤正人	62名
平成25年 2月9日	②放射線医学の最先端 -小さく見つけてやさしく治すがん治療-	神戸大学大学院医学研究科准教授 藤井正彦	76名
平成25年 2月23日	②花粉症と鼻炎	神戸大学大学院医学研究科助教 土井清司	71名
平成25年 3月9日	②肝胆膵領域の最先端手術	神戸大学大学院医学研究科教授 具 英 成	88名
平成25年 3月23日	①②③生きることと健康 -現代医療の発展と課題-	神戸大学名誉教授 岡田安弘	87名

参加者総数 1,958名

ii. 健康づくりセミナー

様々な視点から、健康づくりに役立つ講演会を企画し、今年度は食育にも関連した3教室を開催した。

来年度は、食育だけでなく他のテーマも取り上げ、多くの方々に参加していただけるよう努力していきたい。

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
平成24年 6月2日	平清盛が食べたか 平安の旨味	兵庫津樽屋五兵衛 代表取締役 高田誠司	69名
平成24年 7月22日	【実習】生命の誕生 ～ウニの受精と発生～	神戸大学名誉教授 岡田安弘 園田学園女子大学講師 阪口正樹	15名
平成24年 7月29日	コミュニケーションと傾聴 ～家庭を「こころの港」に～	一般財団法人 神戸市民大学講座 理事長 若杉章子	29名
平成24年 10月14日	知って得するお米の話 ～話題の金芽米ってどんなお米～	トーヨーライス株式会社 西日本営業所 川上祐司 喜多哲也	65名
平成24年 10月20日	シンポジウム 健診結果の読み方・生かし方	(財)兵庫県予防医学協会健康ライフ プラザ顧問 西尾利一 先端医療センター病院名誉院長 他	98名
平成25年 3月2日	シンポジウム 消化器系の健康診断の受け方、 健診結果の見方・生かし方	(財)兵庫県予防医学協会健康ライフ プラザ顧問 西尾利一 先端医療センター病院名誉院長 他	99名
平成25年 3月6日	寒天でキレイ生活 ～海からの贈り物「寒天」～	伊那食品工業株式会社 大阪支店 吉澤俊哉 坪木正平	87名

参加者総数 462名

(2) 健康づくり教室

健康づくり教室では、『トータルコース』、食生活を主とした『ライフキッチンコース』、運動を主とした『エ

クササイズコース』を開催している。

i. トータルコース

トータルコースの目的は、自分の生活を振り返り、望ましい生活習慣を身につけ、健康増進・維持を図っていただけるようにすることである。

身体と心の両面から働きかけ、初心者から始めていけるように、様々なコースを設定して実践の場を設け、家庭でも実行していただけるようにしている。

教室名		実施回数	参加人数(延べ)
予防医学コース	50歳からの「脳力アップ」セミナー（全4回） いつまでも若々しい脳を保つために、楽しみながら脳を活性化させる実践教室	2回	25名
	膝痛なくなれ！ 運動教室（全6回） 自宅でも継続できるように、椅子に座って、または寝転んで出来る運動を学ぶ教室	2回	14名
	骨量測定付き骨粗しょう症予防運動教室（全4回） 骨量測定後、整形外科医の指示のもと、集団または個別で運動に取り組み骨粗鬆症予防を目指す教室	3回	29名
予防医学コース	検査で自分の状態を知り、運動や実習を通して疾病の予防や改善に取り組んでいく 尿もれを体操で予防！！（全2回） 尿もれに関する講話と骨盤底筋を鍛える運動を学び、尿もれを予防・改善する教室	3回	44名
癒し・創作コース	自律訓練法	2回	56名
	腹式呼吸法	2回	34名
	認知行動療法	2回	53名
	瞑想法入門	2回	41名
	リンパマッサージ	2回	58名
	快眠法	2回	50名
	対人関係をスムーズにするために… 毎日が楽しくなるコミュニケーション術	1回	23名
	自分を力づけるコーチング術 ～なりたい自分になるために～	1回	26名
	自律訓練法 6段階を学ぼう（全6回）	1回	15名
	母の日にむけて プリザーブドフラワー	1回	18名
	暮らしの中に自然からの恵みを プリザーブドフラワー	1回	17名
	クリスマスアレンジ フラワーアレンジメント ヴィンテージをテーマに	1回	6名
	プリザーブドフラワー ～春への贈り物～	1回	15名
	秋本番 色で自分らしく素敵になりましょう	1回	15名
	パーソナルカラーで 春のおしゃれを先取り！	1回	28名
	お仕事帰りにリラックス セルフリンパマッサージ	1回	26名
	セルフリンパマッサージ	1回	27名
	フェイスリンパマッサージ アイメイク	1回	23名
フェイスリンパマッサージ チーク&リップ春メイク	1回	18名	
傾聴 ～対人関係をよくするために～	2回	29名	
音楽療法	12回	197名	

教室名		実施回数	参加人数(延べ)
運動コース 身体を動かすことで得られるリフレッシュ感や、自分の体力の衰えを実感することで、日常生活での運動の必要性を理解し実践していく	歌って笑って♪ 健康体操 健康体操は馴染みの曲に合わせて、心・体・頭を総合的に刺激し、運動不足の解消と、日常生活への意欲や希望感を育てる体操	35回	415名
	歌って笑って健康体操 指導員養成講座 (全6回)	1回	41名
	歌って笑って健康体操 指導員向上研修	2回	23名
	骨粗鬆症予防のための太極拳教室	3回	25名
	初心者のための太極拳 全4回	2回	37名
	バランスボール&ストレッチポール	11回	78名
	和みのヨガ	44回	555名
	女性のためのフェロモンストレッチ	12回	175名
	兵庫津の食と歴史をめぐる 兵庫区再発見ウォーキング	1回	14名
	大輪田泊めぐってウォーキング	1回	4名
	平家ゆかりの地 ウォーキング	1回	5名

ii. ライフキッチンコース

教室名	内 容	開 催 期 日	時間帯	参加者		
料理の基礎コース	料理の基本技術をマスターし、料理がしてみたいなる入門編	平成24年4月12日～6月14日	木曜日 (6回)	22名		
		7月12日～9月13日		12名		
		10月11日～12月6日		8名		
		平成25年1月31日～3月14日		20名		
はじめてクッキング	料理初級者を対象に、作ることと食べることの楽しさを覚え、食材に関する知識や栄養バランスを考えた食事づくりが学べるコース	平成24年4月24日～6月2日	火曜日 (4回)	15名		
		7月31日～9月4日		14名		
		10月9日～11月27日		11名		
		平成25年1月29日～3月12日		10名		
味わいごはん	『おいしい』はもちろん、からだにうれしい健康的な家庭料理を学べるコース	平成24年4月27日～6月8日	金曜日 (4回)	12名		
		7月27日～9月7日		12名		
		11月2日～12月14日		9名		
		平成25年1月18日～3月8日		9名		
まんぞくクッキング	作って満足！ 楽しくて満足！ おいしくて満足！ 少しの手間で内容充実の献立づくりのコツを学びます	おうちで手軽に♪ お気軽フレンチ！	水曜日	夜間	平成24年4月4日	27名
		わが家の新定番♪ 手打ちうどん！			6月6日	15名
		赤い野菜は元気のもと♪ トマトの恵まるかじり！			8月2日	22名
		大人のお子様ランチ ロコモコプレート！			10月3日	11名
		飲茶deクリスマス♪			12月5日	29名
		豆な食卓&てづくり豆腐			平成25年2月6日	17名

教室名	内容	開催期日	時間帯	参加者	
まんぞく クッキング アンコール	まんぞくクッキング で人気のあったメ ニューを再びおさ らするコース	手作り豆腐&大豆づくし!	平成24年5月9日	水曜日 午前	17名
		夏のスパイシー料理	7月11日		11名
		秋のイタリアン!	9月12日		26名
		パエリアでクリスマス!	11月14日		16名
		今年は少し洋風に♪ 節分レシピ	平成25年1月23日		7名
		おうちで簡単! 手作りピザ	3月13日		9名
いきいき 食生活 ヘルシー料理 食事会	健康的な生活の源は 正しい知識と健全な 食生活にあり! 必要なエネルギーや 塩分など体にやさし い食事を講話と試食 で学ぶコース	コッコツ丈夫な骨づくり!	平成24年4月18日	水曜日 午前	19名
		“疲れ”たまっていませんか!	5月16日		16名
		あなたの胃は大丈夫?	6月20日		16名
		今日からはじめる減塩のポ イント!	7月18日		19名
		ロコモを防ぐ!	8月29日		14名
		太りにくい食べ方を知ろ う!	9月19日		15名
		食習慣を見直そう!	10月17日		11名
		冷えに負けない食生活	11月21日		11名
		健康を育む食生活	12月19日		11名
		気になるコレステロール	平成25年1月16日		13名
		血糖値を上げないために	2月20日		13名
		からだを動かして脳を鍛え よう	3月21日		木曜日 9名
		いきいき 食生活 ヘルシー料理 作る会	健康的な生活の源は 正しい知識と健全な 食生活にあり! 必要なエネルギーや 塩分など体にやさし い食事を講話と調理 実習で学ぶコース	コッコツ丈夫な骨づくり!	平成24年4月19日
“疲れ”たまっていませんか!	5月17日			12名	
あなたの胃は大丈夫?	6月21日			10名	
今日からはじめる減塩の ポイント!	7月19日			10名	
ロコモを防ぐ!	8月30日			14名	
太りにくい食べ方を 知ろう!	9月20日			13名	
食習慣を見直そう!	10月18日			7名	
冷えに負けない食生活	11月22日			11名	
健康を育む食生活	12月20日			12名	
気になるコレステロール	平成25年1月17日			11名	
血糖値を上げないために	2月21日			8名	
からだを動かして脳を 鍛えよう	3月22日			金曜日 12名	

IV 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

教室名	内 容		開 催 期 日		時間帯	参加者	
ヘルシー クッキング	今話題の食品や昔ながらの行事食をとお して、旬の素材や四 季の変化を感じる食 生活を学ぶコース	美味しいコツのわかる お菓子教室	平成24年 4月13日	金曜日	午前	12名	
			7月6日	金曜日		15名	
			10月12日	金曜日		12名	
			平成25年 1月24日	木曜日		11名	
		おもてなしにぴったり 簡単！ お役立ちメニュー	平成24年 5月18日	金曜日	夜間	13名	
			7月1日	日曜日	午後	30名	
			7月20日	金曜日	夜間	17名	
			9月21日	金曜日	夜間	13名	
			11月9日	金曜日	夜間	21名	
			平成25年 3月1日	金曜日	夜間	6名	
		季節のごちそう	平成24年 4月20日	金曜日	午前	5名	
			6月29日	金曜日		13名	
			8月8日	水曜日		16名	
			10月5日	金曜日		23名	
			12月13日	木曜日		20名	
			平成25年 2月27日	水曜日		12名	
			今さら聞けない！？ 料理の‘基本のき’	平成24年 4月28日		土曜日	午前
		5月26日		7名			
		6月23日		12名			
		8月25日		10名			
		9月8日		24名			
		10月13日		7名			
		12月8日		12名			
平成25年 2月23日	18名						
3月9日	10名						
お酢でフルコー酢 カフェランチ& 和スイーツ 手作りおせちでおもてなし 基本のおせち料理 ひな祭り 集いの昼膳	平成24年 6月16日	土曜日	午前	29名			
	平成24年10月21日	日曜日	午前	14名			
	平成24年11月10日	土曜日	午前	26名			
	平成24年12月1日	土曜日	午前	29名			
	平成25年 2月2日	土曜日	午前	23名			
	ヘルシー クッキング 番外編	紅茶やコーヒーのの 歴史や入れ方などを 学び、食に対する興 味を高めるコース	英国式紅茶を楽しむ会	平成24年 5月23日	水曜日	午後	14名
				7月25日			13名
9月26日				20名			
11月28日				10名			
平成25年 1月30日				14名			
3月27日				15名			
本格珈琲の会				平成24年 6月26日			火曜日
			9月25日	18名			
			11月13日	11名			

iii. エクササイズコース

エクササイズコースの利用状況は前年比132.3%と大きく利用者を増やすことができた。

その要因として、前年4クラスから今年は1クラス増設（にこにこカラダ教室→フットフラダンス教室）を開

講し、集客を確保することができた。

また、既存コースにおいても堅調に推移したことで、全体の底上げをはかることができた。

今後とも、現状に満足することなく、新たな発想を取り入れたコース作りを行っていく。

	教 室 名										合計	
	健康シルバー 体操教室		気功教室		やさしい太極拳		にこにこ カラダ教室 (4月～9月)		やさしい 社交ダンス			
	懐かしい音楽に合わせての運動や、椅子に座ったままできる「チェアーエクササイズ」などのやさしい体操のクラス		「気」は体内を流れる生命エネルギーのこと。呼吸法やツボの刺激によってこのエネルギーを高め健康な体・病気にかからない体づくりを目指します。		腰を沈めてバランスを取りながらおこなうゆっくりとした動きが特徴の太極拳。新陳代謝を高め骨密度をアップさせる効果が期待される運動のクラス		・にこにこカラダ教室 笑いの呼吸法を取り入れ、心と体をすくすくするクラス。 ・フィットフラダンス 楽しく踊りながら骨盤を動かすことでウエストのシェイプアップにつながります。		タンゴやルンバ、チャチャチャ、ワルツなどを月替わりで、基本のステップから練習する初心者でも挑戦できるクラス			
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	4	72	4	84	4	50	3	17	4	29	19	252
5月	4	76	4	92	4	49	4	1	4	31	20	249
6月	4	64	4	73	3	41	5	4	4	48	20	230
7月	5	103	5	116	5	66	4	3	4	49	23	337
8月	4	75	4	83	4	56	5	11	4	53	21	278
9月	4	89	4	107	4	65	4	7	4	39	20	307
10月	4	85	4	102	4	59	4	45	4	37	20	328
11月	4	82	4	102	5	78	4	49	3	27	20	338
12月	4	75	4	91	3	43	3	32	4	23	18	264
1月	4	91	4	95	4	53	3	44	3	21	18	304
2月	4	83	4	91	4	38	4	50	4	39	20	301
3月	4	94	4	100	4	61	4	52	4	47	20	354
合計	49	989	49	1,136	48	659	47	315	46	443	239	3,542

(3) 運動施設の個人利用

24年度のトレーニングジム利用状況は、前年比100.3%と前年比を超えることができた。

その中でも、減免利用者（高齢者・障害者）の利用が増加している前年比106.7%

今後とも、高齢者の利用が増加すると考えられる。

また、更なる施設利用者数を増加させるには、一般利用者を増加させることが不可欠である。

トレーニングジム、スタジオプログラム、ランニングトラックを更にPRし利用増加をはかっていく。

卓球コーナー利用状況は前年比112.7%と大きく利用台数を増やすことができた。

その要因として、減免利用者（高齢者・障害者）の利用増加が大きい前年比117%

卓球コーナーの知名度があがっており、今後とも利用増加が見込まれる。

エクササイズコースの利用状況は前年比132.3%と大きく利用者を増やすことができた。

その要因として、前年4クラスから今年は1クラス増設（にこにこカラダ教室→フットフラダンス教室）を開講し、集客を確保することができた。

また、既存コースにおいても堅調に推移したことで、全体の底上げをはかることができた。

今後とも、現状に満足することなく、新たな発想を取り入れたコース作りを行っていく。

トレーニングジム利用状況（利用者数）

月	種別	一般利用者	減額利用者 (高齢者・障害者)	団体回数券利用者	合計
4月		4,212	3,044	849	8,105
5月		4,669	3,651	600	8,920
6月		4,539	3,670	587	8,796
7月		4,759	3,667	685	9,111
8月		4,583	3,698	719	9,000
9月		4,578	3,564	633	8,775
10月		4,455	3,578	614	8,647
11月		4,084	3,470	538	8,092
12月		3,419	2,916	497	6,832
1月		3,514	3,007	462	6,983
2月		3,932	3,397	508	7,837
3月		4,235	3,632	568	8,435
合計		50,979	41,294	7,260	99,533

卓球コーナー利用状況（利用台数）

月	種別	一般利用者	減額利用者 (高齢者・障害者)	合計
4月		165	285	450
5月		174	308	482
6月		169	320	489
7月		186	356	542
8月		239	448	687
9月		160	390	550
10月		102	366	468
11月		136	354	490
12月		114	334	448
1月		116	357	473
2月		154	383	537
3月		162	434	596
合計		1,877	4,335	6,212

2. 健康づくり支援事業

(1) 講師派遣等

健康づくり支援事業では、事業所・団体向けに健康教育のための教室の開催、講師派遣を行っている。

平成24年度も、講話や検査、運動実践や調理実習などを組み合わせた教室の開催やポピュレーションアプローチを目的とした講習会に医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、トレーナー等の講師派遣を行った。

また、機関紙などの依頼に、健康や栄養などをテーマ

に原稿を提供した。

これらの機会を通して、健康づくりへの知識の普及や取り組みへの動機付けを行うと共に、当協会が実施する各種健康診断や健康づくり教室を案内し、栄養・運動・休養をトータル的に実践できる施設として健康ライフプラザのPRを行った。

実施日	対象	内容	出務職種
10月27日	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 薬にたよらないメタボリック症候群対策 講話 ちょっとした工夫でメタボ予防 ヘルシー料理試食、健康度測定	医師 管理栄養士 看護師 診療放射線技師 臨床検査技師
1月26日		生活習慣病予防セミナー 講演 メタボリックシンドロームと腎臓病 講話 慢性腎臓病予防の生活習慣・食習慣 ヘルシー料理試食、健康度測定	
4月10日	日本山村硝子株式会社	メンタルヘルスセミナー 唾液アミラーゼモニターによるストレス評価	保健師
9月11日		健康管理推進連絡協議会 産業保健クイズで実感！ 労働衛生の決まりごと	保健師
11月14日		健康セミナー 食べ物の働きを学んでバランスよく食べよう	保健師 管理栄養士

実施日	対 象	内 容	出務職種
2月5日	日本山村硝子株式会社	健康管理推進協議会 メンタルヘルス対策における職場環境改善 -快適職場調査(ソフト面)利用の事例報告-	保健師
3月12日		ポジティブメンタルヘルスと働きやすい職場環境をめざして -快適職場調査の評価と活用-	保健師
3月13日		ポジティブメンタルヘルスと働きやすい職場環境をめざして -快適職場調査の評価と活用-	保健師
6月21日	山手婦人会	骨粗しょう症予防検診結果の見方と食事	保健師 管理栄養士
7月24日 7月28日 7月30日	生活協同組合コープこうべ	健康教室 講話 上手に食べて健康力アップ 運動講話 太りにくい身体づくり	管理栄養士 健康運動指導士
9月24日 10月5日 10月9日 10月17日 10月25日 11月7日 11月14日 11月22日	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定者セミナー 講話 今日から始める退職後の健康づくり	管理栄養士
11月13日	兵庫県市町村職員共済組合	ポジティブメンタルヘルスと働きやすい職場環境をめざして 快適職場調査の評価と活用	保健師
12月6日		ポジティブメンタルヘルスと働きやすい職場環境をめざして シュミレーションゲームと快適職場調査から学ぶ管理職の役割	
11月2日	兵庫県町村会	メンタルヘルスセミナー シュミレーションゲームから学ぶ管理監督者の役割	保健師
5月16日	川崎重工業健康保険組合	兵庫工場 36歳到達者セミナー 講話 食事からはじめるあなたの健康ライフ	管理栄養士
7月3日		神戸工場 食生活改善セミナー 講話 食事からはじめるあなたの健康ライフ	
7月3日		神戸工場 食生活改善セミナー 講話 食事からはじめるあなたの健康ライフ	
7月11日		神戸工場 食生活改善セミナー 講話 食事からはじめるあなたの健康ライフ	
7月25日		KCM ダイエットセミナー 講話 少しの工夫で継続ダイエット	
8月7日		神戸本社 食生活改善セミナー 講話 食事からはじめるあなたの健康ライフ	
9月7日 9月11日		明石工場 25歳従業員対象健康教室 講話 メタボにならないために大切なこと	
9月7日 9月11日		明石工場 30歳従業員対象健康教室 講話 メタボにならないために大切なこと	
2月5日		兵庫工場 女性セミナー 講話 25歳の今、気をつけたいこと	
2月6日		KCM 三ヵ月後効果を実感できるダイエット	
8月24日		明石市職員互助会	
11月16日	ヘルシー料理講座 からだが喜ぶお手ががるメニュー 講話と調理実習		
11月22日 11月30日	明石市職員互助会	健康講座 エアロビクス&ひきしめボディ	トレーナー

実施日	対 象	内 容	出務職種
10月12日	明石市役所	育つ！ もてる！ デキル！ がかなう上質な睡眠	保健師
11月15日 11月28日	甲南土木建築労働組合	保険証交換学習会 講話と実技 頭の体操と体の体操	健康運動指導士
2月10日		役員研修会 講話と実技 頭の体操と体の体操Ⅱ	
6月14日	兵庫自動車販売店健康保険組合	健康管理推進委員会 健康保険委員会 講話 お口の健康と身体の健康	保健師
9月21日		健康管理推進委員会 健康保険委員会 講話 ストレス対処の食事とは？	管理栄養士
11月20日	神戸市企画調整局 企画調整課	統計調査員のための健康づくり教室 講話・実技 肩こり、腰痛体操	健康運動指導士
10月24日	神戸市建設局西部建設事務所	安全衛生委員会 肩こり・腰痛解消教室&運動で脳を刺激	健康運動指導士
10月2日 10月4日 10月16日 11月28日	独立行政法人 神戸市民病院機構	看護職員リフレッシュ研修 カラー・アートセラピー 運度実技	専門講師 トレーナー
11月9日 11月29日		看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー 運度実技	専門講師 トレーナー
10月8日	神戸市兵庫区まちづくり推進部 まちづくり課	兵庫区区民運動会 体成分・血中ヘモグロビン測定	保健師 トレーナー
2月18日	公益財団法人 神戸市公園緑化協会	腰痛、肩こり体操	健康運動指導士

健康づくり支援 原稿提供

神戸市消防局 機関紙「雪」 コラム原稿提供	ガーデニングのすすめ	4月号
	運動で脳を鍛える！ 巧緻性	5月号
	おとなのためのやさしい栄養学 肝臓	6月号
	足	7月号
	運動で脳を鍛える！ 情報・判断・行動	8月号
	おとなのためのやさしい栄養学 胃	9月号
	ドライアイ	10月号
	運動で脳を鍛える！ 二人で行う脳トレ	11月号
	おとなのためのやさしい栄養学 胆のう	12月号
	風邪	1月号
	運動で脳を鍛える！ 運度強度	2月号
	おとなのためのやさしい栄養学 腎臓	3月号
サンケイリビング	年に1度の健康チェック 早期発見・早期治療	6月
フジッコ株式会社「ビーンズライフ」	歌って体操	5月号
		8月号
		10月号
CO-OPステーション	40歳からの健康学 食生活の見直し 減塩①	3月号

(2) 健康づくりの場の提供（貸室等）

平成24年度貸室事業は、前年度期中（平成23年11月）に、こころの健康センターが健康ライフプラザから他所へ移転し、施設開設時に設置していた研修室・会議室の

2室の貸室供用が再開した。

その後、堅調に利用が回復し件数で対前年比197%となった。

(件)

	研修室		会議室		ライフキッチン		多目的室	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
4月	0	0	6	5	0	0	1	3
5月	1	2	3	8	0	0	3	1
6月	1	1	1	3	0	0	2	2
7月	0	1	2	2	1	1	4	4
8月	3	5	3	6	0	0	3	0
9月	0	2	1	3	1	1	3	1
10月	1	2	3	8	0	0	2	1
11月	3	6	1	9	0	0	5	4
12月	3	1	1	8	0	0	3	4
1月	1	1	2	7	0	0	2	0
2月	1	0	0	9	0	0	4	2
3月	0	1	1	9	0	0	3	1
計	14	22	24	77	2	2	35	23

V 沿革・概要

1. 沿革

昭和46年4月	予防医学事業推進のため神戸市医師会と神戸市衛生局が協議、渡邊一九 志賀一清 青井立夫 石垣四郎 鹿野昭二 前島健治らが発起人となり「兵庫予防医学協会」を設立 事務所を神戸市生田区加納町1丁目5神戸市衛生研究所内に置く 会長 渡邊一九就任	昭和50年10月	健康保険法 保険医療機関となる
6月	児童・生徒の寄生虫卵検査開始	昭和51年5月	創立5周年記念「健康をめざす婦人大会」開催 基本財産を増額し、1,500万円となる 第1回予防医学講座開催
9月	「兵庫県予防医学協会」と変更 財団法人予防医学事業中央会及び財団法人日本寄生虫予防会の兵庫県支部となる。 灘神戸生活協同組合組合員健診開始 児童・生徒の尿検査開始	9月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか3号の寄贈を受ける
11月	予防医学講演会開催	11月	第2回予防医学講座開催
昭和47年4月	事務所を神戸市東灘区御影本町6丁目5-2に移転	12月	国民健康保険被保険者対象 胃検診開始
5月	診療所開設、健診・検査開始	昭和52年6月	第3回予防医学講座開催
7月	事業所の定期健診、特殊健診開始	7月	細菌検査部門開設
11月	神戸市胃部X線車による、胃がん検診開始	10月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者特殊健康診断機関となる
12月	「神戸市子宮がん細胞診センター」業務開始	12月	兵庫労働基準局作業環境（測定粉じん）測定登録機関となる
昭和48年6月	「財団法人兵庫県予防医学協会」設立 基本財産 1,200万円 出捐は 兵 庫 県 300万円 神 戸 市 500万円 灘神戸生活協同組合 100万円 渡邊一九会長 100万円 兵庫県予防医学協会 200万円	昭和53年4月	葺合区仮施設へ移転
7月	機関誌「あすの健康」第1号発行 法人設立記念講演会として「健康を守る婦人大会」を開催	8月	新館建設 資金 日本船舶振興会 7,020万円 兵庫県 1,500万円 神戸市 2,000万円 借入金 22,000万円 自己資金 3,380万円 計35,900万円 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 654㎡ (神戸市より借地) 建築面積 443.82㎡ 建築床面積 2,117.5㎡
9月	登録衛生検査所となる	昭和54年1月	厚生大臣指定 簡易専用水道検査機関となる
10月	灘神戸生活協同組合より健診車・X線車生協すこやか号の寄贈を受ける	3月	厚生大臣指定 空気環境測定・飲料水の水質検査機関となる
11月	社団法人全国労働衛生団体連合会加入	4月	新館竣工
昭和49年4月	循環器検診、住民健診、予防接種開始	5月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度 「じん肺・石綿・クロム・鉛」に係る健康診断機関となる
8月	灘神戸生活協同組合 各店舗事務所基準環境測定開始 灘神戸生活協同組合従業員健診開始	7月	婦人科検診開始 喀痰細胞診開始

	胃部精密検査開始		9月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか12号完成
10月	成人病総合健診『人間ドック』開始		10月	VDT検診開始
11月	間接断層X線撮影装置による肺がん検診開始		昭和62年4月	ビル管法適用施設について簡易専用水道検査開始
	肺がんをなくす会発足			レジオネラ属菌検査開始
昭和55年2月	予防医学事業中央会近畿・北陸・東海ブロック検査室会議開催		9月	保健環境検査センター東灘区田中町へ移転登録衛生検査所再登録
4月	脊柱検診開始		11月	予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
	消化器内視鏡検査開始		昭和63年2月	予防医学事業中央会全国業務研修会開催
	公益法人会計基準による会計に移行		4月	ホロンピア'88「新しい健康福祉づくり展」参加
5月	渡邊会長、吉田哲夫医師叙勲受章		5月	神戸新聞奨励賞受賞
6月	作業環境測定に「有機溶剤・金属・特定化学物質」を追加		7月	政府管掌健康保険成人病予防健診機関となる
8月	脊柱検診専門委員会発足		平成元年3月	基本財産を増額し1億円となる
	予防医学事業中央会全国大会において、渡邊会長が感謝状を受ける			出捐は
昭和58年1月	学校腎臓専門委員会設置			兵庫県 300万円
4月	健康指導室新設			神戸市 3,400万円
8月	神戸市長より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける			灘神戸生活協同組合 670万円
昭和59年1月	日本船舶振興会補助事業 胃部X線検診車すこやか22号完成			渡邊一九会長 100万円
3月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか7号の寄贈を受ける			兵庫県予防医学協会 5,530万円
5月	厚生大臣指定 食品検査機関となる		9月	フェスピック神戸大会組織委より大会への貢献に対し、感謝状を受ける
	保健環境検査センターを開設し環境化学分析、細胞診等の検体検査部門を統合		10月	労働安全衛生法改正により特殊健診に尿代謝物・血中鉛等の生体試料検査追加、定期健診に心電図・聴力検査・血液検査追加
7月	全国飲用牛乳取引協議会指定検査機関となる		平成2年4月	健康ライフプラザ準備室開設
昭和60年3月	骨粗鬆症検診MD法により、全国に先駆け、検診を開始		8月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか19号完成
4月	学校心臓検診「心音心電図検査」開始		12月	予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
8月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか9号の寄贈を受ける		平成3年5月	会長 青井立夫 名誉会長 渡邊一九 就任
9月	神戸市長よりユニバーシアード神戸大会への貢献に対し、感謝状を受ける		6月	創立20周年感謝の集い開催
10月	予防医学事業推進全国大会開催		7月	生活協同組合コープこうべよりDXA車すこやか20号の寄贈を受ける
昭和61年5月	中央労働災害防止協会 中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る作業環境測定機関となる		9月	DXA車による骨量測定開始
6月	全国労働衛生団体連合会 鉛検査機関となる		10月	THP推進委員会設置
			平成4年1月	予防医学事業中央会 全国生理機能検査研

	修会開催	5月	厚生大臣指定食品検査機関となる
10月	予防医学事業中央会全国大会において、青井会長が感謝状を受ける	12月	日本自転車振興会補助事業 自動血球計数装置設置
11月	日本自転車振興会補助事業 肺がん検診車すこやか10号完成 神戸市大腸がん検診開始		予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
12月	天長島村酒造株式会社と事務所棟建設のため1,490.08㎡の借地契約締結	平成9年4月	一泊二日ドック開始
平成5年6月	中央労働災害防止協会 労働者健康保持増進サービス機関となる	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部検診車2号完成
9月	事務所棟竣工 建築面積 477.15㎡ 建築床面積 1,249.15㎡	平成10年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ開業に伴う受託事業開始
12月	厚生大臣指定水質検査指定機関となる	3月	磁気共鳴診断装置 (MRI) 設置
平成6年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞 「1次検診におけるランニング運動付加心電図検査」	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザの業務全面開始 産業保健専門委員会設置
2月	高速らせん型CT装置設置	5月	計量証明事業 (濃度) 開始
7月	神戸市より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける 兵庫県指定水質検査機関となる	7月	全衛連近畿地方協議会第1回開催
8月	公益事業「元気な骨をつくるキャンペーン」を実施	9月	日本総合健診医学会 優良総合健診施設に認定される
10月	日中医療技術協力に参加	平成11年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞 「水におけるクリプトスポリジウム検出法の検討」
平成7年1月	阪神・淡路大震災発生 保健環境検査センター全壊 第29回予防医学事業技術研究集会中止 出張健診再開	2月	全衛連近畿地方協議会第2回開催
2月	外来健診再開 総合健診再開保健環境検査センター代替施設建設決定	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ1泊2日ドック開始
4月	中央労働災害防止協会 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度による健康診断及び作業環境測定機関となる	7月	全衛連近畿地方協議会第3回開催
11月	保健環境検査センター竣工 建築面積 300.76㎡ 建築床面積 837.72㎡	9月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関に認定される
12月	社会保険庁より政府管掌健康保険及び厚生年金事業発展への功績に対し、青井会長が表彰状を受ける	11月	社団法人日本作業環境測定協会より作業環境管理への尽力に対し、感謝状を受ける 労働衛生評価機構より評価基準達成の認定
平成8年2月	保健環境検査センターの業務全面開始 登録衛生検査所再登録	平成12年2月	全国労働衛生団体連合会近畿地方協議会第4回開催
		7月	健診センター、労働者災害補償保険法の規定による療養の給付を行う診療所 (労働者災害補償保険指定医療機関) に指定 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー100回を迎える
		9月	生化学自動分析装置 (日立7600-110) 導入 自動血球分析装置 (SysmexSE9000) 導入
		11月	得意先向健診データ管理支援システム

	「Life-Net」完成		導入
	健康ライフプラザ 日本総合健診医学会優良総合健診施設に認定される	7月	生化学自動分析装置（日立7700）導入
		11月	自動免疫測定装置（ABBOTT ARCHITECT i2000SR）導入
平成13年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞		
	「超音波による骨量測定の基準値について」	平成16年1月	胸部X線車すこやか3号、胃部X線車すこやか27号完成
4月	頸動脈超音波装置（GE横河メディカル社VIVID 3）導入	3月	細隙灯顕微鏡導入
5月	当協会創立30周年記念講演会を神戸新聞松方ホールにて開催	4月	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査開始
	同時に記念出版として健康ライフプラザ土曜健康科学セミナーの100回分をまとめた『21世紀の「生命」を考える－これからの健康科学～岡田安弘編著・金芳堂』を発行	5月	兵庫県予防医学協会 灘分室開設
6月	労働者災害補償保険（労災保険）二次健診等給付指定医療機関となる	11月	第49回平成16年度予防医学事業推進全国大会を神戸で開催
平成14年1月	第36回予防医学事業中央会技術研究集会「神戸からの発信－予知の医学をめざして－」を兵庫・神戸で開催	平成17年3月	胸部X線車すこやか14号完成 X線骨密度測定装置（DXA：米国HOLOGIC社）導入
2月	中央労働災害防止協会機器整備補助事業X線装置（DHF-153H II）を導入	4月	緑内障スクリーニング検診開始
3月	神経芽細胞腫検査専用機（東ソ-LC-726VMA III）導入	6月	NPO法人 J-POSH寄贈 乳がん検診車すこやか55号完成
4月	財団法人先端医療振興財団 先端医療センターと提携し、人間ドックのオプションとしてPET検診開始	平成18年1月	（財）予防医学事業中央会 近畿・東海・北陸ブロック会議開催
7月	日本財団補助事業 胸部X線車すこやか12号完成	3月	保健環境センター ISO9001（JISQ9001：2000）認証取得
8月	胸部X線車すこやか13号完成	9月	日本自転車振興会 補助事業 胃部X線検診車すこやか21号車完成
9月	全自動糖分析装置（シノテストGlucoroder MAX）導入	10月	便中ヘリコバクターピロリ菌抗原検査開始
11月	財団法人日本公衆衛生協会 第6回地域保健全国大会（富山県）において、平成14年度公衆衛生事業功労者表彰団体表彰を受ける	平成19年2月	プライバシーマーク認証取得
12月	高速自動遠心分離機（ABBOTT）導入	3月	KEMSこうべ環境マネジメントシステム（ステップ1）認証取得
平成15年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザレディースドック開始	5月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー300回を迎える
	HbA1c分析装置（東ソ-HLC-723G7）導入		会長 近藤武久 名誉会長 青井立夫 就任
3月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー200回を迎える	7月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ、トレーニングジム利用者100万人達成
4月	神戸市住民健診事業の全面委託を受ける	10月	特定健診・特定保健指導事業推進本部の設置
	自動免疫測定装置（富士レビオLUMIPULSEf）	平成20年3月	ノロウイルス検査（リアルタイムRT-PCR法＝遺伝子検出）開始
			灘区岩屋北町の土地（新館建設予定地）のJR西日本株式会社との取得・処分実施
		4月	神戸市住民健診から特定健診・特定保健指導制度に移行
		平成21年3月	胸部撮影用デジタルX線検診車すこやか15号完成

	高性能HbA1c分析装置 (DM-JACK Ex) 導入	建築床面積 6,970.54㎡	12月 会長 南部征喜 就任
平成22年1月	マルチスライスCT装置 (日立社ECLOS) 設置	平成25年3月	デジタル胃部X線撮影装置 (東芝Raffine DREX-RF50101) 設置
6月	生化学自動分析装置 (日本電子BM8020) 導入		胸部デジタルX線検診車すこやか19号完成
	採血管準備システム (テクノメディカ BC・ROBO-888) 導入		胃部デジタルX線検診車すこやか23号、27号完成
7月	自動血球装置 (シスメックスXT188i) 導入		
	X線骨密度測定装置 (HOLOGIC ExplorerC) 導入		
8月	会長 松村陽右 就任		
平成23年1月	財団法人JKA補助事業 胸部デジタルX線検診車すこやか17号完成		
2月	予防医学事業中央会技術研究会議開催を神戸で開催		
3月	子宮がん細胞診液状検体処理装置 (BDプレップステインフルセット) 導入		
	印刷機 (富士ゼロックス700Dijital Color Press) 導入		
7月	基本財産を増額し2億5,597.9万円となる出捐は		
	兵庫県 300万円		
	神戸市 3,400万円		
	生活協同組合コープこうべ 670万円		
	渡邊一九 元会長 1,00万円		
	兵庫県予防医学協会 2億1,127.9万円		
8月	ガスクロマトグラフ (GC-2010PlusAF) 導入		
10月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー400回を迎える		
12月	便潜血自動免疫化学分析装置 (DIANA) 導入		
平成24年2月	胸部X線撮影デジタルシステム導入		
3月	胸部デジタルX線検診車すこやか18号完成		
6月	上部消化管内視鏡検査システム (オリンパスEVIS LUCERA CV-260)、上部消化管汎用ビデオスコープ (オリンパスGIF-PQ260) 導入		
	胸部デジタルX線検診車すこやか12号、14号完成		
8月	神戸市灘区岩屋北町に、新館建設着工		
	鉄筋コンクリート5階建		
	敷地面積 4,429.91㎡		
	建築面積 1,697.74㎡		

2. 施設概要

事務局・健診センター

所在地	神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1	
敷地面積	4,429.91㎡	
建物	構造	鉄筋コンクリート、5階建
	建築面積	1,697.74㎡
	延床面積	6,970.54㎡

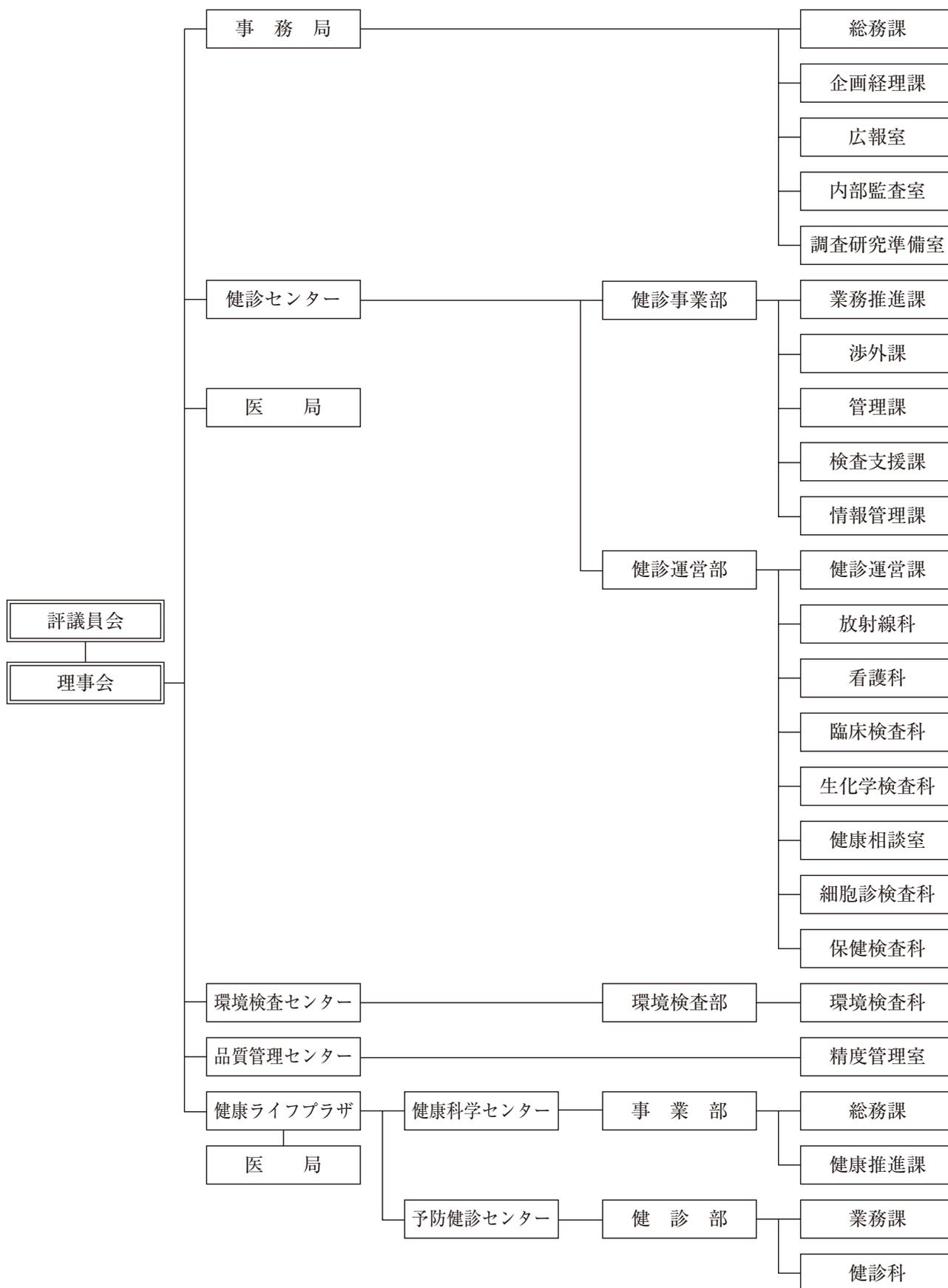
3号館（環境検査センター）

所在地	神戸市東灘区御影本町4丁目4-20	
敷地面積	1,490.08㎡	
建物	構造	鉄骨造、3階建
	建築面積	299.30㎡
	延床面積	843.87㎡

神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ

所在地	神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2-300号	
敷地面積	8,099.95㎡	
建物	構造	鉄筋コンクリート
	建築面積	4,878.06㎡
	延床面積	6,771.43㎡

3. 組織図



4. 名簿

(1) 役員名簿

平成26年3月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等	備 考
会 長	南 部 征 喜		
副 会 長	西 田 芳 矢		
〃	楨 村 博 之	神戸市医師会副会長	
常務理事	西 尾 利 一		
〃	安 田 敏 成		
〃	米 澤 俊 雄		
理 事	岡 田 泰 長	神戸市医師会副会長	
〃	木 田 克 也	生活協同組合コープこうべ常務理事	
〃	田 中 良 樹	兵庫県医師会常任理事	
〃	池 窪 勝 治		
〃	泉 佳 延		
監 事	尾 崎 一 夫	尾崎会計事務所 税理士	
〃	中 嶋 徹	中嶋法律事務所 弁護士	

合計13名（理事11名 監事2名）

[任 期]

理 事 平成25年4月1日から平成27年6月定時評議員会の終結時まで

監 事 平成25年4月1日から平成29年6月定時評議員会の終結時まで

(2) 評議員名簿

(五十音順)

平成26年3月31日現在

氏 名	公 職 等	備 考
石 原 享 介	神戸市立医療センター西市民病院長	
岡 田 弘三郎	兵庫県医師会参与	
渋 谷 和 久	株式会社神戸新聞社 地域活動局長	
谷 澤 隆 邦	兵庫医科大学主任教授	
野 原 秀 晃	兵庫県健康福祉部健康局長	
深 谷 隆	一般財団法人神戸市地域医療振興財団 理事長 兼 西神戸医療センター院長	
藤 澤 正 人	神戸大学医学部附属病院長	
本 庄 昭	神戸市医師会 会長	
三 木 孝	神戸市保健福祉局長	
水 谷 隆 志	生活協同組合コープこうべ健康管理室統括部長	

合計10名

[任 期] 平成25年4月1日から平成29年6月の定時評議員会の終結時まで

(3) 顧問・名誉会長名簿

平成26年3月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等
顧 問	井 戸 敏 三	兵庫県知事
〃	矢 田 立 郎	前神戸市長
〃	川 島 龍 一	社団法人兵庫県医師会会長
〃	高 士 薫	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
〃	石 垣 四 郎	元財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	藤 田 拓 男	神戸大学名誉教授
〃	河 野 通 雄	神戸大学名誉教授
〃	住 野 公 昭	神戸大学名誉教授
〃	中 村 肇	神戸大学名誉教授
〃	野 田 起一郎	近畿大学名誉学長
〃	多田羅 浩 三	大阪大学名誉教授
〃	松 村 陽 右	前財団法人兵庫県予防医学協会会長
〃	柴 谷 昭 治	元財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	森 脇 潤	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会理事

役 職	氏 名	公 職 等
名誉会長	青 井 立 夫	元財団法人兵庫県予防医学協会会長

5. 有資格者一覽

平成26年3月31日現在

医師	13名	細胞検査士	6名
保健師	7名	超音波検査士	2名
看護師	17名	マンモグラフィ検診認定技師	3名
管理栄養士	4名	胃がん検診専門技師	8名
臨床検査技師	44名	消化器内視鏡技師	6名
診療放射線技師	14名	選別聴力検査員	6名
環境計量士	3名	簡易専用水道検査員	18名
作業環境測定士（第一種）	4名	健康運動指導士	2名
衛生管理者	30名	労働衛生コンサルタント	2名
産業医	7名		

平成24年度 事業年報

第30号

平成26年 5月20日発行

発行人 南 部 征 喜

編集人 東 塚 伸 一
事業年報編集委員会

発行所 公益財団法人 兵庫県予防医学協会
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1-8-1
電話 078(855)2716

印刷所 水山産業株式会社

